

# 委員会組織に関する自己点検・評価書



平成 26 年 10 月

国立大学法人九州工業大学



## 目 次

I	自己点検・評価の概要	2
I. 1.	自己点検・評価を行う趣旨	2
I. 2.	自己点検・評価方法	2
II	委員会組織の自己点検・評価結果	8
II. 1.	全学・部局別の委員会活動の状況	9
II. 1. 1.	平成 24 年度における委員会コスト比較	9
II. 1. 2.	項目毎の集計結果	10
II. 2.	委員会別の自己点検・評価結果	36
II. 3.	アンケート等からの知見	108
III	提言	111

付録：平成 16 年 2 月「全学委員会の組織体制及び運営のあり方に関する自己点検・評価報告書」における提言

## I 自己点検・評価の概要

### I.1. 自己点検・評価を行う趣旨

平成 16 年 2 月に「全学委員会の組織体制及び運営のあり方に関する自己点検・評価報告書」を取り纏め、以来約 10 年が経過したが、同報告書の提案・提言が必ずしも十分に実行されているとは言い難いのが現状である。

また第二期中期目標・計画期間に、委員会組織とは別に、定常的に議論を積み重ねることを目的としたさまざまな室が設置され、委員会の役割にも変化があったと考えられる。

さらに、平成 24 年に大学改革実行プランが提起され、大学の強み・特色を生かした機能強化が強く求められている。このような状況の中で、大学の本来の使命である教育研究により大きなエネルギーを注ぎ、機能強化を実現する必要性がこれまで以上に高まっている。

上記の背景の下に、委員会組織のみならず各組織、マネジメント担当者等も含め、全学レベルの委員会活動だけでなく部局レベルの委員会活動も含めた自己点検・評価を実施した。これにより各委員会における「委員数×開催回数」（メール審議や委員長決裁など会議体以外を除く）で表現される委員会の「コスト」、PDCA サイクル、情報伝達、委員会運営などの現状・問題点を明らかにする。これらに基づいて、教員が教育研究に割ける時間を増やし大学の機能強化を図ることを可能にする、委員会組織の簡素化・効率化に向けた提言を行う。

### I.2. 自己点検・評価方法

委員会組織の自己点検・評価を行うにあたり、平成 16 年の報告書の提案・提言の中で必ずしも十分に実行されていないと考えられる提案・提言を以下に示す。

#### 1) 運営・意思決定方法

・学内の実状や教職員の意見を参考にしつつ戦略会議等で大学の基本方針を議論し、役員会等で決定し、この基本方針に沿って全学委員会で具体策を立案し、これを事務組織が実行するという意思決定過程が適切と考えられる。これにより、各委員会において当初から方向性のある議論が可能となり、効率的な委員会運営が可能となると思われる。なお、委員会を簡素化すると、多くの教員は全学委員会に関与しなくて済むようになる。しかしながら情報は全教職員が共有すべきであり、全ての委員会の規則や議事録をグループウェア等に掲載し、これに対していつでも誰でも意見を述べられるようにすることが必要である。

## 2) 委員会数及び構成員数

・議論をするにはコスト(時間×人数×人件費単価)がかかることを意識し、このコストを削減することで本来の教育研究のためにより多くの時間をさけるようにすることが必要である。議論のための時間を増やしてもその効果は遞減的であるのに対し、教育研究のための時間を増やすとその効果は少なくとも比例的に増大すると考えられる。このため、委員会数を減らすと同時に各委員会の構成員数を減らすことが効果的である。

## 3) 委員会運営の合理化策

・委員会の日程調整は事務職員、教員の双方にとって負担となっている。このため、たとえばグループウェア等を活用して、他委員会や学内行事との日程重複が起きぬよう留意しつつ簡便に日程調整が行える環境を築くことを検討する必要がある。

・委員会用の資料作成・準備は事務職員にとって負担であるのみならず紙資源の無駄使いでもあり、さらに資料保管のためのスペースや労力、資料を探し出す労力は事務職員、教員双方にとって大きな負担である。このため、グループウェアに会議資料を掲載し、各自がパソコン等のモニター画面を見ながら審議を行ったり、必要時に過去または審議予定の資料を各自で参照・プリントアウトできるようにするなど、会議の電子化を図ることが必要である。

## 4) 効率的運営方策

・対面式会議にこだわらず、書面会議を積極的に取り入れる。  
・会議前の資料配布・一読を励行し、会議上での資料説明時間の短縮や意見準備を心がける。

委員会組織の機能や運営状況について、各室等も含めて、PDCA の各段階をどこが担当しているか、情報伝達の現状、及び平成 16 年の報告書の提案・提言の実施状況等の視点に基づいて、以下の質問項目により自己点検・評価を行った。

- ① 調査票（次ページ掲載）により各委員会の現状を確認
- ② 上記調査票に対する回答に基づき、各委員会が簡素化・効率化案を提案
- ③ ①～②に基づき、大学評価室において委員会コストを算定し、各委員会へさらなる簡素化・効率化案の検討を依頼
- ④ ①～③に基づき、大学評価委員会が全体最適化の観点から簡素化・効率化の提言を行うとともに、自己点検・評価報告書を取り纏める。

# 委員会組織や運営等に係る調査表

委員会名:

## 1 委員会組織や運営に関する基礎的な事項

1-1 委員会の主な目的・役割は何ですか

1-2 委員会の主な審議事項は何ですか

1-3 委員会の構成員を教えてください

1-4 委員会の開催回数を教えてください

H22 年度: 計 回 (うち 回はメール開催)

H23 年度: 計 回 (うち 回はメール開催)

H24 年度: 計 回 (うち 回はメール開催)

1-5 委員会の資料・議事録は公開していますか(以下のどれかにチェック)

- 資料・議事録とも公開している
- 資料のみ公開している
- 議事録のみ公開している
- 公開していない

1-6 委員会の下にワーキング・グループはありますか(以下のどちらかにチェック)

- ある
- ない

## 2 PDCA サイクルや情報伝達の役割分担等に関する事項

※1 PDCA の一部を要しない委員会にあっては「 その他(該当なし)」と記載してください

※2 PDCA サイクルとは以下のような取組を指します

- P Plan 計画作成、計画の審議、計画の決議
- D Do 計画の実行
- C Check 点検・評価(予想と実際の比較)
- A Action 改善(何を変えるべきか?)

2-1 計画は誰が作成していますか(以下のどれかにチェック)

- 委員長
- 各委員
- 事務担当
- その他( )

2-2 計画はどこで審議していますか(以下のどれかにチェック)

- 当該委員会のみ
- 当該委員会及び教育研究評議会(部局にあっては教授会等)等の上位委員会
- その他( )

- 2-3 計画はどこで決議していますか(以下のどれかにチェック)
- 当該委員会
  - 当該委員会及び教育研究評議会(部局にあっては教授会等)等の上位委員会
  - その他( )
- 2-4 計画の実行を指示するのはどこですか(以下のどれかにチェック)
- 当該委員会
  - 事務担当
  - その他( )
- 2-5 計画を実行するのはどこですか(以下のどれかにチェック)
- 当該委員会
  - 事務担当
  - その他( )
- 2-6 計画の実行を点検・評価するのはどこですか(以下のどれかにチェック)
- 当該委員会
  - 当該委員会及び教育研究評議会(部局にあっては教授会等)等の上位委員会
  - その他( )
- 2-7 計画と実行内容の比較をするのはどこですか(以下のどれかにチェック)
- 当該委員会
  - 当該委員会及び教育研究評議会(部局にあっては教授会等)等の上位委員会
  - その他( )
- 2-8 計画と実行内容の乖離等に関する改善を検討するのはどこですか(以下のどれかにチェック)
- 当該委員会
  - 当該委員会及び教育研究評議会(部局にあっては教授会等)等の上位委員会
  - その他( )
- 2-9 当該委員会に情報伝達(検討指示等)するのは誰ですか(以下のどれかにチェック)
- 教育研究評議会(部局にあっては教授会等)等の上位委員会
  - 任命者
  - 委員が所属する学科等
  - その他( )
- 2-10 当該委員会からの情報伝達はどこに対して行っていますか(以下のどれかにチェック)
- 教育研究評議会(部局にあっては教授会等)等の上位委員会
  - 任命者
  - 委員が所属する学科等
  - その他( )

### 3 委員会活動の改善に関する事項

- 3-1 全学あるいは部局の執行部が基本方針を決め、この基本方針に沿った具体案を室等で立案し、これを委員会で審議し、教育研究評議会等で決議するというアプローチを採っていますか。このアプローチを採るに際しての問題点は何ですか。  
※ ただし、このアプローチを採る必要のない委員会は記入の必要はありません。

- 3-2 委員会での情報伝達に関し、委員は代表する組織の情報を当該委員会に伝達し、委員長は、委員長の任命者からの情報を当該委員会に伝達する責務を有します。また、委員は代表する組織に当該委員会情報を伝達し、委員長は、委員長の任命者に当該委員会情報を伝達する責務を有します。また重要な事項については、教育研究評議会、教授会などでの説明も必要

です。このような情報伝達が適切になされていない場合、その問題点は何だと考えますか。

3-3 コストの観点から現在の委員会の体制をどう考えていますか。委員会での審議を行い、また情報伝達を適切に実施するという前提で、委員数はどこまで減らすことが可能ですか。また、委員会の開催回数及び会議に要する時間の削減はどこまで可能ですか。

3-4 会議体での審議はコストがかかるという観点から、原議書、決裁(学科長、部局長、学長等)、メール審議(書面会議)、会議体での審議など様々なやり方が考えられます。審議事項毎に、どの方法を採用するのが良いと考えますか。たとえば、年中行事として毎年実施している事項について、大きな変更があった場合のみ会議体で審議し、そうでなければメール審議あるいは決裁で済ませるというように、状況により異なる方法を採用することも含めてお答え下さい。

3-5 委員会の日程調整は事務担当及び委員がどの程度の労力を要していますか。

3-6 委員会のペーパーレス化はどの程度進んでいますか。ペーパーレス化に関する問題点は何ですか。

3-7 会議前の資料配布は実現していますか。実現していない場合、どのような条件で可能と考えますか。

3-8 全学委員会に対応する部局委員会が存在しますか。もし存在する場合、全学委員会と部局委員会の連携は、たとえば部局委員会委員長が全学委員会の委員になるなど、適切に実施されていますか。

3-9 委員会において、該当する中期目標、中期計画、年度計画を達成するという目的に向かって、適切にPDCAサイクルを実行していますか。PDCAサイクルの実行に際し、何か問題点はありますか。

3-10 事務職員が委員として参加していますか。事務職員が参加していない場合、今後参加させることは可能ですか。

3-11 委員会構成員、委員会担当事務職員ともに引継ぎをきちんと行うことが必要です。特に、委員会構成員交代の際には、前任者が後任者に委員会の役割やこれまでの審議状況等について説明するとともに、委員会担当事務職員から後任者に対し、委員会規則や名簿、審議経過説明資料等を必ず送付するようにする必要があります。併せて毎年度当初の会議において同様の資料を配布し、委員長から説明を行って、委員会構成員全員が委員会の役割等を再確認する機会を持つことが望ましい。これらが適切に実施されていますか。

4 本調査を踏まえ、委員会が考える組織体制や運営に関する簡素化・効率化案をご記載ください

## Ⅱ 委員会組織の自己点検・評価結果

### ●親子関係がある委員会一覧

- ・安全衛生委員会  
－戸畑地区安全衛生委員会／飯塚地区安全衛生委員会／若松地区安全衛生委員会
- ・大学評価委員会  
－大学院工学研究院部局評価委員会／大学院情報工学研究院部局評価委員会／大学院生命体工学研究科部局評価委員会
- ・教育委員会  
－工学部教務委員会／大学院工学府学務委員会／情報工学部教務委員会／大学院情報工学府大学院委員会／大学院生命体工学研究科学務専門部会
- ・入学試験委員会  
－工学部入学試験委員会／大学院工学府入学試験委員会／情報工学部入学試験委員会／大学院情報工学府大学院委員会／学院生命体工学研究科入試専門部会
- ・学生委員会  
－工学部学生委員会／情報工学部学生委員会
- ・学術情報委員会  
－大学院工学研究院学術情報委員会／大学院情報工学研究院学術情報委員会

### ●その他の全学・部局委員会

#### ▶ 全学

危機管理委員会／設備評価委員会／施設委員会／施設評価委員会／研究・産学連携委員会／利益相反委員会／発明審査委員会／キャンパス・ハラスメント防止委員会

#### ▶ 工学部・工学府・工学研究院

工学部技術部運営委員会／大学院工学府・工学部安全環境委員会／工学部機械工作室運営委員会／工学部工学専門教育用計算機・ネットワークシステム運営委員会／工学部広報委員会／教職課程教育実施運営委員会／学寮（明専寮）運営委員会／工学部キャリアセンター運営委員会／工学部技術部班長会議／大学院工学府・工学部教育運営改善会議／大学院工学研究院広報室運営会議／工学府・工学部教育方法等開発室運営会議／工学部JABEE 担当者会議／大学院工学府入学定員管理会議／工学部ランゲッジ・ラウンジ運営会議

#### ▶ 情報工学部・情報工学府・情報工学研究院

委員長会／大学院情報工学府教育職員資格審査委員会／大学院情報工学研究院将来構想検討委員会／大学院情報工学研究院広報委員会／教務情報作業委員会／VR 実験室作業委員会／IC カード作業委員会／大学院情報工学研究院環境改善委員会／大学院情報工学研究院動物実験委員会／大学院情報工学研究院等における人を対象とする研究倫理審査委員会／ファカルティ・ディベロップメント委員会／情報工学部 J A B E E 対応委員会／教職課程運営委員会／基礎実験室運営委員会／情報工学部 I I F プログラム運営委員会／飯塚地区ゼロ災委員会

#### ▶ 生命体工学研究科

大学院生命体工学研究科動物実験委員会／留学生・海外対応部会／広報・学生募集部会

## II. 1. 全学・部局別の委員会活動の状況

### II. 1. 1. 平成 24 年度における委員会コスト比較

全学委員会のコスト	941h	稼働している委員会数: 14
-----------	------	----------------

部局委員会のコスト	工学部	1,793 h	稼働している委員会数: 18
	情報工	1,643 h	稼働している委員会数: 25
	生命体	342 h	稼働している委員会数: 6
	計	3,778 h	

注 1) コストは「各委員会の開催回数（メール開催は除く）×委員数×1.5時間」の合計で算出している

注 2) 全学委員会のうち、役員会、経営協議会、教育研究評議会、戦略会議は除外している

注 3) 部局委員会のうち、教授会、学科長会、専攻長会、系長会は除外している

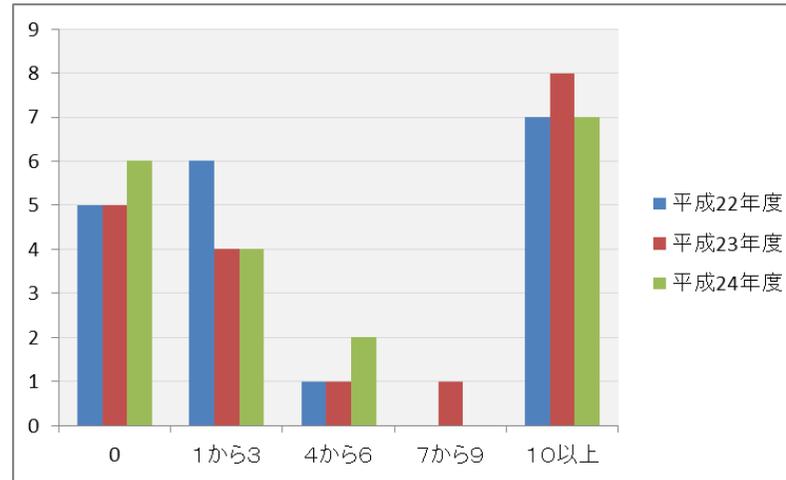
注 4) 「〇〇が指名する者若干名」等とあるもので、委員数が把握できないものは委員数に含めていない

注 5) 一部の委員会には委員として事務職員、技術職員を含むものがある

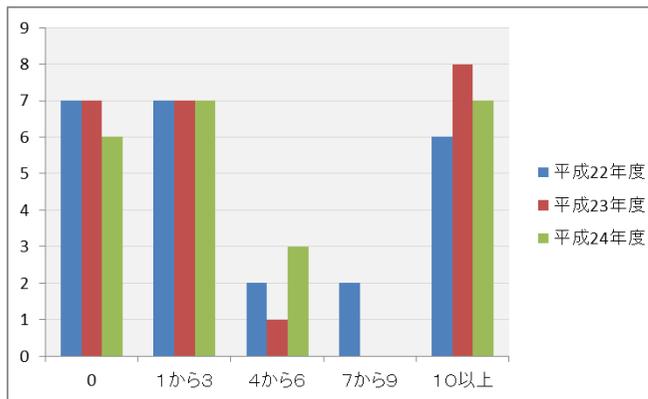
部局委員会のコストの詳細	部 局		平成24年5月現在の 准教授以上の教員数	コスト／教員数
	工学部	1,793 h	124 人	14.46 h/人
	情報工	1,643 h	100 人	16.43 h/人
	生命体	342 h	35 人	9.77 h/人

## II. 1. 2. 項目毎の集計結果

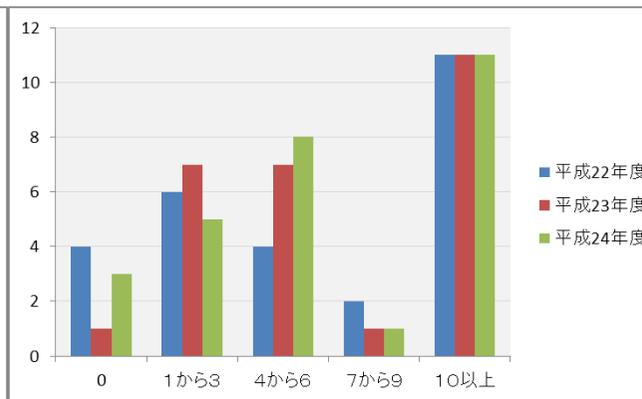
### 【1－4】委員会開催回数



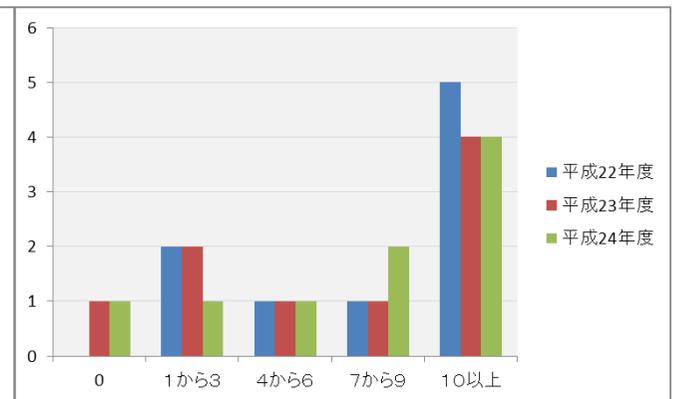
全学委員会



工学部・工学府・工学研究院

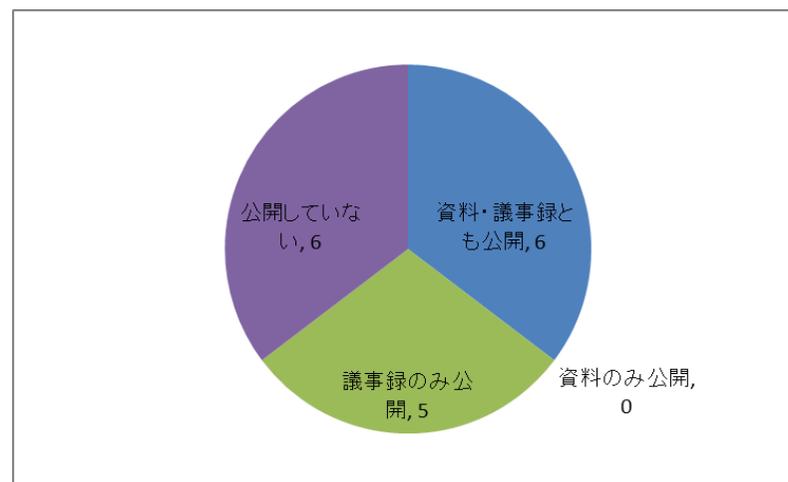


情報工学部・情報工学府・情報工学研究院

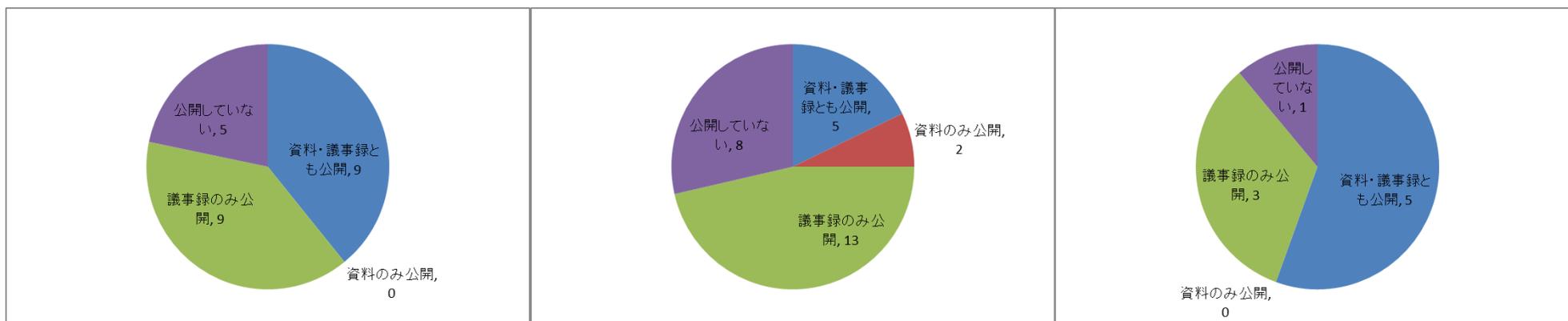


生命体工学研究科

【1-5】資料・議事録の公開状況



全学委員会

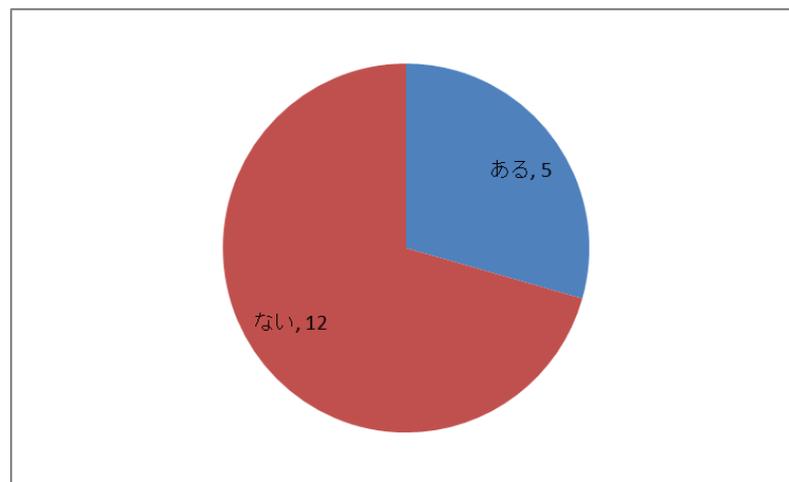


工学部・工学府・工学研究院

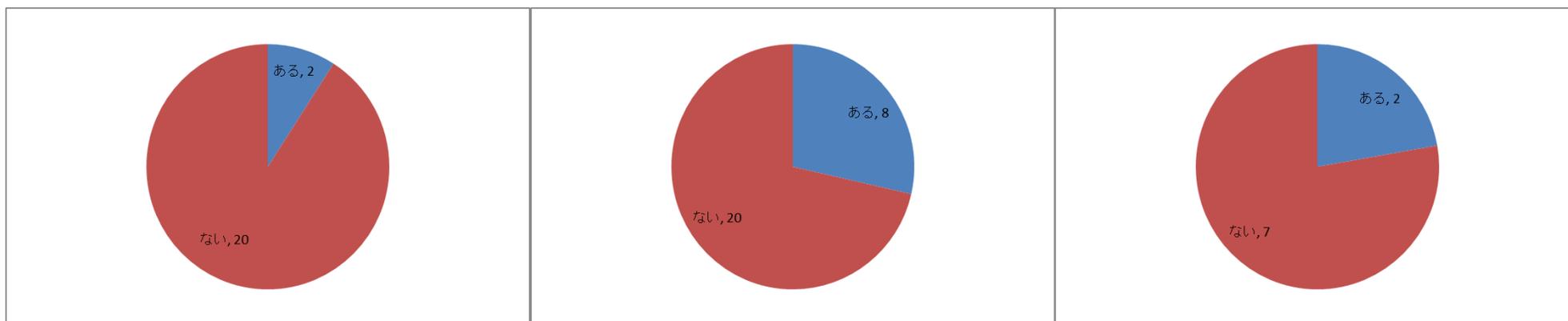
情報工学部・情報工学府・情報工学研究院

生命体工学研究科

【1-6】ワーキング・グループの有無



全学委員会

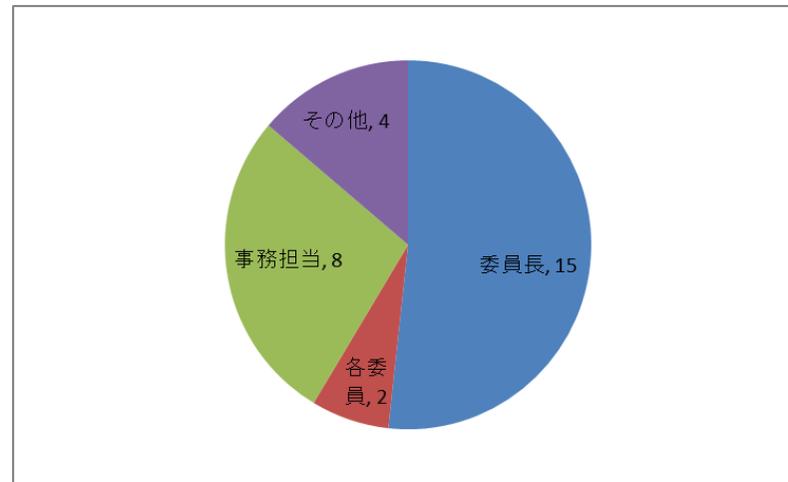


工学部・工学府・工学研究院

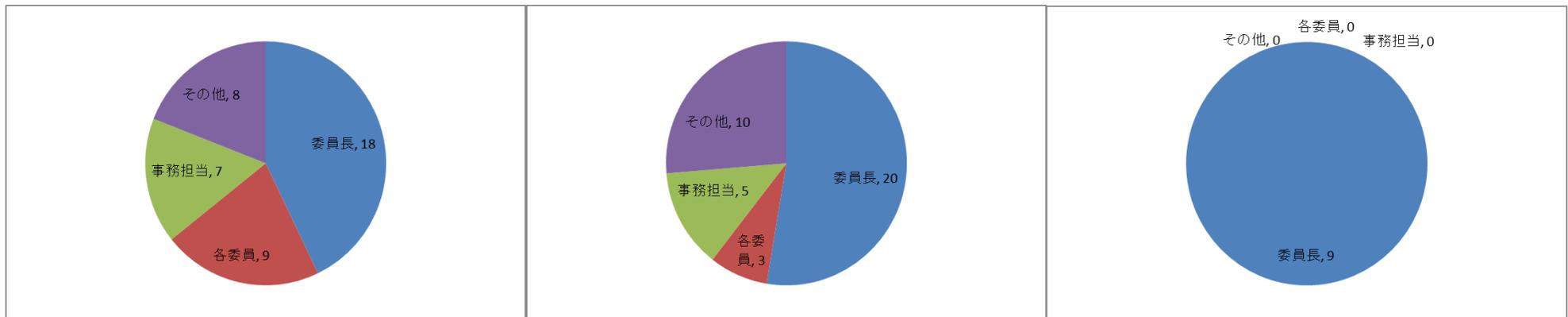
情報工学部・情報工学府・情報工学研究院

生命体工学研究科

【2-1】主たる計画作成者



全学委員会

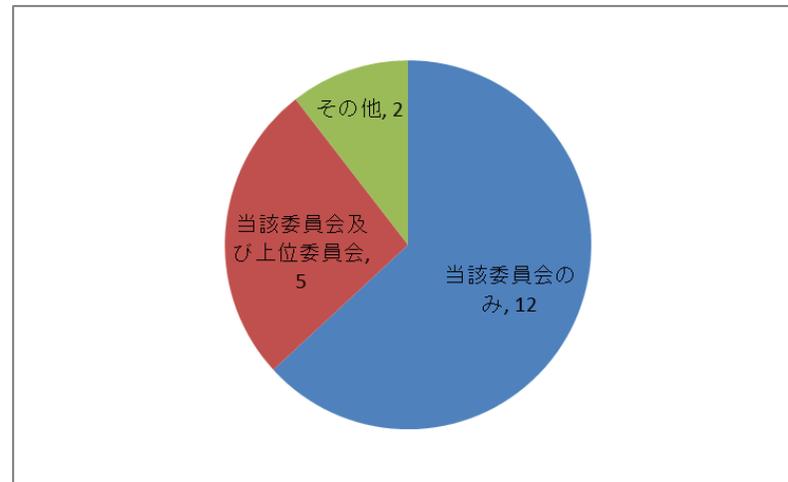


工学部・工学府・工学研究院

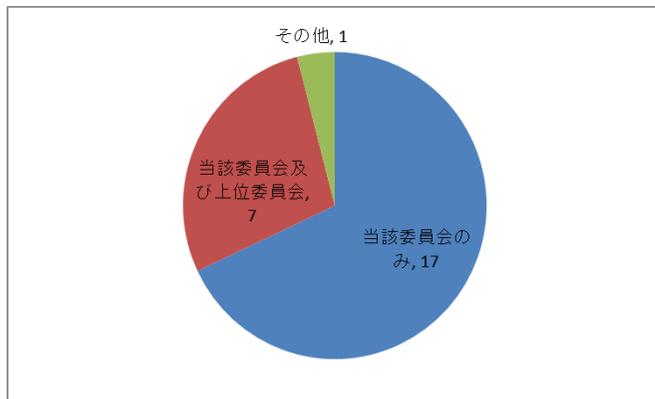
情報工学部・情報工学府・情報工学研究院

生命体工学研究科

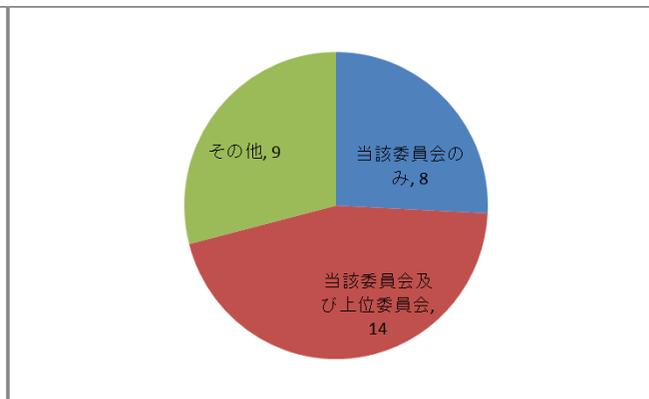
【2-2】主たる計画審議組織



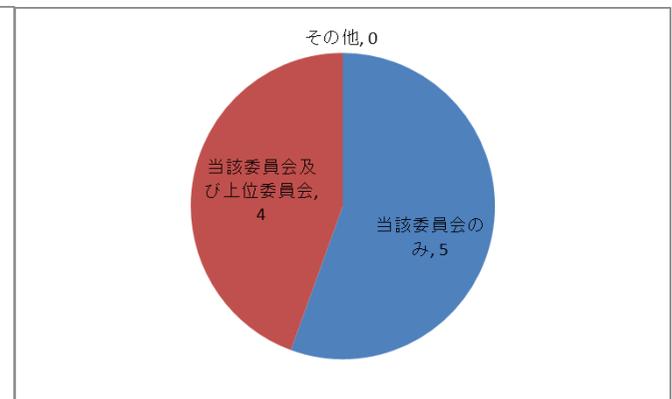
全学委員会



工学部・工学府・工学研究院

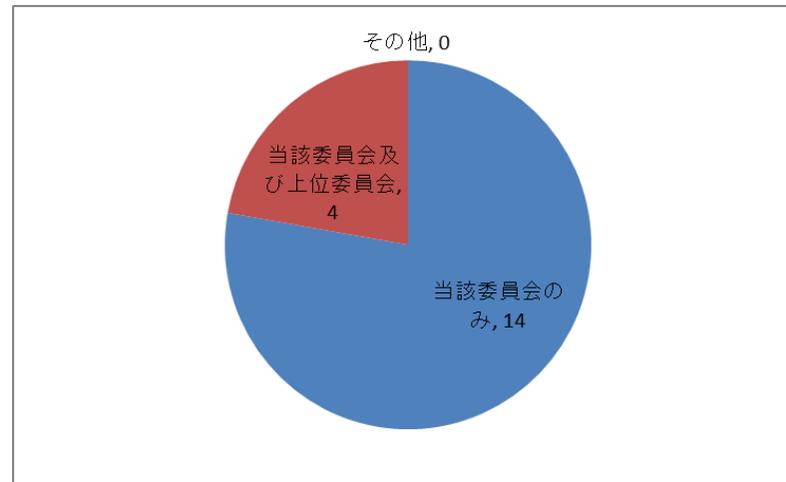


情報工学部・情報工学府・情報工学研究院

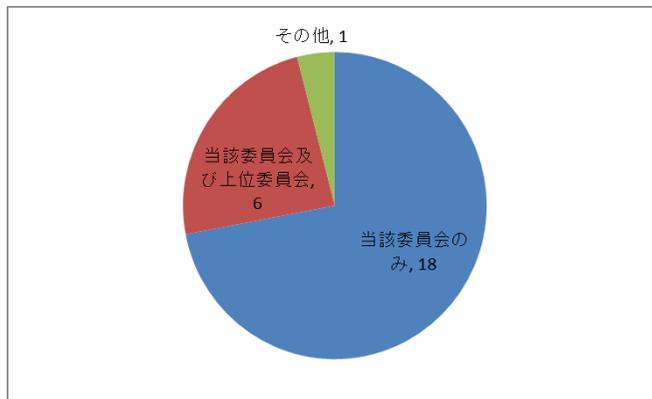


生命体工学研究科

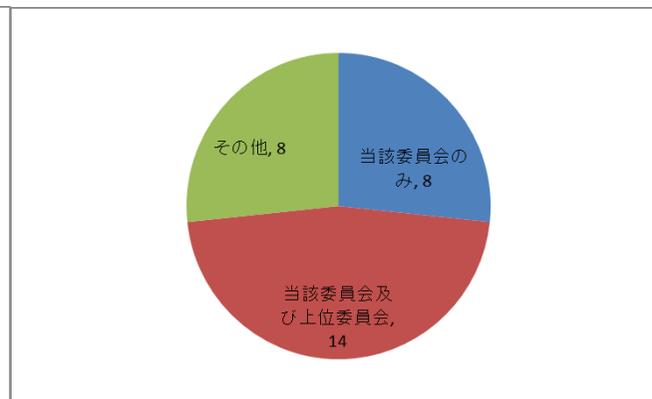
【2-3】主たる計画決議組織



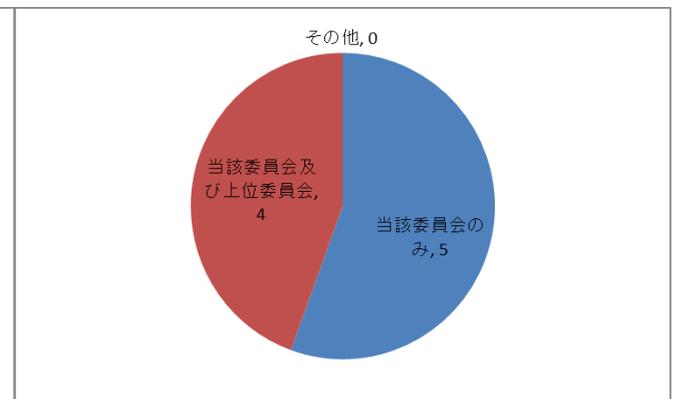
全学委員会



工学部・工学府・工学研究院

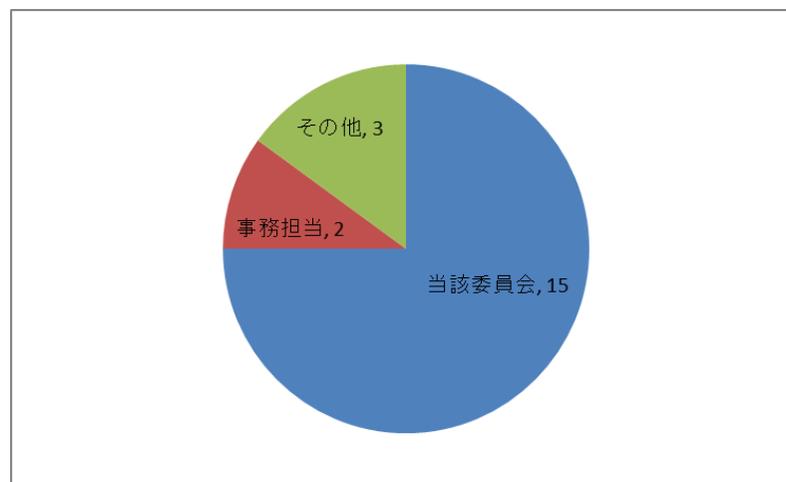


情報工学部・情報工学府・情報工学研究院

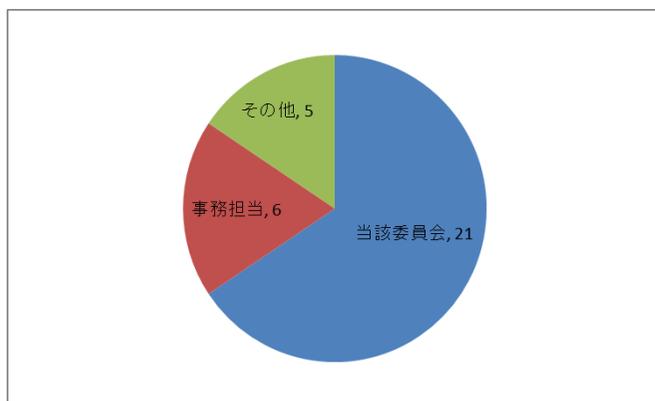


生命体工学研究科

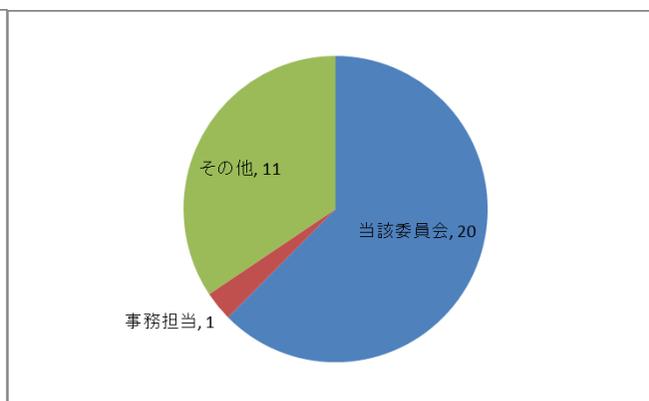
【2-4】主たる計画実行指示組織



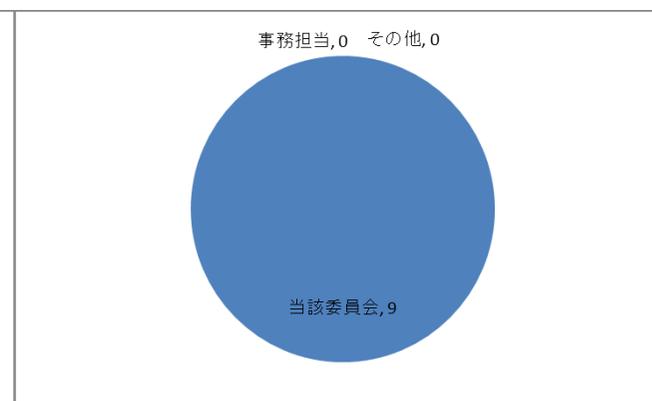
全学委員会



工学部・工学府・工学研究院

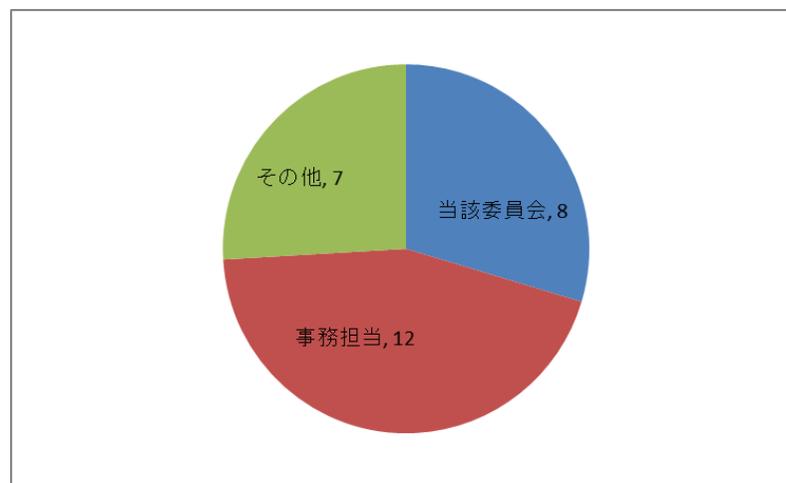


情報工学部・情報工学府・情報工学研究院

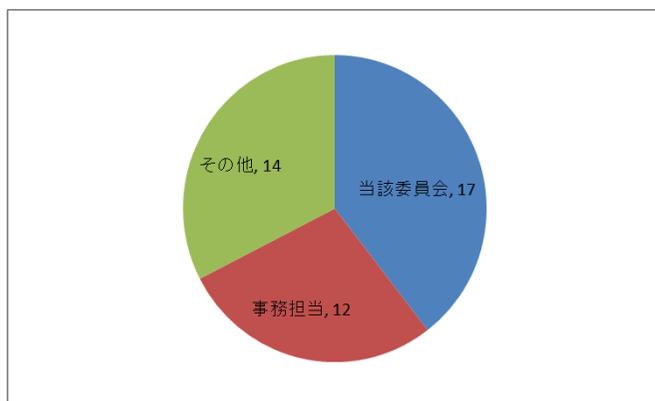


生命体工学研究科

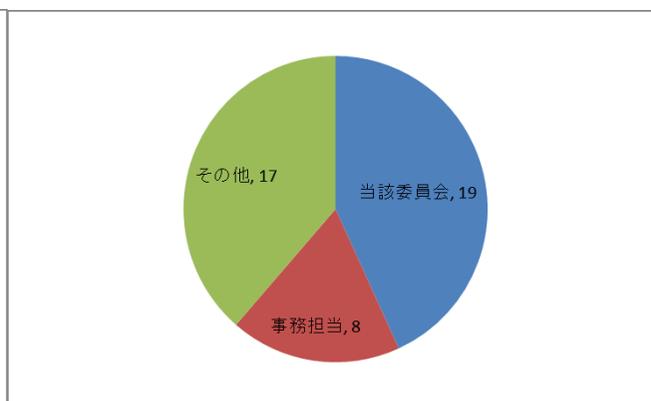
【2-5】主たる計画実行組織



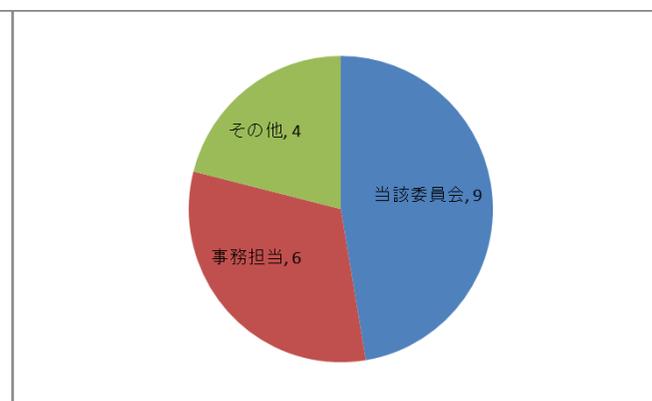
全学委員会



工学部・工学府・工学研究院

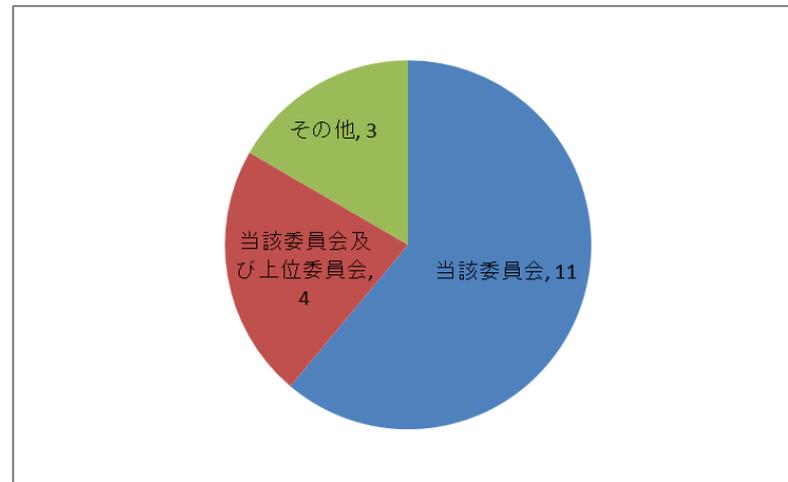


情報工学部・情報工学府・情報工学研究院

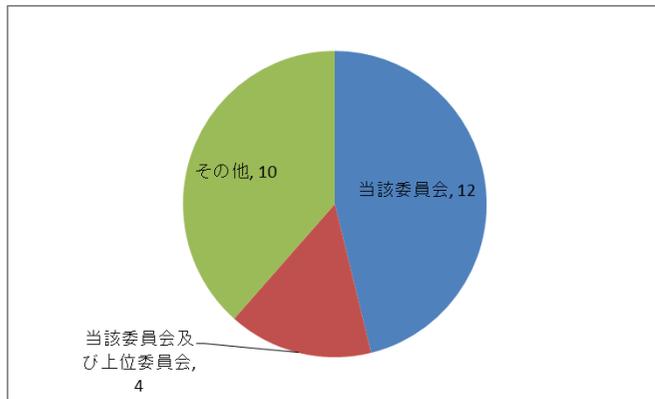


生命体工学研究科

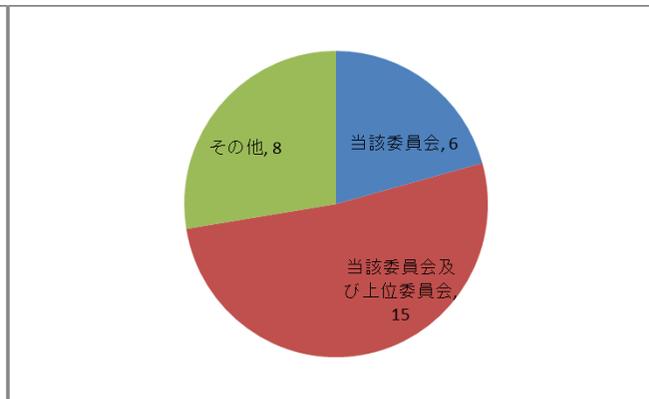
【2-6】計画実行の主たる点検・評価組織



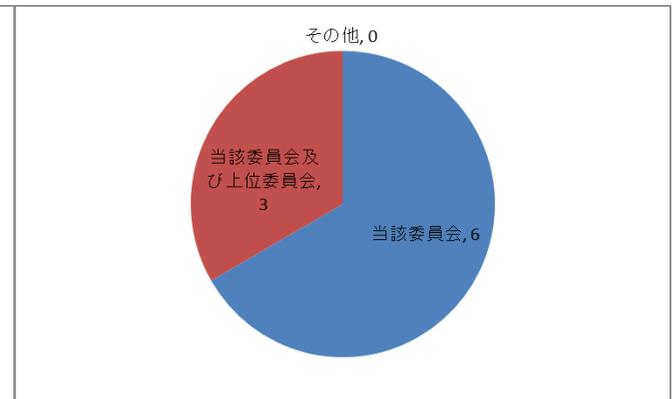
全学委員会



工学部・工学府・工学研究院

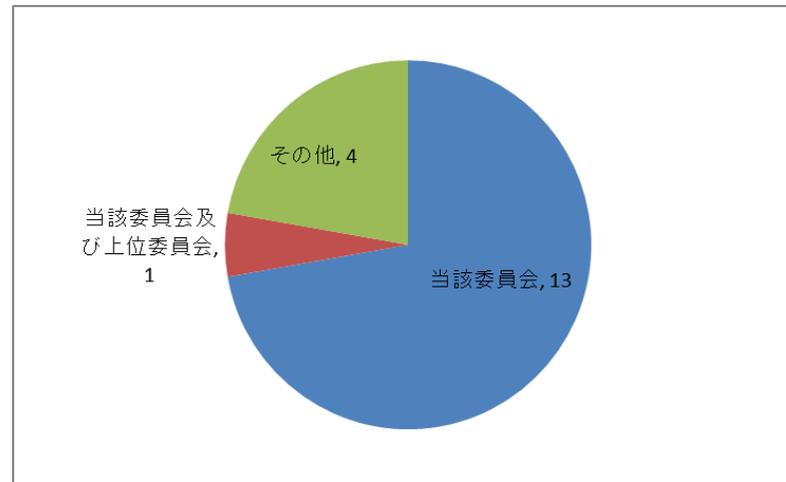


情報工学部・情報工学府・情報工学研究院

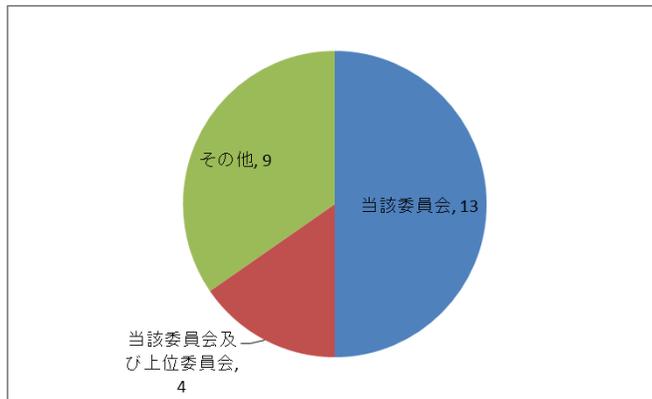


生命体工学研究科

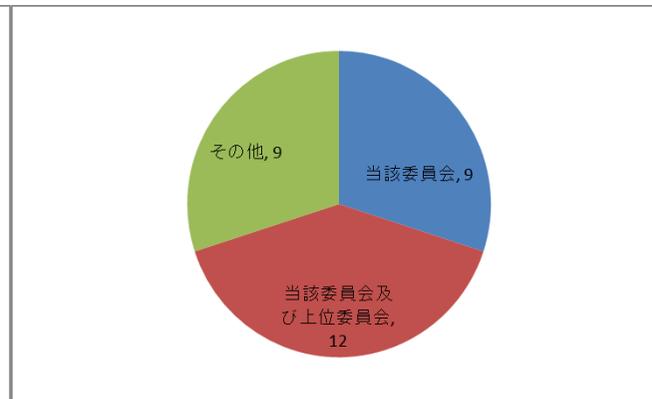
【2-7】計画と実行の主たる比較組織



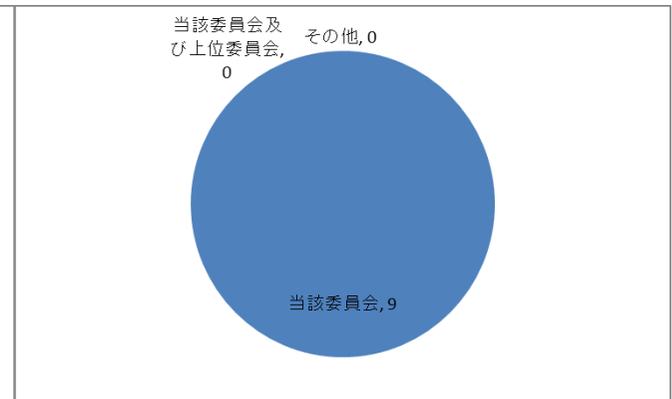
全学委員会



工学部・工学府・工学研究院

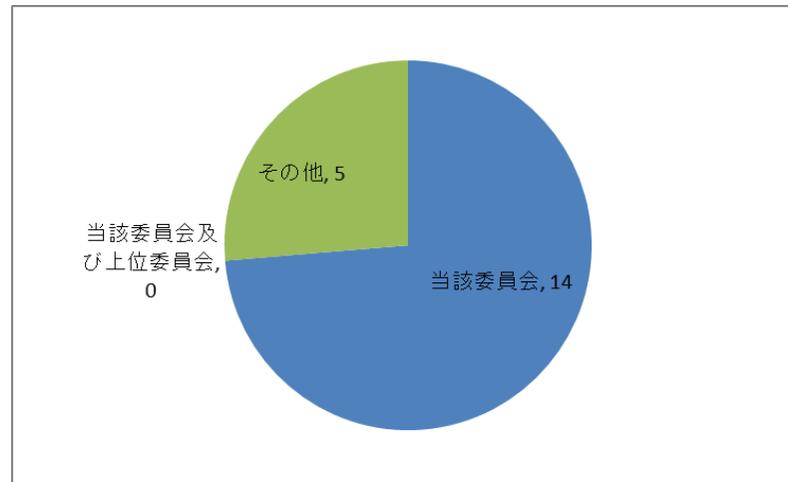


情報工学部・情報工学府・情報工学研究院

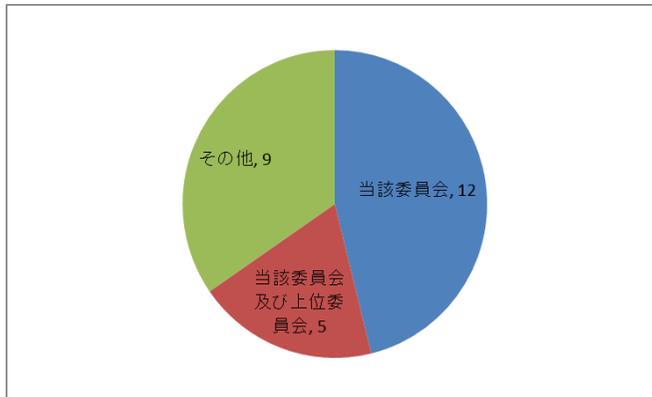


生命体工学研究科

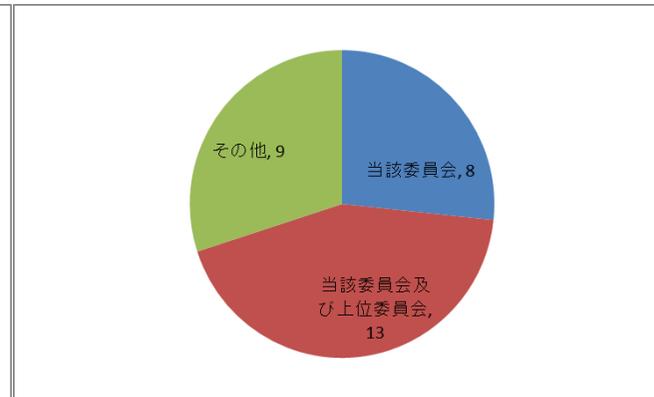
【2-8】計画と実行の主たる乖離改善組織



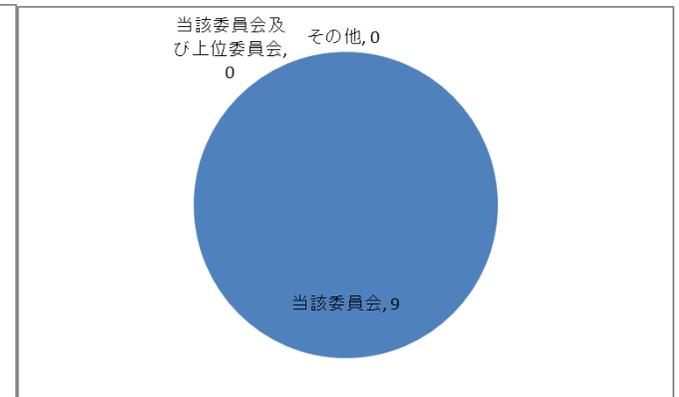
全学委員会



工学部・工学府・工学研究院

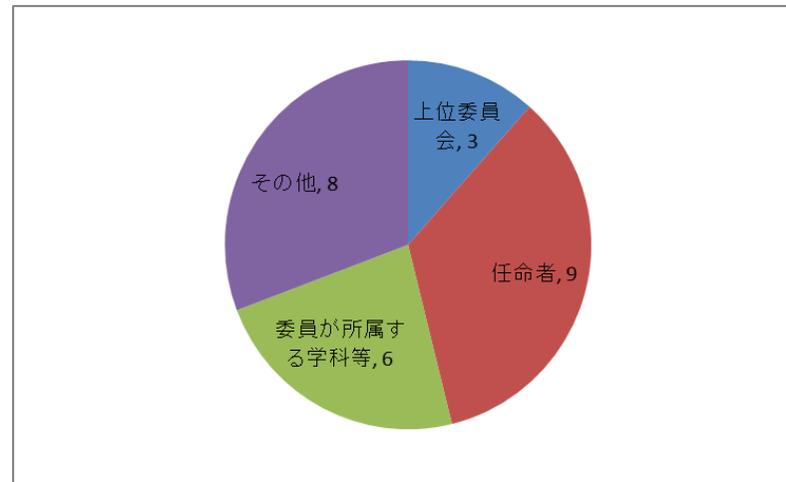


情報工学部・情報工学府・情報工学研究院

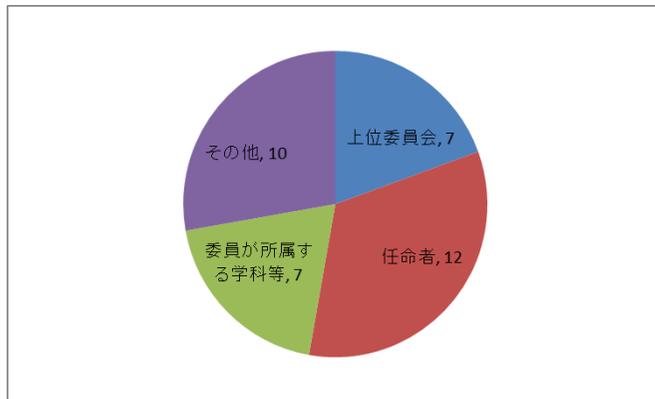


生命体工学研究科

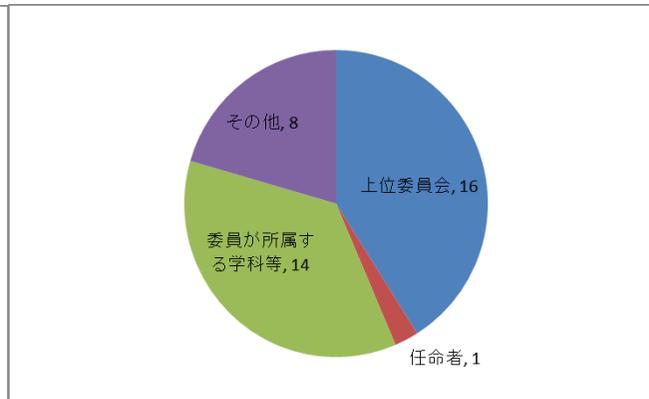
【2-9】当該委員会への主たる情報伝達は？



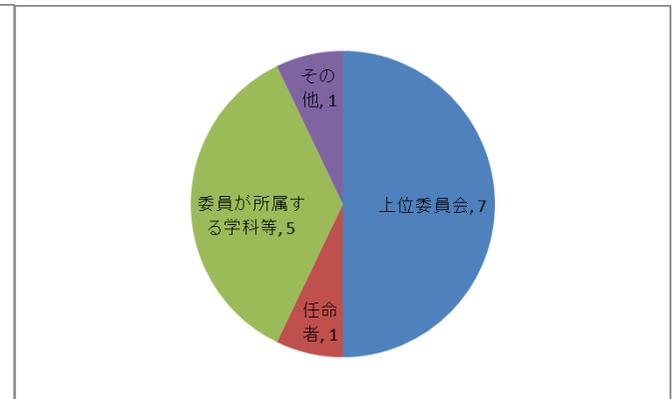
全学委員会



工学部・工学府・工学研究院

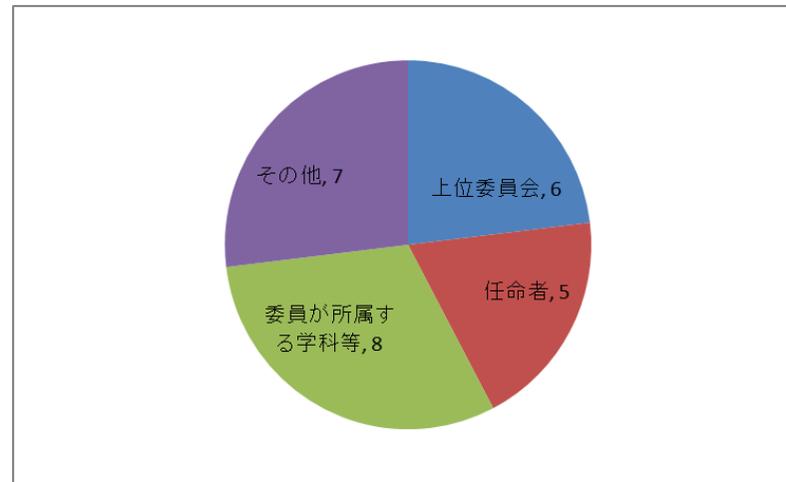


情報工学部・情報工学府・情報工学研究院

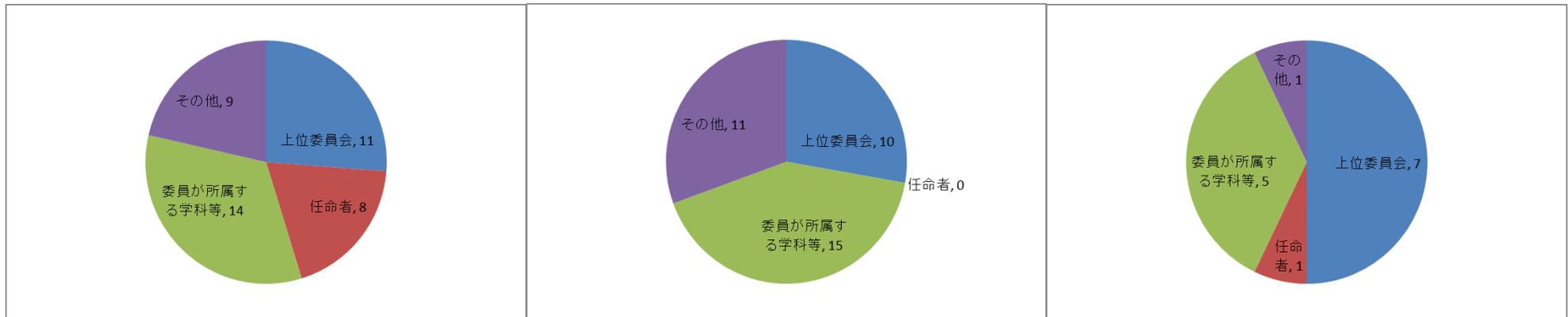


生命体工学研究科

【2-10】当該委員会からの主たる情報伝達は？



全学委員会

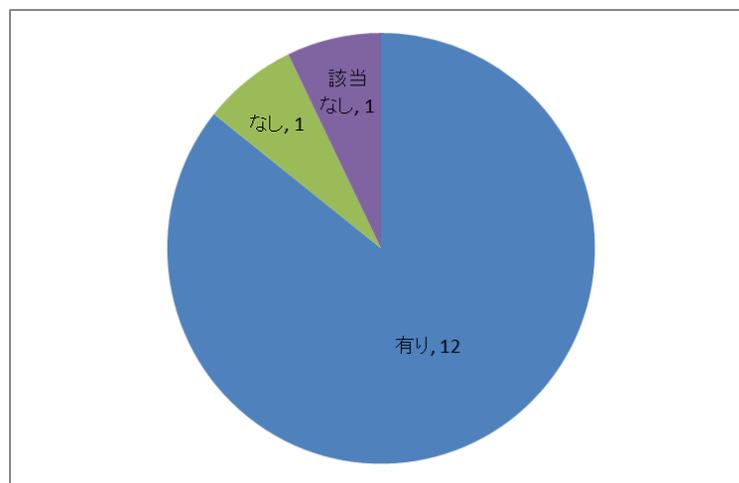


工学部・工学府・工学研究院

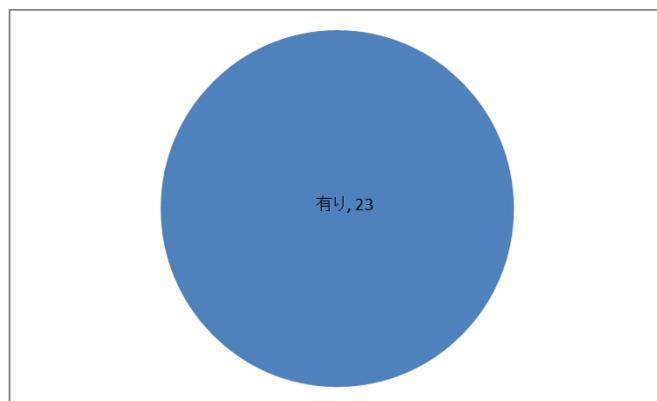
情報工学部・情報工学府・情報工学研究院

生命体工学研究科

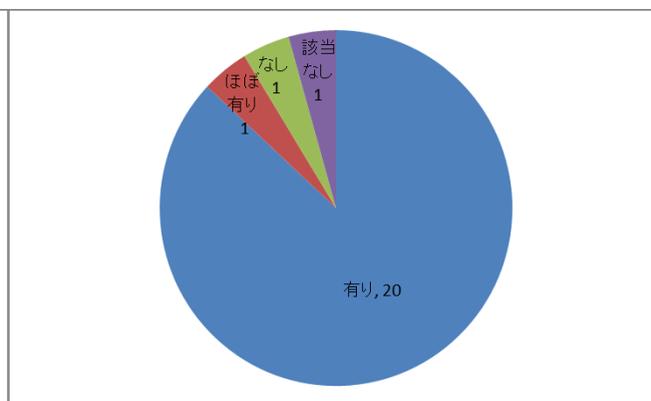
【3-1】 トップダウンアプローチの有無



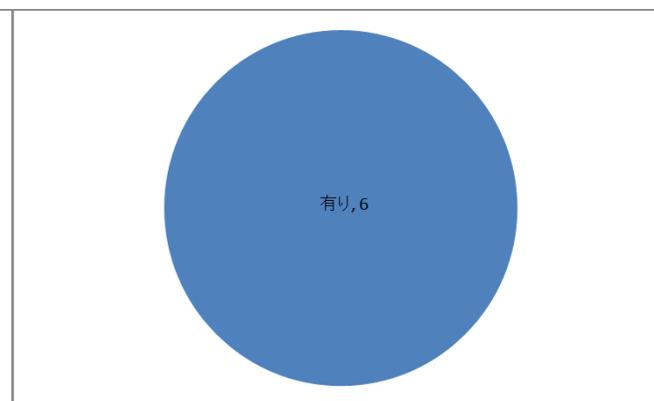
全学委員会



工学部・工学府・工学研究院

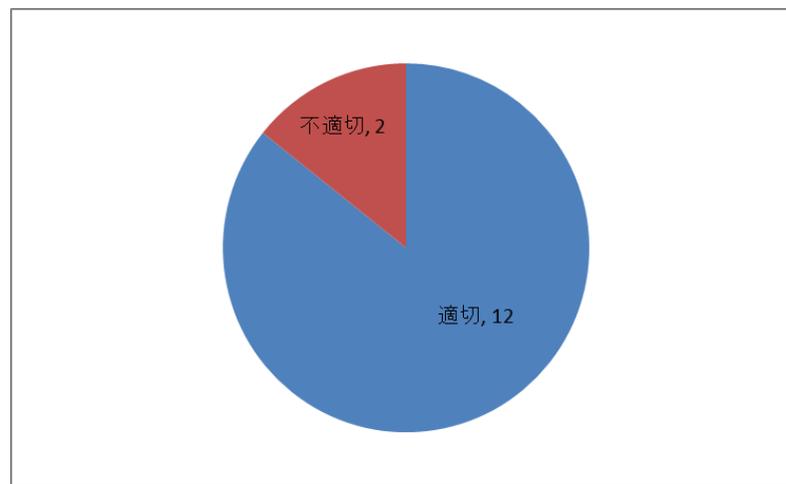


情報工学部・情報工学府・情報工学研究院

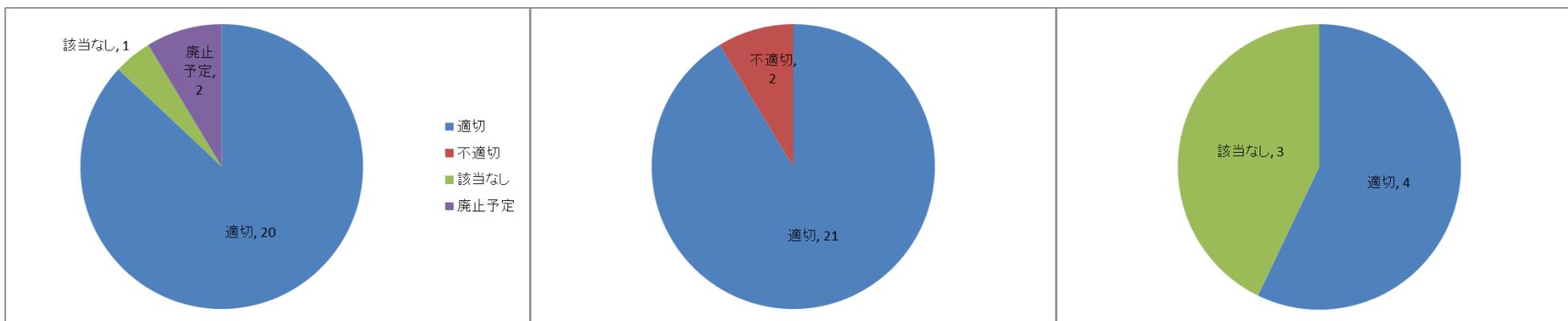


生命体工学研究科

【3-2】情報伝達は適切か？



全学委員会

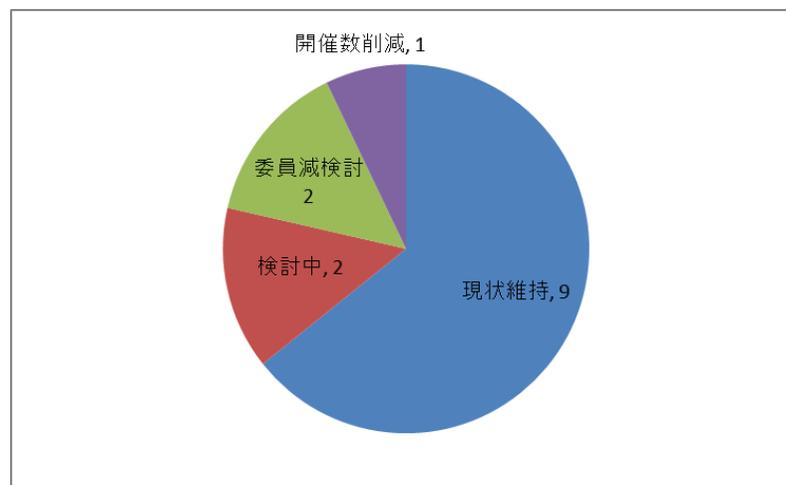


工学部・工学府・工学研究院

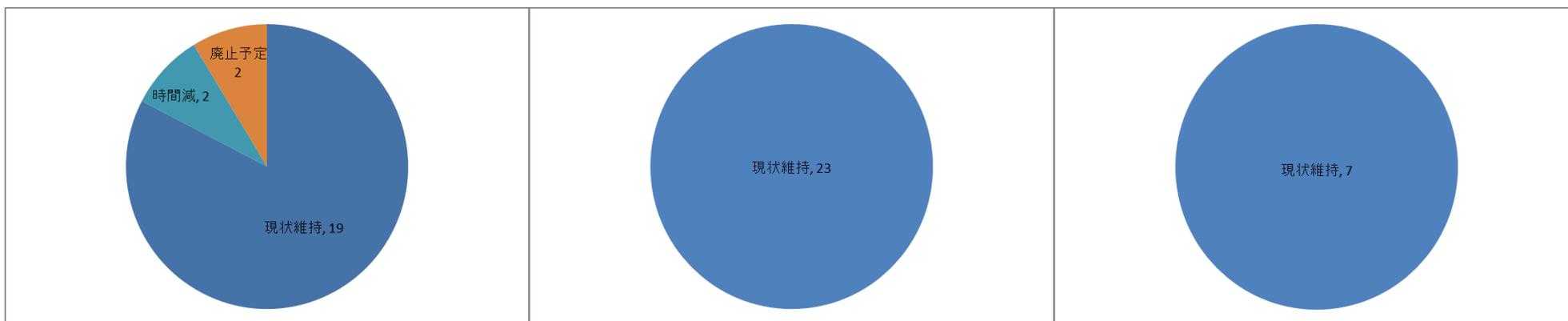
情報工学部・情報工学府・情報工学研究院

生命体工学研究科

【3-3】委員数、開催回数、時間の削減



全学委員会

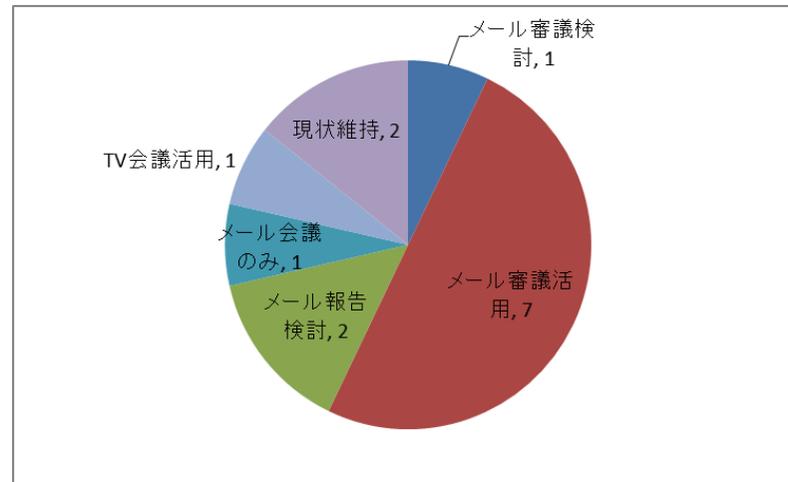


工学部・工学府・工学研究院

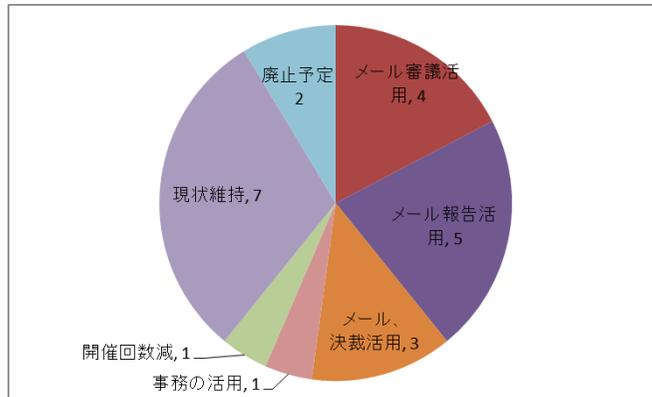
情報工学部・情報工学府・情報工学研究院

生命体工学研究科

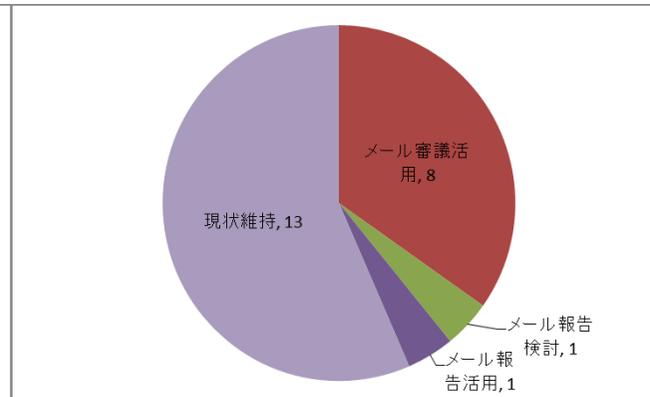
【3-4】会議体以外の審議の活用



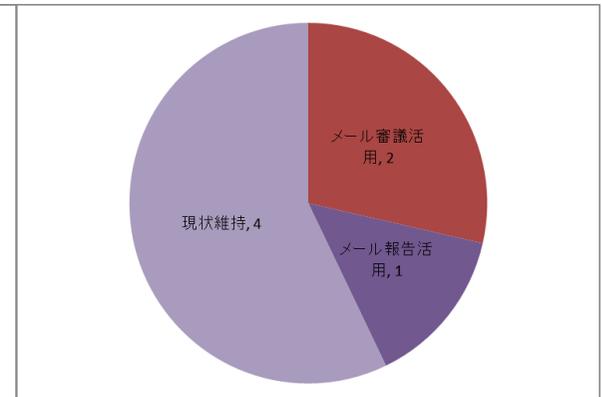
全学委員会



工学部・工学府・工学研究院

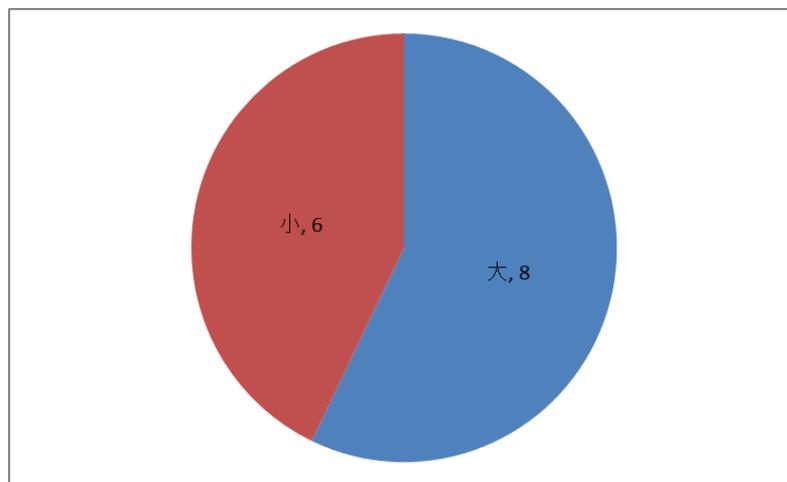


情報工学部・情報工学府・情報工学研究院

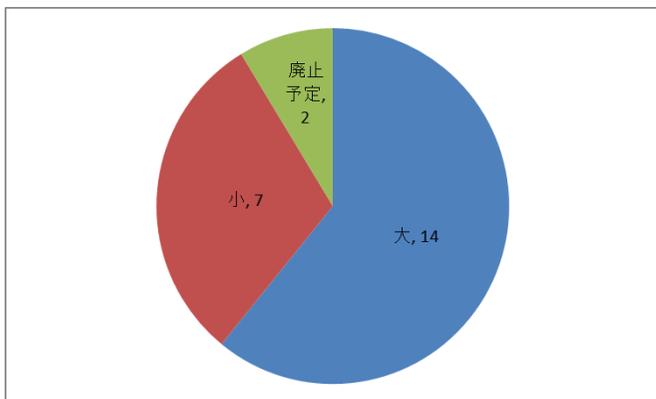


生命体工学研究科

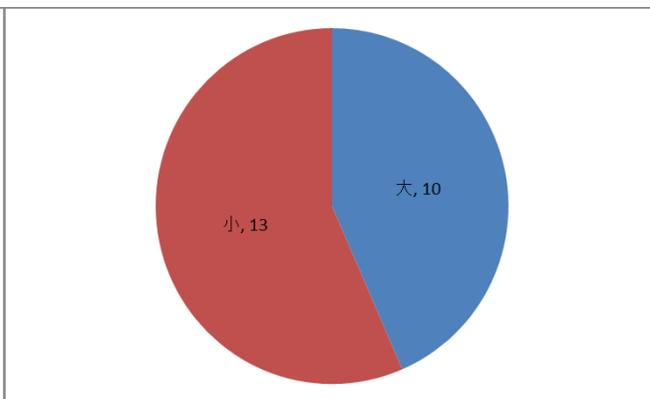
【3-5】日程調整の労力



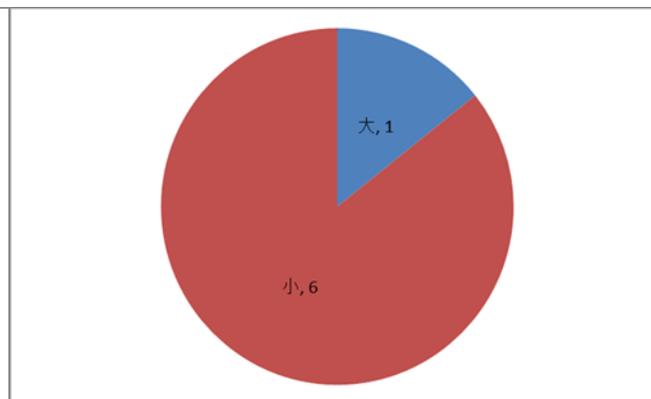
全学委員会



工学部・工学府・工学研究院

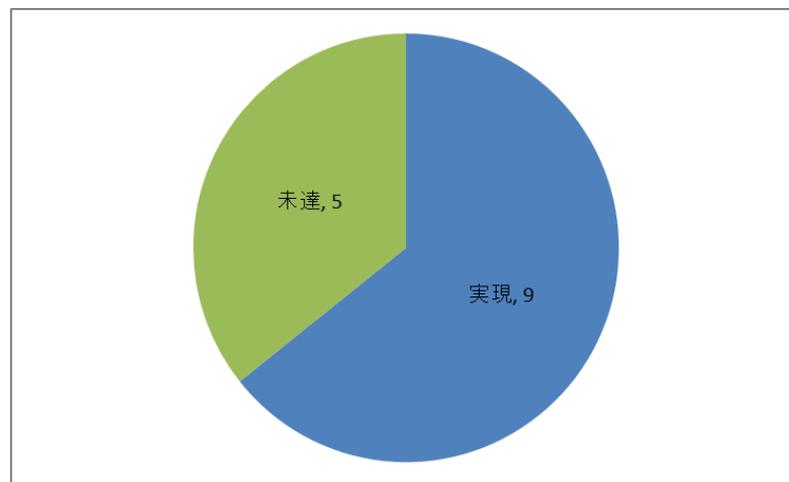


情報工学部・情報工学府・情報工学研究院

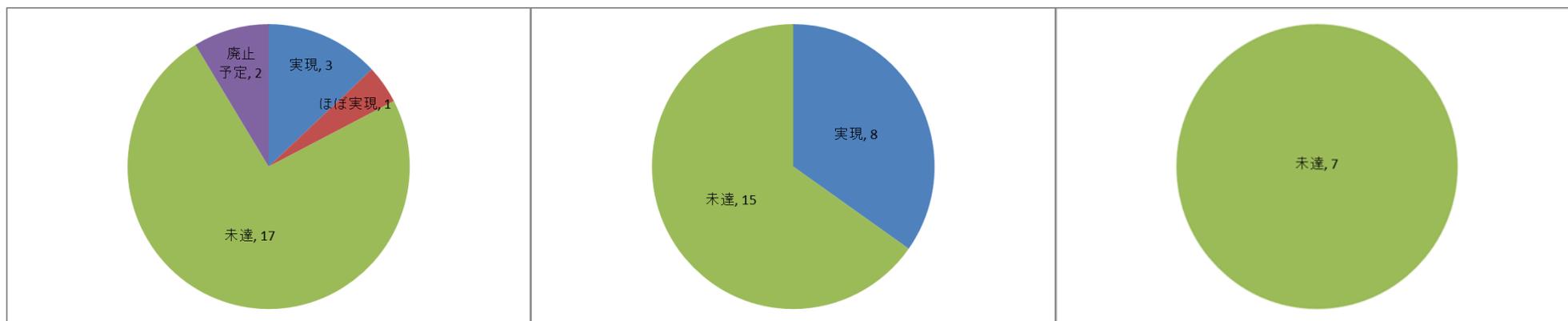


生命体工学研究科

【3-6】ペーパーレス化の実現



全学委員会

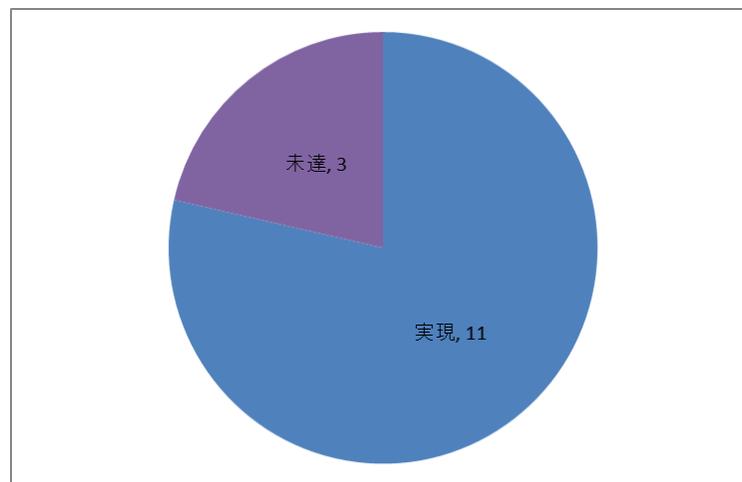


工学部・工学府・工学研究院

情報工学部・情報工学府・情報工学研究院

生命体工学研究科

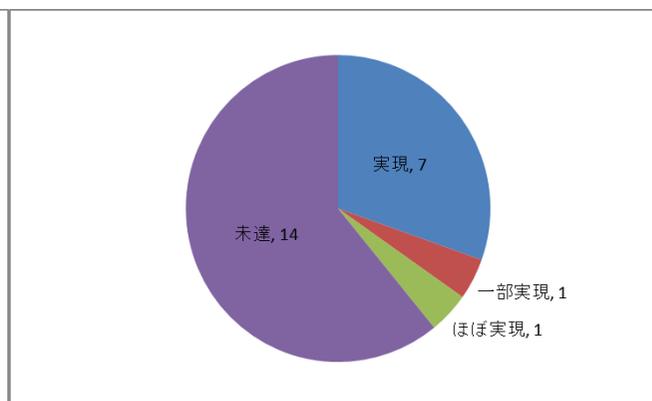
【3-7】会議前の資料配付



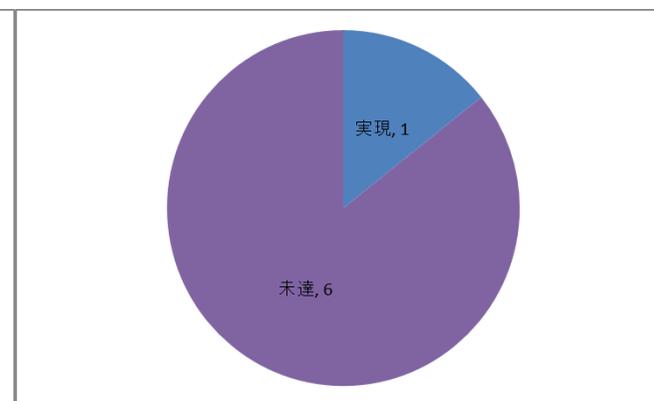
全学委員会



工学部・工学府・工学研究院

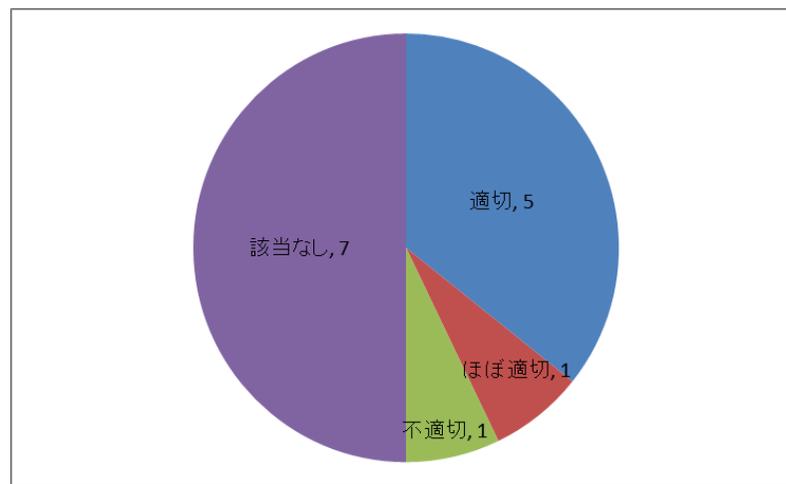


情報工学部・情報工学府・情報工学研究院

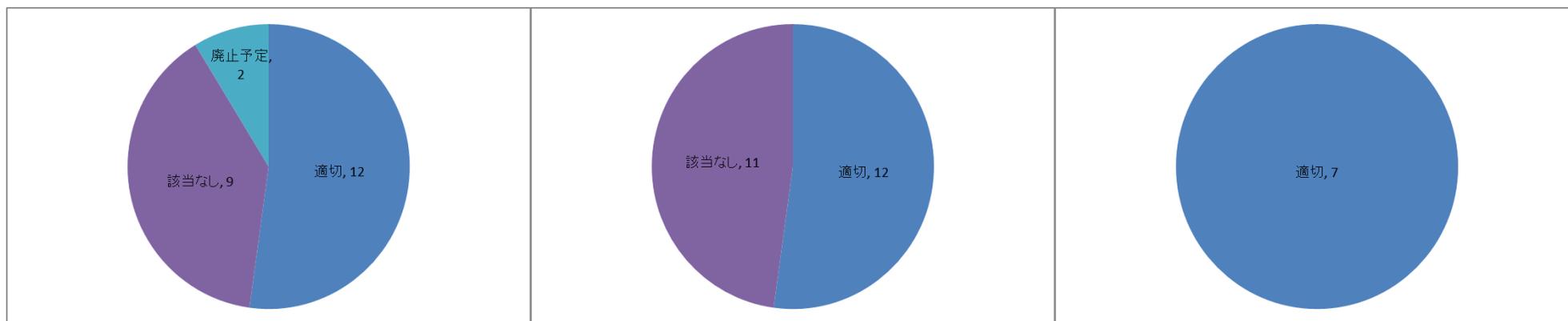


生命体工学研究科

【3-8】全学・部局委員会の連携



全学委員会

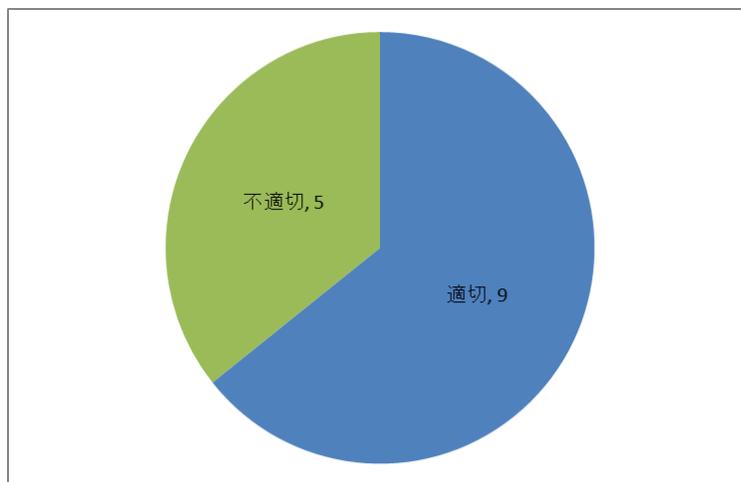


工学部・工学府・工学研究院

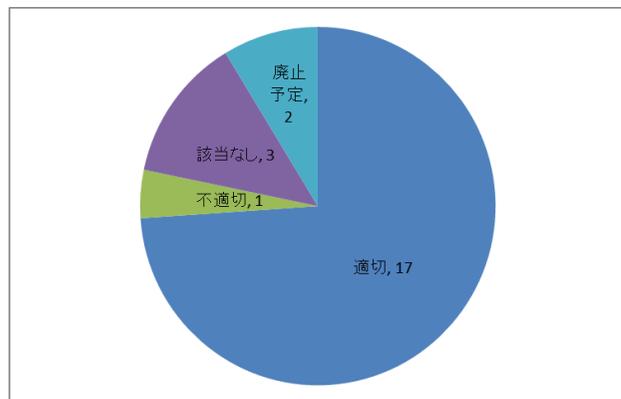
情報工学部・情報工学府・情報工学研究院

生命体工学研究科

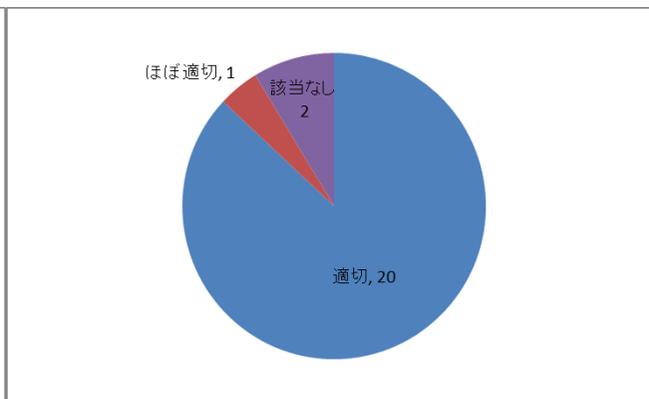
【3-9】PDCA サイクルの実現



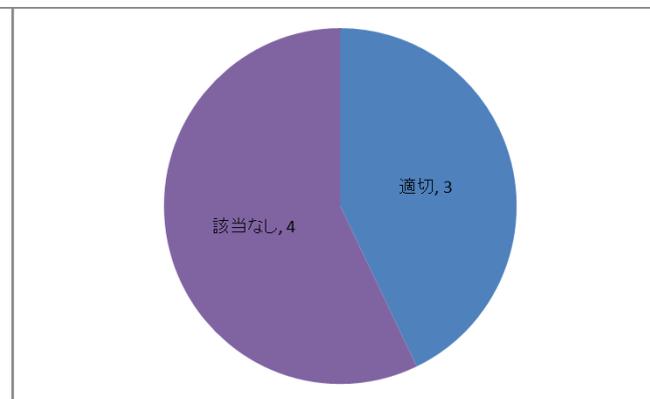
全学委員会



工学部・工学府・工学研究院

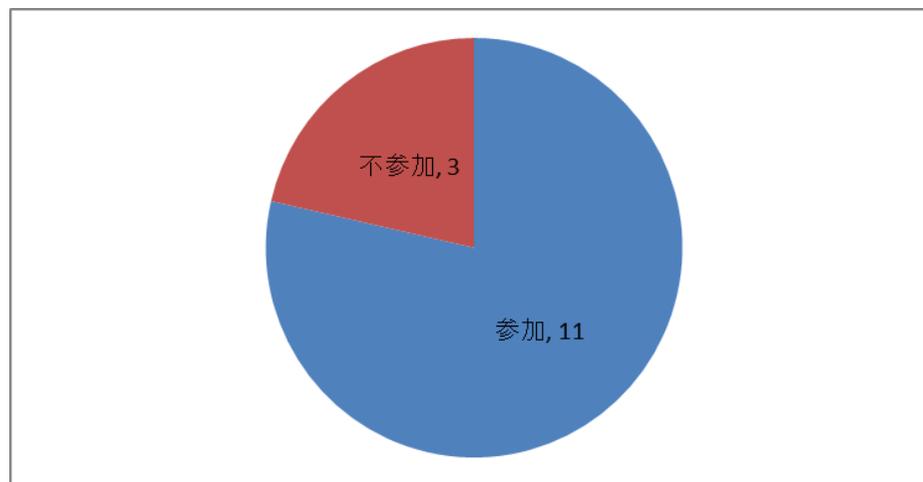


情報工学部・情報工学府・情報工学研究院

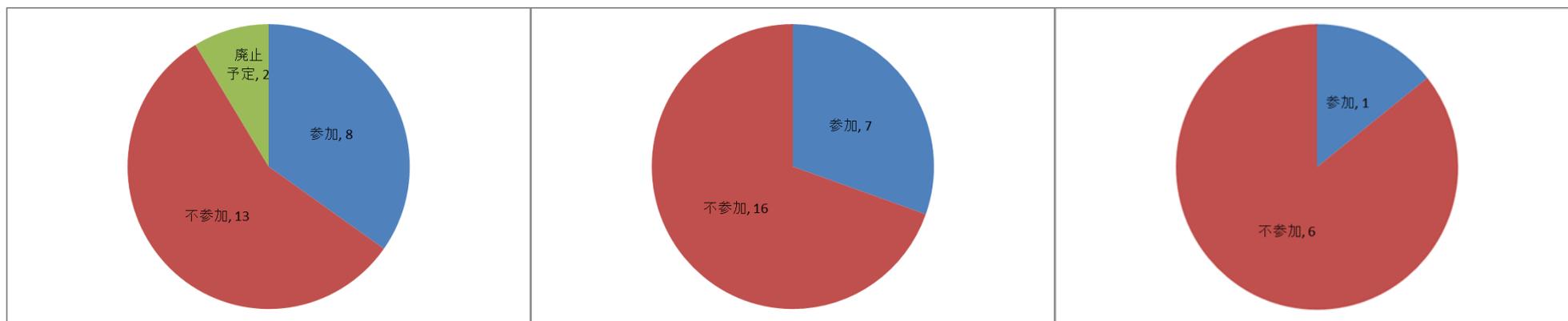


生命体工学研究科

【3-10】事務職員の参加



全学委員会

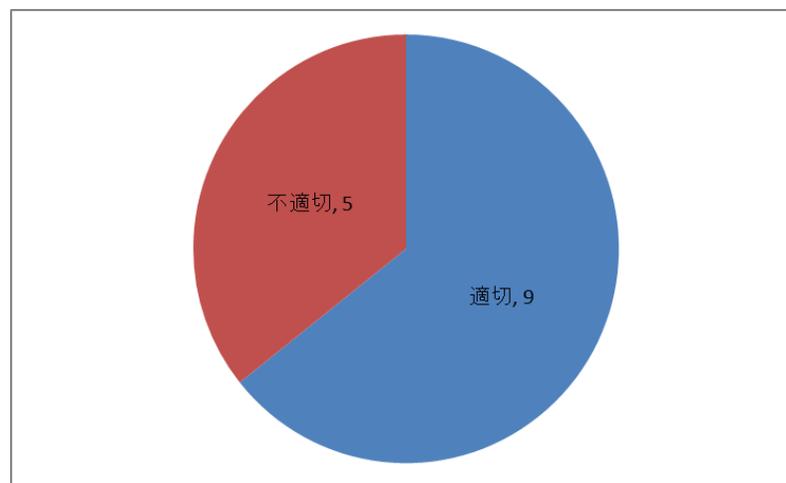


工学部・工学府・工学研究院

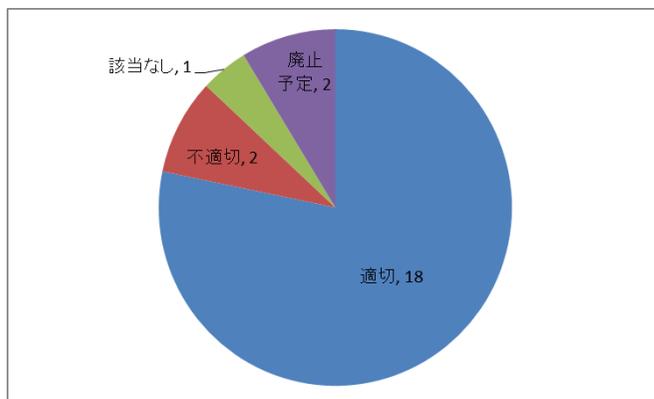
情報工学部・情報工学府・情報工学研究院

生命体工学研究科

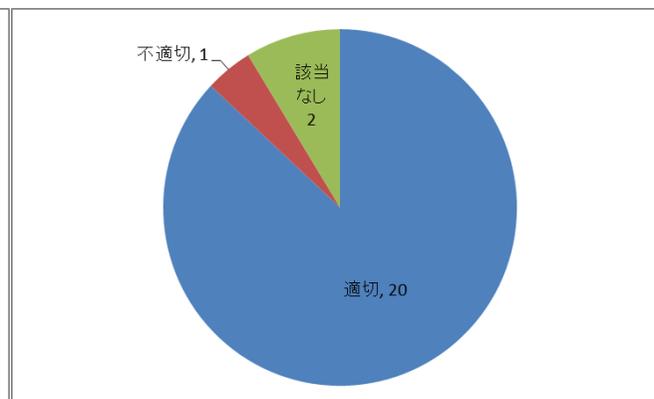
【3-11】引き継ぎの実行



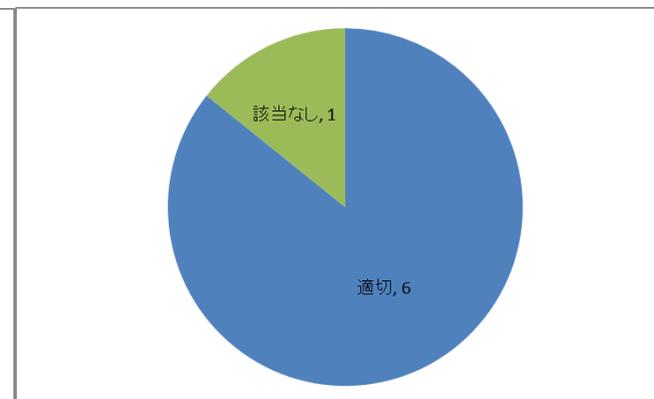
全学委員会



工学部・工学府・工学研究院

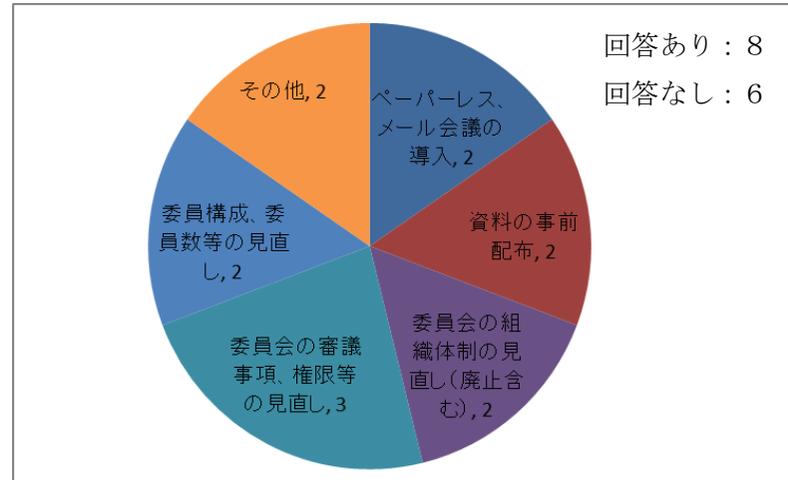


情報工学部・情報工学府・情報工学研究院



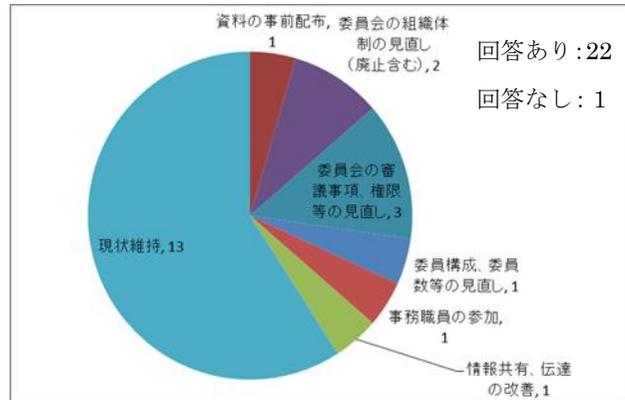
生命体工学研究科

【4】簡素化・効率化<sup>1</sup>

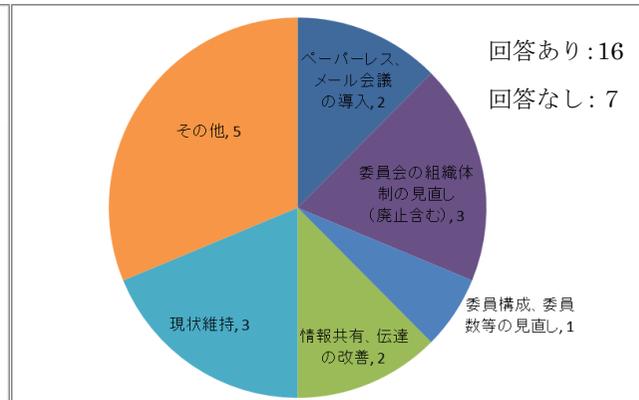


全学委員会

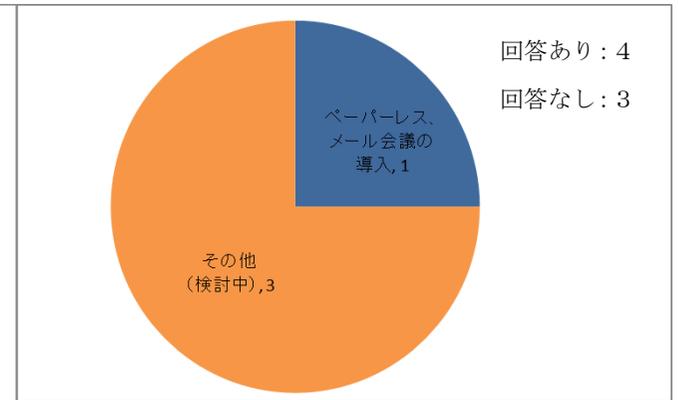
- ・ペーパーレス、メール会議の導入
- ・資料の事前配布
- ・委員会の組織体制の見直し（廃止含む）
- ・委員会の審議事項、権限等の見直し
- ・委員構成、委員数等の見直し
- ・事務職員の参加
- ・情報共有、伝達の改善
- ・現状維持
- ・その他



工学部・工学府・工学研究院



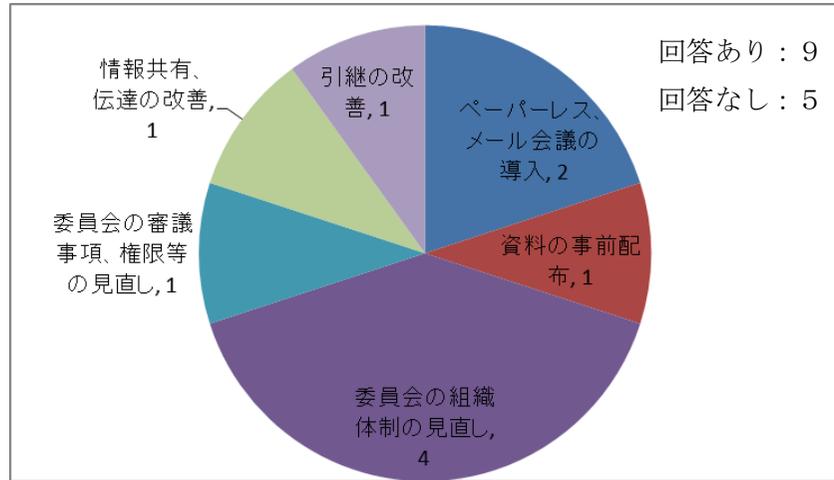
情報工学部・情報工学府・情報工学研究院



生命体工学研究科

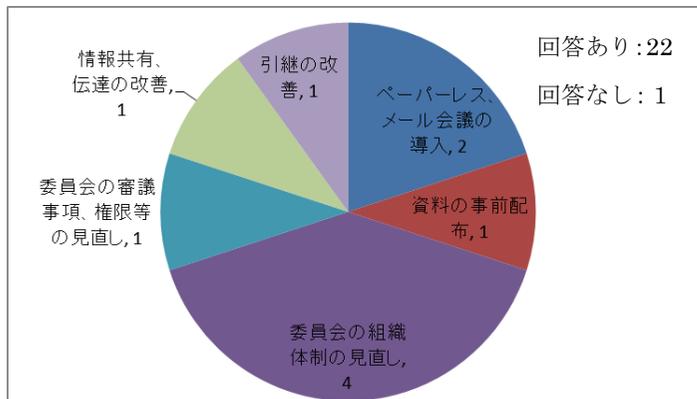
<sup>1</sup> 一つの委員会から複数の提案がなされた場合には別々に集計したため、各グラフの合計は委員会数と一致しない。(【5】も同様。)

【5】見直し時の簡素化・効率化

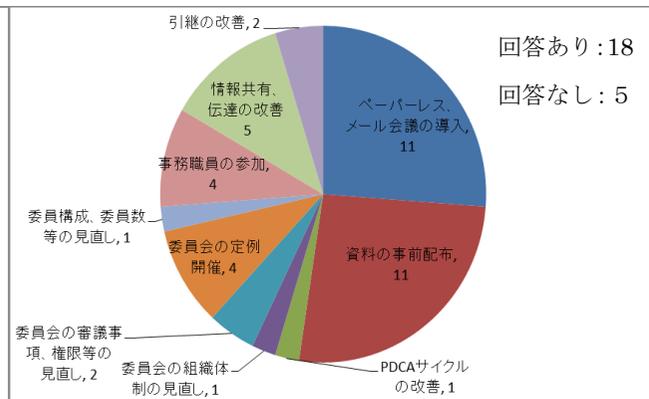


全学委員会

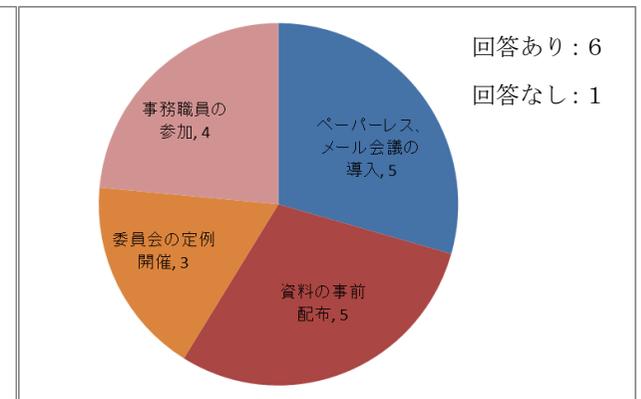
- ・ペーパーレス、メール会議の導入
- ・資料の事前配布
- ・PDCAサイクルの改善
- ・委員会の組織体制の見直し
- ・委員会の審議事項、権限等の見直し
- ・委員会の定例開催
- ・委員構成、委員数等の見直し
- ・事務職員の参加
- ・情報共有、伝達の改善
- ・引継の改善



工学部・工学府・工学研究院



情報工学部・情報工学府・情報工学研究院



生命体工学研究科

## 11. 2. 委員会別の自己点検・評価結果

委員会別の自己点検・評価の実施に際し、以下の考え方をを用いるものとする。

### 1) 尺度の構成

委員会組織の簡素化・効率化を評価するため、回答項目を集約して得られる以下の6個の尺度を作成する。それぞれの尺度は3段階の順序尺度を想定する。平均を上回っている尺度値は3、平均的な尺度値は2、平均を下回っている尺度値は1とする。

- ① 人的コスト（人数×平均開催回数）  
1-3, 1-4
- ② PDCA サイクルが回っているか？  
2-1～2-8, 3-9
- ③ 情報伝達が適切か？  
2-9～2-10, 3-2
- ④ 簡素化の試みが進んでいるか？  
3-3, 3-4, 3-5
- ⑤ 効率化の試みが進んでいるか？  
3-6, 3-7, 3-10, 3-11
- ⑥ 今後の改革意欲は？  
4, 5

2) 尺度①以外は定性的データなので、当該の回答に基づいて適切な尺度値を定めることとする。

3) 全学、部局別、委員会別にスターグラフを作成し、相互に比較し易くする。

4) スターグラフの他、個別回答の中に提言と考えられるものもあるので、これらも自己点検・評価に基づく提言に含める。

上記のように6個の尺度値を評価項目とするが、以下の点に留意する必要がある。

- 1) 人的コストが大きくてもこれが必要で不可欠な委員会も存在する。ただし、必要性の有無とは無関係に評点を付してある。
- 2) PDCA サイクルに関しては、適切に回っているとの回答があっても、その他の欄でこれと矛盾する記載がある場合は、総合的に判断して評点を付してある。
- 3) 情報伝達に関しては、適切に実施しているとの回答があっても、その他の欄でこれと矛盾する記載がある場合は、総合的に判断して評点を付してある。
- 4) 簡素化が進んでいないように見える委員会にも、それが必要な場合もある。ただし、必要性の有無とは無関係に評点を付してある。
- 5) 効率化に関しては、たとえばペーパーレスが難しい委員会も確かに存在する。ただし、困難性の有無とは無関係に評点を付してある。
- 6) 今後の改革意欲に関しては、実現可能性は度外視して、評点を付してある。

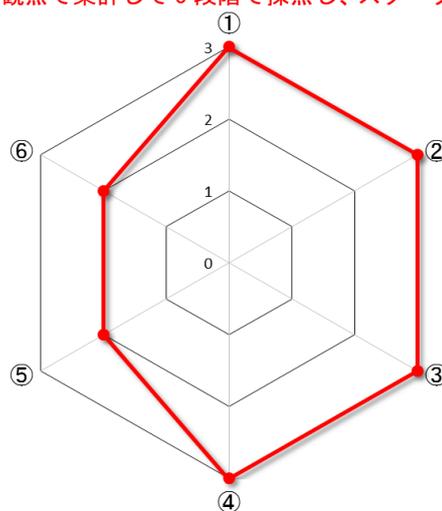
回答が実態を適切に反映したものである保証は必ずしもなく、深く理解した上での回答がそうでない回答よりも評価が悪いということも起こり得る。従って、スターグラフに絶対的意味を持たせるのではなく、一つの目安として理解するのが適当であり、また、委員会の評点が悪いからと言って、当該委員会の努力が足りないという場合もあるが、そうでない場合もあることに留意することが必要と考えられる。

## I. 自己点検項目及び回答・・・項目毎の自己点検結果を表示

【1-3】	委員会構成人数	8	【3-1】	トップダウンアプローチの有無	有り
【1-4】	委員会平均開催回数	1.3	【3-2】	情報伝達は適切?	適切
【1-5】	公開の有無	議：公開	【3-3】	委員数、開催回数、時間の削減	現状維持
【1-6】	WGの有無	なし	【3-4】	会議体以外の審議の活用	TV 会議活用
【2-1】	主たる計画作成者	委員長	【3-5】	日程調整の労力	大
【2-2】	主たる計画審議組織	当該委 上位委	【3-6】	ペーパーレス化の実現?	未達
【2-3】	主たる計画決議組織	当該委	【3-7】	会議前の資料配布	未達
【2-4】	主たる計画実行指示組織	当該委	【3-8】	全学・部局委員会の連携	適切
【2-5】	主たる計画実行組織	その他	【3-9】	PDCAサイクルの実現	適切
【2-6】	計画実行の主たる点検・評価組織	当該委 上位委	【3-10】	事務職員の参加	参加
【2-7】	計画と実行の主たる比較組織	その他	【3-11】	引き継ぎの実行	適切
【2-8】	計画と実行の主たる乖離改善組織	安衛室	【 4 】	簡素化・効率化	
【2-9】	当該委員会への主たる情報伝達は?	任命者	【 5 】	見直し時の簡素化・効率化	ペーパーレス、資料の事前配布
【2-10】	当該委員会からの主たる情報伝達は?	その他			

## II. 自己評価結果・・・I. の自己点検結果を以下の6つの該当する観点で集計して3段階で採点し、スターグラフ化。

尺度	尺度値
①人的コスト（人数×平均開催回数） ▶ 1-3, 1-4	3
②PDCAサイクルが回っているか? ▶ 2-1,2-2,2-3,2-4,2-5,2-6,2-7,2-8,3-9	3
③情報伝達が適切か? ▶ 2-9, 2-10, 3-2	3
④簡素化の試みが進んでいるか? ▶ 3-3, 3-4, 3-5	3
⑤効率化の試みが進んでいるか? ▶ 3-6, 3-7, 3-10, 3-11	2
⑥今後の改革意欲は? ▶ 4, 5	2



## III. コメント・・・評価結果に対する大学評価室からのコメント

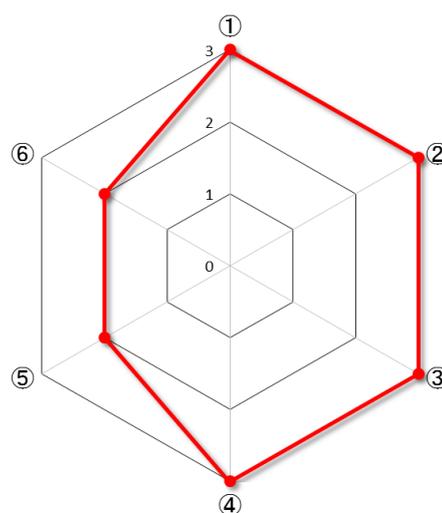
- ④会議回数が少ない
- ⑤ペーパーレスまだ

### I. 自己点検項目及び回答

【1-3】	委員会構成人数	8	【3-1】	トップダウンアプローチの有無	有り
【1-4】	委員会平均開催回数	1.3	【3-2】	情報伝達は適切?	適切
【1-5】	公開の有無	議：公開	【3-3】	委員数、開催回数、時間の削減	現状維持
【1-6】	WGの有無	なし	【3-4】	会議体以外の審議の活用	TV 会議活用
【2-1】	主たる計画作成者	委員長	【3-5】	日程調整の労力	大
【2-2】	主たる計画審議組織	当該委上位委	【3-6】	ペーパーレス化の実現?	未達
【2-3】	主たる計画決議組織	当該委	【3-7】	会議前の資料配布	未達
【2-4】	主たる計画実行指示組織	当該委	【3-8】	全学・部局委員会の連携	適切
【2-5】	主たる計画実行組織	その他	【3-9】	PDCAサイクルの実現	適切
【2-6】	計画実行の主たる点検・評価組織	当該委上位委	【3-10】	事務職員の参加	参加
【2-7】	計画と実行の主たる比較組織	その他	【3-11】	引き継ぎの実行	適切
【2-8】	計画と実行の主たる乖離改善組織	安衛室	【 4 】	簡素化・効率化	
【2-9】	当該委員会への主たる情報伝達は?	任命者	【 5 】	見直し時の簡素化・効率化	ペーパーレス、資料の事前配布
【2-10】	当該委員会からの主たる情報伝達は?	その他			

### II. 自己評価結果

尺度	尺度値
①人的コスト（人数×平均開催回数） ▶ 1-3, 1-4	3
②PDCA サイクルが回っているか？ ▶ 2-1,2-2,2-3,2-4,2-5,2-6,2-7,2-8,3-9	3
③情報伝達が適切か？ ▶ 2-9, 2-10, 3-2	3
④簡素化の試みが進んでいるか？ ▶ 3-3, 3-4, 3-5	3
⑤効率化の試みが進んでいるか？ ▶ 3-6, 3-7, 3-10, 3-11	2
⑥今後の改革意欲は？ ▶ 4, 5	2



### III. コメント

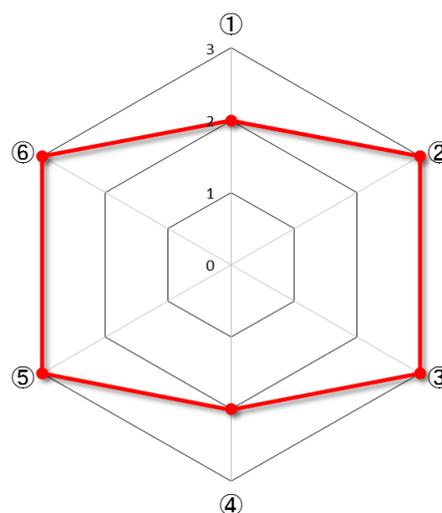
- ④会議回数が少ない
- ⑤ペーパーレスまだ

## I. 自己点検項目及び回答

【1-3】	委員会構成人数	9	【3-1】	トップダウンアプローチの有無	有り
【1-4】	委員会平均開催回数	5.7	【3-2】	情報伝達は適切?	適切
【1-5】	公開の有無	議：公開	【3-3】	委員数、開催回数、時間の削減	現状維持
【1-6】	WGの有無	なし	【3-4】	会議体以外の審議の活用	メール報告検討
【2-1】	主たる計画作成者	委員長	【3-5】	日程調整の労力	大
【2-2】	主たる計画審議組織	当該委上位委	【3-6】	ペーパーレス化の実現?	実現
【2-3】	主たる計画決議組織	当該委上位委	【3-7】	会議前の資料配布	実現
【2-4】	主たる計画実行指示組織	当該委	【3-8】	全学・部局委員会の連携	適切
【2-5】	主たる計画実行組織	当該委 事務 その他	【3-9】	PDCAサイクルの実現	適切
【2-6】	計画実行の主たる点検・評価組織	当該委上位委	【3-10】	事務職員の参加	参加
【2-7】	計画と実行の主たる比較組織	当該委	【3-11】	引き継ぎの実行	不適切
【2-8】	計画と実行の乖離改善組織	当該委	【 4 】	簡素化・効率化	経験の積み重ね
【2-9】	当該委員会への主たる情報伝達は?	上位委 学科等 その他	【 5 】	見直し時の簡素化・効率化	
【2-10】	当該委員会からの主たる情報伝達は?	上位委 学科等			

## II. 自己評価結果

尺度	尺度値
①人的コスト（人数×平均開催回数） ▶ 1-3, 1-4	2
②PDCAサイクルが回っているか？ ▶ 2-1,2-2,2-3,2-4,2-5,2-6,2-7,2-8,3-9	3
③情報伝達が適切か？ ▶ 2-9, 2-10, 3-2	3
④簡素化の試みが進んでいるか？ ▶ 3-3, 3-4, 3-5	2
⑤効率化の試みが進んでいるか？ ▶ 3-6, 3-7, 3-10, 3-11	3
⑥今後の改革意欲は？ ▶ 4, 5	3



## III. コメント

④年中行事でないものもあり、これ以上の簡素化が難しい

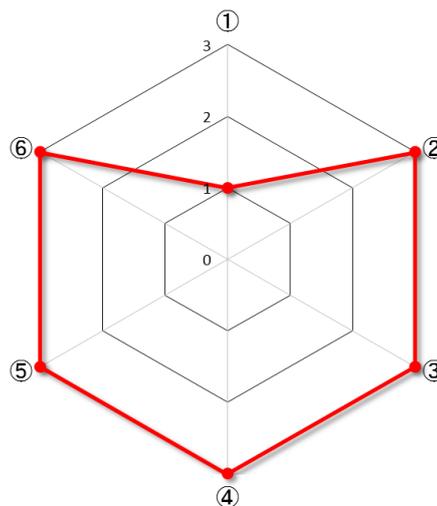
委員会名称：[全] 教育委員会

## I. 自己点検項目及び回答

【1-3】	委員会構成人数	11	【3-1】	トップダウンアプローチの有無	有り
【1-4】	委員会平均開催回数	11.0	【3-2】	情報伝達は適切?	不適切
【1-5】	公開の有無	資：公開 議：公開	【3-3】	委員数、開催回数、時間の削減	検討中
【1-6】	WGの有無	有り	【3-4】	会議体以外の審議の活用	メール審議活用
【2-1】	主たる計画作成者	委員長、委員、事務、その他	【3-5】	日程調整の労力	大
【2-2】	主たる計画審議組織	当該委 その他	【3-6】	ペーパーレス化の実現?	実現
【2-3】	主たる計画決議組織	当該委	【3-7】	会議前の資料配布	実現
【2-4】	主たる計画実行指示組織	事務 その他	【3-8】	全学・部局委員会の連携	適切
【2-5】	主たる計画実行組織	事務 その他	【3-9】	PDCAサイクルの実現	適切
【2-6】	計画実行の主たる点検・評価組織	当該委 その他	【3-10】	事務職員の参加	参加
【2-7】	計画と実行の主たる比較組織	当該委 その他	【3-11】	引き継ぎの実行	適切
【2-8】	計画と実行の主たる乖離改善組織	当該委 その他	【 4 】	簡素化・効率化	組織見直し 委員任期見直し
【2-9】	当該委員会への主たる情報伝達は?	上位委 任命者 その他	【 5 】	見直し時の簡素化・効率化	組織見直し
【2-10】	当該委員会からの主たる情報伝達は?	上位委 学科等			

## II. 自己評価結果

尺度	尺度値
①人的コスト（人数×平均開催回数） ▶ 1-3, 1-4	1
②PDCAサイクルが回っているか？ ▶ 2-1,2-2,2-3,2-4,2-5,2-6,2-7,2-8,3-9	3
③情報伝達が適切か？ ▶ 2-9, 2-10, 3-2	3
④簡素化の試みが進んでいるか？ ▶ 3-3, 3-4, 3-5	3
⑤効率化の試みが進んでいるか？ ▶ 3-6, 3-7, 3-10, 3-11	3
⑥今後の改革意欲は？ ▶ 4, 5	3



## III. コメント

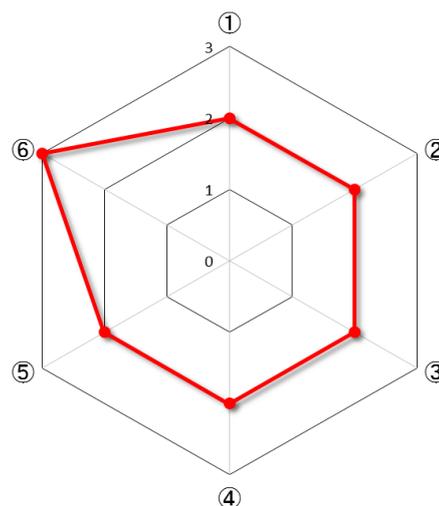
④改革の方向が示されている

## I. 自己点検項目及び回答

【1-3】	委員会構成人数	8	【3-1】	トップダウンアプローチの有無	有り
【1-4】	委員会平均開催回数	11.3	【3-2】	情報伝達は適切?	不適切
【1-5】	公開の有無	議：公開	【3-3】	委員数、開催回数、時間の削減	検討中
【1-6】	WGの有無	有り	【3-4】	会議体以外の審議の活用	現状維持
【2-1】	主たる計画作成者	委員長事務	【3-5】	日程調整の労力	大
【2-2】	主たる計画審議組織	当該委	【3-6】	ペーパーレス化の実現?	実現
【2-3】	主たる計画決議組織	当該委	【3-7】	会議前の資料配布	実現
【2-4】	主たる計画実行指示組織	当該委	【3-8】	全学・部局委員会の連携	ほぼ適切
【2-5】	主たる計画実行組織	当該委事務	【3-9】	PDCAサイクルの実現	適切
【2-6】	計画実行の主たる点検・評価組織	当該委その他	【3-10】	事務職員の参加	参加
【2-7】	計画と実行の主たる比較組織	当該委その他	【3-11】	引き継ぎの実行	不適切
【2-8】	計画と実行の乖離改善組織	当該委	【 4 】	簡素化・効率化	構成員検討
【2-9】	当該委員会への主たる情報伝達は?	任命者	【 5 】	見直し時の簡素化・効率化	部局長への伝達
【2-10】	当該委員会からの主たる情報伝達は?	その他			

## II. 自己評価結果

尺度	尺度値
①人的コスト（人数×平均開催回数） ▶ 1-3, 1-4	2
②PDCAサイクルが回っているか？ ▶ 2-1,2-2,2-3,2-4,2-5,2-6,2-7,2-8,3-9	2
③情報伝達が適切か？ ▶ 2-9, 2-10, 3-2	2
④簡素化の試みが進んでいるか？ ▶ 3-3, 3-4, 3-5	2
⑤効率化の試みが進んでいるか？ ▶ 3-6, 3-7, 3-10, 3-11	2
⑥今後の改革意欲は？ ▶ 4, 5	3



## III. コメント

- ②「4. 工学部」によるとPDCAサイクルが回っていないように見える
- ③4. によると情報伝達が不十分に見える。
- ④委員増が示唆されているが情報伝達の改善で済むのでは
- ⑤引き継ぎ不十分

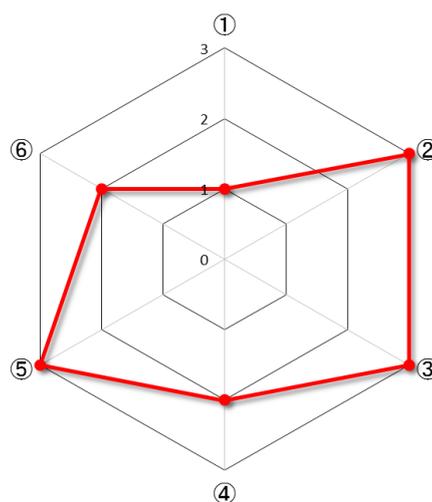
委員会名称：[全] 学生委員会

## I. 自己点検項目及び回答

【1-3】	委員会構成人数	9	【3-1】	トップダウンアプローチの有無	有り
【1-4】	委員会平均開催回数	13.0	【3-2】	情報伝達は適切?	適切
【1-5】	公開の有無	資：公開 議：公開	【3-3】	委員数、開催回数、時間の削減	現状維持
【1-6】	WGの有無	なし	【3-4】	会議体以外の審議の活用	メール審議活用
【2-1】	主たる計画作成者	委員長	【3-5】	日程調整の労力	小
【2-2】	主たる計画審議組織	当該委	【3-6】	ペーパーレス化の実現?	実現
【2-3】	主たる計画決議組織	当該委	【3-7】	会議前の資料配布	実現
【2-4】	主たる計画実行指示組織	当該委	【3-8】	全学・部局委員会の連携	適切
【2-5】	主たる計画実行組織	当該委	【3-9】	PDCAサイクルの実現	適切
【2-6】	計画実行の主たる点検・評価組織	当該委	【3-10】	事務職員の参加	参加
【2-7】	計画と実行の主たる比較組織	当該委	【3-11】	引き継ぎの実行	適切
【2-8】	計画と実行の乖離改善組織	当該委	【 4 】	簡素化・効率化	
【2-9】	当該委員会への主たる情報伝達は?	任命者	【 5 】	見直し時の簡素化・効率化	
【2-10】	当該委員会からの主たる情報伝達は?	上位委 任命者 学科等			

## II. 自己評価結果

尺度	尺度値
①人的コスト（人数×平均開催回数） ▶ 1-3, 1-4	1
②PDCAサイクルが回っているか? ▶ 2-1,2-2,2-3,2-4,2-5,2-6,2-7,2-8,3-9	3
③情報伝達が適切か? ▶ 2-9, 2-10, 3-2	3
④簡素化の試みが進んでいるか? ▶ 3-3, 3-4, 3-5	2
⑤効率化の試みが進んでいるか? ▶ 3-6, 3-7, 3-10, 3-11	3
⑥今後の改革意欲は? ▶ 4, 5	2



## III. コメント

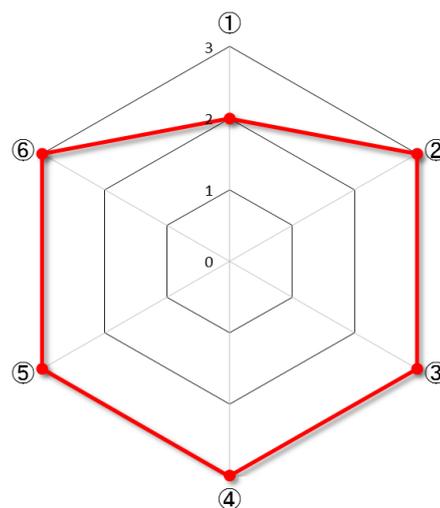
④現状維持

## I. 自己点検項目及び回答

【1-3】	委員会構成人数	8	【3-1】	トップダウンアプローチの有無	有り
【1-4】	委員会平均開催回数	11.3	【3-2】	情報伝達は適切?	適切
【1-5】	公開の有無	資：公開 議：公開	【3-3】	委員数、開催回数、時間の削減	開催回数削減
【1-6】	WGの有無	有り	【3-4】	会議体以外の審議の活用	メール審議活用
【2-1】	主たる計画作成者	委員長 事務 その他	【3-5】	日程調整の労力	小
【2-2】	主たる計画審議組織	当該委 上位委	【3-6】	ペーパーレス化の実現?	実現
【2-3】	主たる計画決議組織	当該委 上位委	【3-7】	会議前の資料配布	実現
【2-4】	主たる計画実行指示組織	当該委 その他	【3-8】	全学・部局委員会の連携	適切
【2-5】	主たる計画実行組織	事務 その他	【3-9】	P D C A サイクルの実現	適切
【2-6】	計画実行の主たる点検・評価組織	当該委 上位委	【3-10】	事務職員の参加	参加
【2-7】	計画と実行の主たる比較組織	当該委 上位委	【3-11】	引き継ぎの実行	適切
【2-8】	計画と実行の主たる乖離改善組織	当該委 その他	【 4 】	簡素化・効率化	分担の明確化
【2-9】	当該委員会への主たる情報伝達は?	その他	【 5 】	見直し時の簡素化・効率化	分担の明確化
【2-10】	当該委員会からの主たる情報伝達は?	学科等 その他			

## II. 自己評価結果

尺度	尺度値
①人的コスト（人数×平均開催回数） ▶ 1-3, 1-4	2
②PDCAサイクルが回っているか？ ▶ 2-1,2-2,2-3,2-4,2-5,2-6,2-7,2-8,3-9	3
③情報伝達が適切か？ ▶ 2-9, 2-10, 3-2	3
④簡素化の試みが進んでいるか？ ▶ 3-3, 3-4, 3-5	3
⑤効率化の試みが進んでいるか？ ▶ 3-6, 3-7, 3-10, 3-11	3
⑥今後の改革意欲は？ ▶ 4, 5	3



## III. コメント

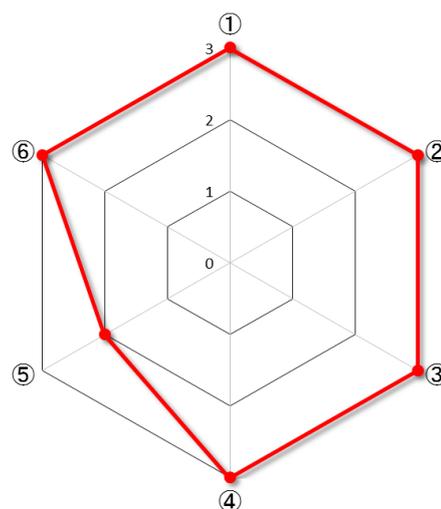
④簡素化の試みがなされている

## I. 自己点検項目及び回答

【1-3】	委員会構成人数	11	【3-1】	トップダウンアプローチの有無	なし
【1-4】	委員会平均開催回数	1.0	【3-2】	情報伝達は適切?	適切
【1-5】	公開の有無	資：公開 議：公開	【3-3】	委員数、開催回数、時間の削減	現状維持
【1-6】	WGの有無	なし	【3-4】	会議体以外の審議の活用	メール報告検討
【2-1】	主たる計画作成者	委員長	【3-5】	日程調整の労力	小
【2-2】	主たる計画審議組織	当該委	【3-6】	ペーパーレス化の実現?	実現
【2-3】	主たる計画決議組織	当該委	【3-7】	会議前の資料配布	実現
【2-4】	主たる計画実行指示組織	当該委	【3-8】	全学・部局委員会の連携	該当なし
【2-5】	主たる計画実行組織	事務	【3-9】	PDCAサイクルの実現	適切
【2-6】	計画実行の主たる点検・評価組織	当該委	【3-10】	事務職員の参加	参加
【2-7】	計画と実行の主たる比較組織	当該委	【3-11】	引き継ぎの実行	不適切
【2-8】	計画と実行の主たる乖離改善組織	当該委	【 4 】	簡素化・効率化	経験の積み重ね
【2-9】	当該委員会への主たる情報伝達は?	任命者 学科等	【 5 】	見直し時の簡素化・効率化	引き継ぎ改善
【2-10】	当該委員会からの主たる情報伝達は?	学科等			

## II. 自己評価結果

尺度	尺度値
①人的コスト（人数×平均開催回数） ▶ 1-3, 1-4	3
②PDCAサイクルが回っているか？ ▶ 2-1,2-2,2-3,2-4,2-5,2-6,2-7,2-8,3-9	3
③情報伝達が適切か？ ▶ 2-9, 2-10, 3-2	3
④簡素化の試みが進んでいるか？ ▶ 3-3, 3-4, 3-5	3
⑤効率化の試みが進んでいるか？ ▶ 3-6, 3-7, 3-10, 3-11	2
⑥今後の改革意欲は？ ▶ 4, 5	3



## III. コメント

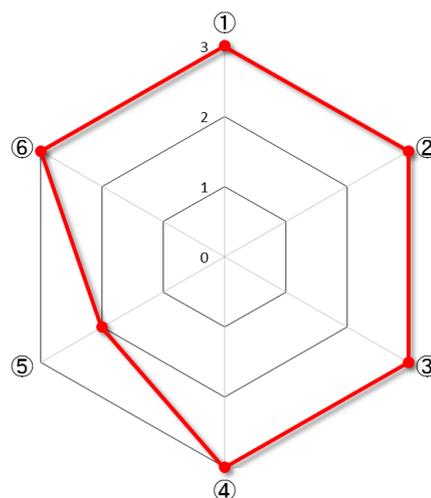
- ④委員数が少ないわけではないが、会議回数は少ない。  
⑤引き継ぎ不十分

## I. 自己点検項目及び回答

【1-3】	委員会構成人数	8	【3-1】	トップダウンアプローチの有無	該当なし
【1-4】	委員会平均開催回数	1.0	【3-2】	情報伝達は適切?	適切
【1-5】	公開の有無	非公開	【3-3】	委員数、開催回数、時間の削減	委員減検討
【1-6】	WGの有無	なし	【3-4】	会議体以外の審議の活用	メール審議検討
【2-1】	主たる計画作成者	事務	【3-5】	日程調整の労力	大
【2-2】	主たる計画審議組織	当該委	【3-6】	ペーパーレス化の実現?	未達
【2-3】	主たる計画決議組織	当該委	【3-7】	会議前の資料配布	実現
【2-4】	主たる計画実行指示組織	その他	【3-8】	全学・部局委員会の連携	該当なし
【2-5】	主たる計画実行組織	事務	【3-9】	PDCAサイクルの実現	適切
【2-6】	計画実行の主たる点検・評価組織	該当なし	【3-10】	事務職員の参加	参加
【2-7】	計画と実行の主たる比較組織	該当なし	【3-11】	引き継ぎの実行	不適切
【2-8】	計画と実行の乖離改善組織	該当なし	【 4 】	簡素化・効率化	組織見直し
【2-9】	当該委員会への主たる情報伝達は?	その他	【 5 】	見直し時の簡素化・効率化	組織廃止
【2-10】	当該委員会からの主たる情報伝達は?	任命者			

## II. 自己評価結果

尺度	尺度値
①人的コスト（人数×平均開催回数） ▶ 1-3, 1-4	3
②PDCAサイクルが回っているか？ ▶ 2-1,2-2,2-3,2-4,2-5,2-6,2-7,2-8,3-9	3
③情報伝達が適切か？ ▶ 2-9, 2-10, 3-2	3
④簡素化の試みが進んでいるか？ ▶ 3-3, 3-4, 3-5	3
⑤効率化の試みが進んでいるか？ ▶ 3-6, 3-7, 3-10, 3-11	2
⑥今後の改革意欲は？ ▶ 4, 5	3



## III. コメント

- ④会議回数が少ない。
- ⑤引き継ぎ不十分

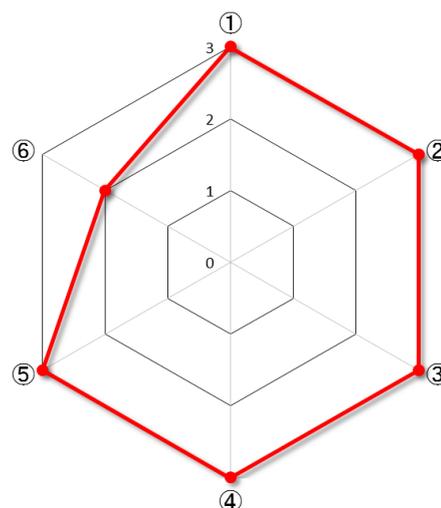
委員会名称：[全] 施設委員会

## I. 自己点検項目及び回答

【1-3】	委員会構成人数	8	【3-1】	トップダウンアプローチの有無	有り
【1-4】	委員会平均開催回数	3.7	【3-2】	情報伝達は適切?	適切
【1-5】	公開の有無	資：公開 議：公開	【3-3】	委員数、開催回数、時間の削減	現状維持
【1-6】	WGの有無	なし	【3-4】	会議体以外の審議の活用	メール審議活用
【2-1】	主たる計画作成者	委員長 事務	【3-5】	日程調整の労力	大
【2-2】	主たる計画審議組織	当該委 上位委	【3-6】	ペーパーレス化の実現?	未達
【2-3】	主たる計画決議組織	当該委 上位委	【3-7】	会議前の資料配布	未達
【2-4】	主たる計画実行指示組織	当該委	【3-8】	全学・部局委員会の連携	不適切
【2-5】	主たる計画実行組織	事務	【3-9】	PDCAサイクルの実現	適切
【2-6】	計画実行の主たる点検・評価組織	当該委	【3-10】	事務職員の参加	参加
【2-7】	計画と実行の主たる比較組織	当該委	【3-11】	引き継ぎの実行	適切
【2-8】	計画と実行の乖離改善組織	当該委	【 4 】	簡素化・効率化	
【2-9】	当該委員会への主たる情報伝達は?	任命者 学科等 その他	【 5 】	見直し時の簡素化・効率化	施設評価委との統合
【2-10】	当該委員会からの主たる情報伝達は?	上位委 任命者 学科等			

## II. 自己評価結果

尺度	尺度値
①人的コスト（人数×平均開催回数） ▶ 1-3, 1-4	3
②PDCAサイクルが回っているか？ ▶ 2-1,2-2,2-3,2-4,2-5,2-6,2-7,2-8,3-9	3
③情報伝達が適切か？ ▶ 2-9, 2-10, 3-2	3
④簡素化の試みが進んでいるか？ ▶ 3-3, 3-4, 3-5	3
⑤効率化の試みが進んでいるか？ ▶ 3-6, 3-7, 3-10, 3-11	3
⑥今後の改革意欲は？ ▶ 4, 5	2



## III. コメント

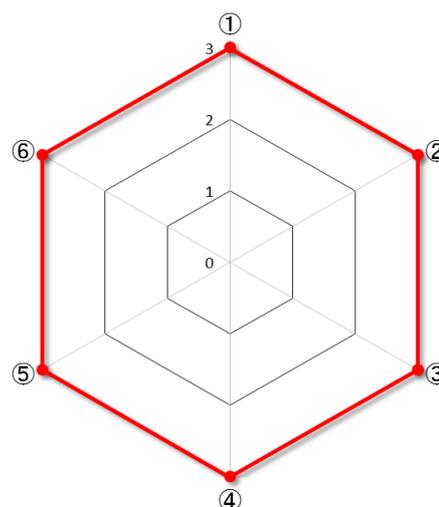
④会議回数が比較的少ない。

## I. 自己点検項目及び回答

【1-3】	委員会構成人数	7	【3-1】	トップダウンアプローチの有無	有り
【1-4】	委員会平均開催回数	0.7	【3-2】	情報伝達は適切?	適切
【1-5】	公開の有無	非公開	【3-3】	委員数、開催回数、時間の削減	現状維持
【1-6】	WGの有無	なし	【3-4】	会議体以外の審議の活用	現状維持
【2-1】	主たる計画作成者	事務	【3-5】	日程調整の労力	小
【2-2】	主たる計画審議組織	当該委	【3-6】	ペーパーレス化の実現?	未達
【2-3】	主たる計画決議組織	当該委	【3-7】	会議前の資料配布	未達
【2-4】	主たる計画実行指示組織	当該委	【3-8】	全学・部局委員会の連携	該当なし
【2-5】	主たる計画実行組織	当該委	【3-9】	PDCAサイクルの実現	適切
【2-6】	計画実行の主たる点検・評価組織	当該委	【3-10】	事務職員の参加	不参加
【2-7】	計画と実行の主たる比較組織	当該委	【3-11】	引き継ぎの実行	適切
【2-8】	計画と実行の乖離改善組織	当該委	【 4 】	簡素化・効率化	審議事項見直し
【2-9】	当該委員会への主たる情報伝達は?	上位委	【 5 】	見直し時の簡素化・効率化	施設委との統合
【2-10】	当該委員会からの主たる情報伝達は?	上位委			

## II. 自己評価結果

尺度	尺度値
①人的コスト（人数×平均開催回数） ▶ 1-3, 1-4	3
②PDCAサイクルが回っているか？ ▶ 2-1,2-2,2-3,2-4,2-5,2-6,2-7,2-8,3-9	3
③情報伝達が適切か？ ▶ 2-9, 2-10, 3-2	3
④簡素化の試みが進んでいるか？ ▶ 3-3, 3-4, 3-5	3
⑤効率化の試みが進んでいるか？ ▶ 3-6, 3-7, 3-10, 3-11	3
⑥今後の改革意欲は？ ▶ 4, 5	3



## III. コメント

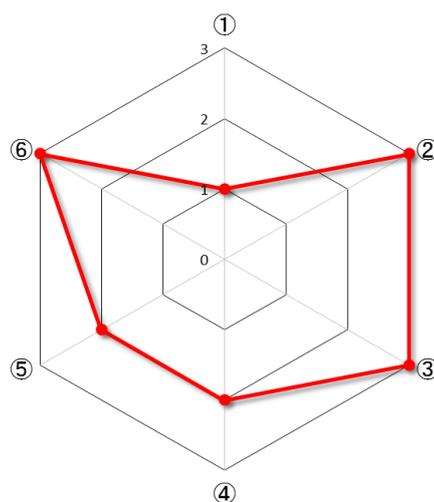
④会議回数が少ない。

## I. 自己点検項目及び回答

【1-3】	委員会構成人数	11	【3-1】	トップダウンアプローチの有無	有り
【1-4】	委員会平均開催回数	12.7	【3-2】	情報伝達は適切?	適切
【1-5】	公開の有無	資：公開 議：公開	【3-3】	委員数、開催回数、時間の削減	委員減検討
【1-6】	WGの有無	有り	【3-4】	会議体以外の審議の活用	メール審議活用
【2-1】	主たる計画作成者	委員長 事務	【3-5】	日程調整の労力	大
【2-2】	主たる計画審議組織	当該委 上位委	【3-6】	ペーパーレス化の実現?	実現
【2-3】	主たる計画決議組織	当該委 上位委	【3-7】	会議前の資料配布	実現
【2-4】	主たる計画実行指示組織	当該委 事務	【3-8】	全学・部局委員会の連携	該当なし
【2-5】	主たる計画実行組織	当該委 事務 その他	【3-9】	PDCAサイクルの実現	適切
【2-6】	計画実行の主たる点検・評価組織	当該委 上位委	【3-10】	事務職員の参加	参加
【2-7】	計画と実行の主たる比較組織	当該委	【3-11】	引き継ぎの実行	不適切
【2-8】	計画と実行の乖離改善組織	当該委	【 4 】	簡素化・効率化	重要案件の選別
【2-9】	当該委員会への主たる情報伝達は?	学科等	【 5 】	見直し時の簡素化・効率化	
【2-10】	当該委員会からの主たる情報伝達は?	上位委 学科等			

## II. 自己評価結果

尺度	尺度値
①人的コスト（人数×平均開催回数） ▶ 1-3, 1-4	1
②PDCAサイクルが回っているか？ ▶ 2-1,2-2,2-3,2-4,2-5,2-6,2-7,2-8,3-9	3
③情報伝達が適切か？ ▶ 2-9, 2-10, 3-2	3
④簡素化の試みが進んでいるか？ ▶ 3-3, 3-4, 3-5	2
⑤効率化の試みが進んでいるか？ ▶ 3-6, 3-7, 3-10, 3-11	2
⑥今後の改革意欲は？ ▶ 4, 5	3



## III. コメント

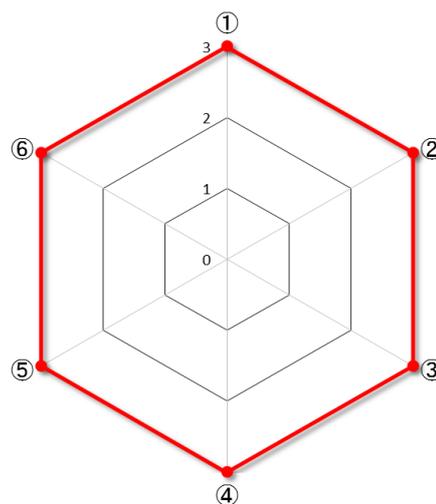
- ④現状維持
- ⑤引き継ぎ不十分

## I. 自己点検項目及び回答

【1-3】	委員会構成人数	8	【3-1】	トップダウンアプローチの有無	有り
【1-4】	委員会平均開催回数	24.3	【3-2】	情報伝達は適切?	適切
【1-5】	公開の有無	非公開	【3-3】	委員数、開催回数、時間の削減	現状維持
【1-6】	WGの有無	なし	【3-4】	会議体以外の審議の活用	メール会議のみ
【2-1】	主たる計画作成者	委員長 その他	【3-5】	日程調整の労力	小
【2-2】	主たる計画審議組織	当該委	【3-6】	ペーパーレス化の実現?	実現
【2-3】	主たる計画決議組織	当該委	【3-7】	会議前の資料配布	実現
【2-4】	主たる計画実行指示組織	当該委	【3-8】	全学・部局委員会の連携	該当なし
【2-5】	主たる計画実行組織	当該委 その他	【3-9】	PDCAサイクルの実現	適切
【2-6】	計画実行の主たる点検・評価組織	当該委	【3-10】	事務職員の参加	不参加
【2-7】	計画と実行の主たる比較組織	当該委	【3-11】	引き継ぎの実行	適切
【2-8】	計画と実行の乖離改善組織	当該委	【 4 】	簡素化・効率化	
【2-9】	当該委員会への主たる情報伝達は?	その他	【 5 】	見直し時の簡素化・効率化	
【2-10】	当該委員会からの主たる情報伝達は?	その他			

## II. 自己評価結果

尺度	尺度値
①人的コスト（人数×平均開催回数） ▶ 1-3, 1-4	3
②PDCAサイクルが回っているか? ▶ 2-1,2-2,2-3,2-4,2-5,2-6,2-7,2-8,3-9	3
③情報伝達が適切か? ▶ 2-9, 2-10, 3-2	3
④簡素化の試みが進んでいるか? ▶ 3-3, 3-4, 3-5	3
⑤効率化の試みが進んでいるか? ▶ 3-6, 3-7, 3-10, 3-11	3
⑥今後の改革意欲は? ▶ 4, 5	3



## III. コメント

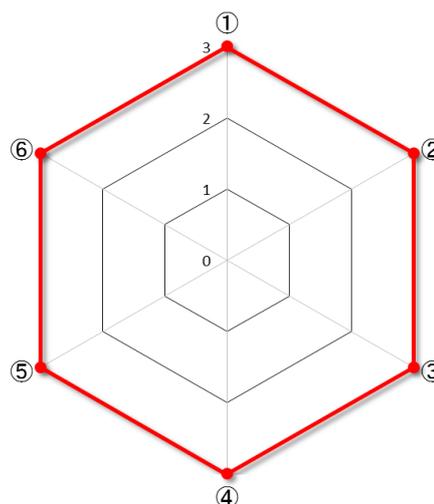
④メール会議

## I. 自己点検項目及び回答

【1-3】	委員会構成人数	9	【3-1】	トップダウンアプローチの有無	有り
【1-4】	委員会平均開催回数	115.3	【3-2】	情報伝達は適切?	適切
【1-5】	公開の有無	非公開	【3-3】	委員数、開催回数、時間の削減	現状維持
【1-6】	WGの有無	なし	【3-4】	会議体以外の審議の活用	メール審議活用
【2-1】	主たる計画作成者	委員長 その他	【3-5】	日程調整の労力	小
【2-2】	主たる計画審議組織	当該委	【3-6】	ペーパーレス化の実現?	実現
【2-3】	主たる計画決議組織	当該委	【3-7】	会議前の資料配布	実現
【2-4】	主たる計画実行指示組織	当該委	【3-8】	全学・部局委員会の連携	該当なし
【2-5】	主たる計画実行組織	当該委 その他	【3-9】	PDCAサイクルの実現	適切
【2-6】	計画実行の主たる点検・評価組織	当該委	【3-10】	事務職員の参加	不参加
【2-7】	計画と実行の主たる比較組織	当該委	【3-11】	引き継ぎの実行	適切
【2-8】	計画と実行の乖離改善組織	当該委	【 4 】	簡素化・効率化	
【2-9】	当該委員会への主たる情報伝達は?	その他	【 5 】	見直し時の簡素化・効率化	
【2-10】	当該委員会からの主たる情報伝達は?	その他			

## II. 自己評価結果

尺度	尺度値
①人的コスト（人数×平均開催回数） ▶ 1-3, 1-4	3
②PDCAサイクルが回っているか？ ▶ 2-1,2-2,2-3,2-4,2-5,2-6,2-7,2-8,3-9	3
③情報伝達が適切か？ ▶ 2-9, 2-10, 3-2	3
④簡素化の試みが進んでいるか？ ▶ 3-3, 3-4, 3-5	3
⑤効率化の試みが進んでいるか？ ▶ 3-6, 3-7, 3-10, 3-11	3
⑥今後の改革意欲は？ ▶ 4, 5	3



## III. コメント

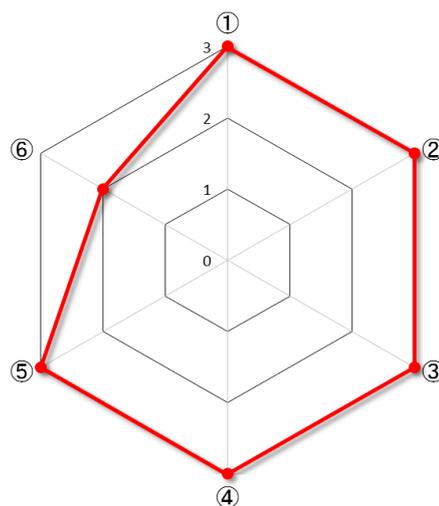
④殆どメール会議

## I. 自己点検項目及び回答

【1-3】	委員会構成人数	7	【3-1】	トップダウンアプローチの有無	有り
【1-4】	委員会平均開催回数	4.0	【3-2】	情報伝達は適切?	適切
【1-5】	公開の有無	非公開	【3-3】	委員数、開催回数、時間の削減	現状維持
【1-6】	WGの有無	有り	【3-4】	会議体以外の審議の活用	メール審議活用
【2-1】	主たる計画作成者	委員長 各委員 事務	【3-5】	日程調整の労力	大
【2-2】	主たる計画審議組織	当該委	【3-6】	ペーパーレス化の実現?	未達
【2-3】	主たる計画決議組織	当該委	【3-7】	会議前の資料配布	実現
【2-4】	主たる計画実行指示組織	当該委	【3-8】	全学・部局委員会の連携	該当なし
【2-5】	主たる計画実行組織	当該委 事務	【3-9】	PDCAサイクルの実現	適切
【2-6】	計画実行の主たる点検・評価組織	当該委	【3-10】	事務職員の参加	参加
【2-7】	計画と実行の主たる比較組織	当該委	【3-11】	引き継ぎの実行	適切
【2-8】	計画と実行の乖離改善組織	当該委	【 4 】	簡素化・効率化	
【2-9】	当該委員会への主たる情報伝達は?	任命者	【 5 】	見直し時の簡素化・効率化	ペーパーレス
【2-10】	当該委員会からの主たる情報伝達は?	任命者			

## II. 自己評価結果

尺度	尺度値
①人的コスト（人数×平均開催回数） ▶ 1-3, 1-4	3
②PDCAサイクルが回っているか？ ▶ 2-1,2-2,2-3,2-4,2-5,2-6,2-7,2-8,3-9	3
③情報伝達が適切か？ ▶ 2-9, 2-10, 3-2	3
④簡素化の試みが進んでいるか？ ▶ 3-3, 3-4, 3-5	3
⑤効率化の試みが進んでいるか？ ▶ 3-6, 3-7, 3-10, 3-11	3
⑥今後の改革意欲は？ ▶ 4, 5	2



## III. コメント

## 1. 2. 工学部・工学府・工学研究院委員会

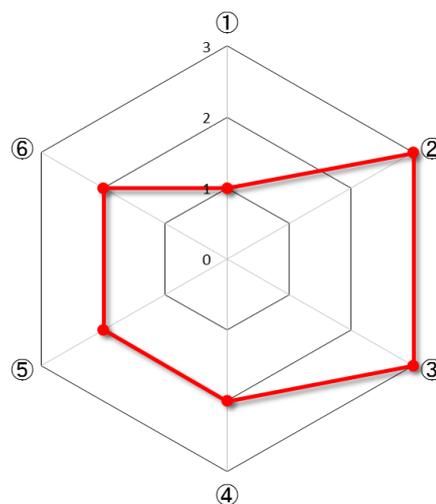
委員会名称：[工] 戸畑地区安全衛生委員会

### I. 自己点検項目及び回答

【1-3】	委員会構成人数	14	【3-1】	トップダウンアプローチの有無	有り
【1-4】	委員会平均開催回数	12.0	【3-2】	情報伝達は適切?	適切
【1-5】	公開の有無	議：公開	【3-3】	委員数、開催回数、時間の削減	現状維持
【1-6】	WGの有無	なし	【3-4】	会議体以外の審議の活用	現状維持
【2-1】	主たる計画作成者	その他	【3-5】	日程調整の労力	大
【2-2】	主たる計画審議組織	当該委	【3-6】	ペーパーレス化の実現?	未達
【2-3】	主たる計画決議組織	当該委	【3-7】	会議前の資料配布	未達
【2-4】	主たる計画実行指示組織	当該委	【3-8】	全学・部局委員会の連携	適切
【2-5】	主たる計画実行組織	その他	【3-9】	PDCAサイクルの実現	適切
【2-6】	計画実行の主たる点検・評価組織	当該委	【3-10】	事務職員の参加	不参加
【2-7】	計画と実行の主たる比較組織	当該委	【3-11】	引き継ぎの実行	適切
【2-8】	計画と実行の乖離改善組織	当該委	【 4 】	簡素化・効率化	
【2-9】	当該委員会への主たる情報伝達は?	学科等	【 5 】	見直し時の簡素化・効率化	
【2-10】	当該委員会からの主たる情報伝達は?	上位委 学科等			

### II. 自己評価結果

尺度	尺度値
①人的コスト（人数×平均開催回数） ▶ 1-3, 1-4	1
②PDCAサイクルが回っているか？ ▶ 2-1,2-2,2-3,2-4,2-5,2-6,2-7,2-8,3-9	3
③情報伝達が適切か？ ▶ 2-9, 2-10, 3-2	3
④簡素化の試みが進んでいるか？ ▶ 3-3, 3-4, 3-5	2
⑤効率化の試みが進んでいるか？ ▶ 3-6, 3-7, 3-10, 3-11	2
⑥今後の改革意欲は？ ▶ 4, 5	2



### III. コメント

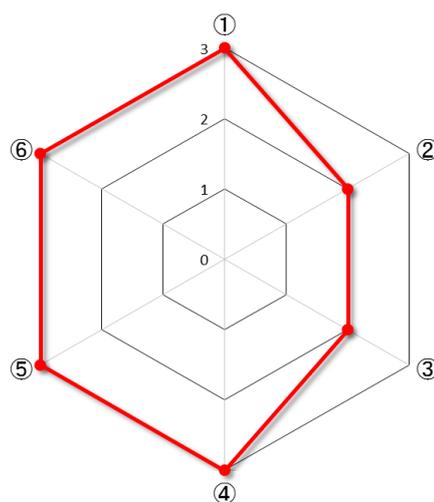
④やむを得ない点もある

## I. 自己点検項目及び回答

【1-3】	委員会構成人数	8	【3-1】	トップダウンアプローチの有無	有り
【1-4】	委員会平均開催回数	1.7	【3-2】	情報伝達は適切?	適切
【1-5】	公開の有無	資：公開 議：公開	【3-3】	委員数、開催回数、時間の削減	現状維持
【1-6】	WGの有無	なし	【3-4】	会議体以外の審議の活用	事務の活用
【2-1】	主たる計画作成者	委員長 各委員 事務	【3-5】	日程調整の労力	大
【2-2】	主たる計画審議組織	当該委 上位委	【3-6】	ペーパーレス化の実現?	実現
【2-3】	主たる計画決議組織	当該委 上位委	【3-7】	会議前の資料配布	一部実現
【2-4】	主たる計画実行指示組織	当該委 事務	【3-8】	全学・部局委員会の連携	適切
【2-5】	主たる計画実行組織	当該委 事務	【3-9】	PDCAサイクルの実現	適切
【2-6】	計画実行の主たる点検・評価組織	該当なし	【3-10】	事務職員の参加	参加
【2-7】	計画と実行の主たる比較組織	該当なし	【3-11】	引き継ぎの実行	適切
【2-8】	計画と実行の主たる乖離改善組織	該当なし	【 4 】	簡素化・効率化	事務の活用
【2-9】	当該委員会への主たる情報伝達は?	上位委 任命者	【 5 】	見直し時の簡素化・効率化	ペーパーレス メール会議
【2-10】	当該委員会からの主たる情報伝達は?	上位委 任命者			

## II. 自己評価結果

尺度	尺度値
①人的コスト（人数×平均開催回数） ▶ 1-3, 1-4	3
②PDCAサイクルが回っているか？ ▶ 2-1,2-2,2-3,2-4,2-5,2-6,2-7,2-8,3-9	2
③情報伝達が適切か？ ▶ 2-9, 2-10, 3-2	2
④簡素化の試みが進んでいるか？ ▶ 3-3, 3-4, 3-5	3
⑤効率化の試みが進んでいるか？ ▶ 3-6, 3-7, 3-10, 3-11	3
⑥今後の改革意欲は？ ▶ 4, 5	3



## III. コメント

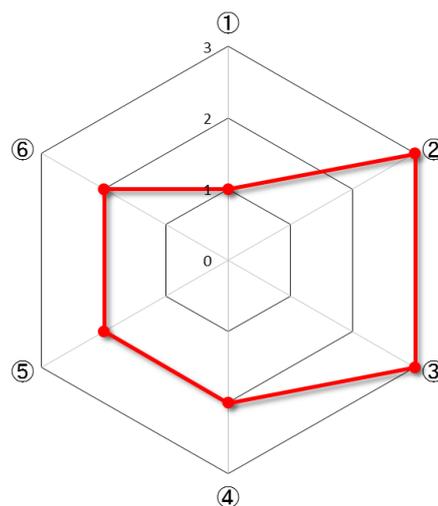
- ②C,A 欠落
- ③末端への情報伝達不十分

## I. 自己点検項目及び回答

【1-3】	委員会構成人数	10	【3-1】	トップダウンアプローチの有無	有り
【1-4】	委員会平均開催回数	17.0	【3-2】	情報伝達は適切?	適切
【1-5】	公開の有無	議：公開	【3-3】	委員数、開催回数、時間の削減	時間減
【1-6】	WGの有無	なし	【3-4】	会議体以外の審議の活用	メール報告検討
【2-1】	主たる計画作成者	委員長	【3-5】	日程調整の労力	大
【2-2】	主たる計画審議組織	当該委	【3-6】	ペーパーレス化の実現?	未達
【2-3】	主たる計画決議組織	当該委	【3-7】	会議前の資料配布	未達
【2-4】	主たる計画実行指示組織	当該委	【3-8】	全学・部局委員会の連携	適切
【2-5】	主たる計画実行組織	当該委 事務 その他	【3-9】	PDCAサイクルの実現	適切
【2-6】	計画実行の主たる点検・評価組織	当該委	【3-10】	事務職員の参加	不参加
【2-7】	計画と実行の主たる比較組織	当該委	【3-11】	引き継ぎの実行	適切
【2-8】	計画と実行の主たる乖離改善組織	当該委	【 4 】	簡素化・効率化	審議事項精査
【2-9】	当該委員会への主たる情報伝達は?	その他	【 5 】	見直し時の簡素化・効率化	メール会議
【2-10】	当該委員会からの主たる情報伝達は?	上位委 学科等			

## II. 自己評価結果

尺度	尺度値
①人的コスト（人数×平均開催回数） ▶ 1-3, 1-4	1
②PDCAサイクルが回っているか? ▶ 2-1,2-2,2-3,2-4,2-5,2-6,2-7,2-8,3-9	3
③情報伝達が適切か? ▶ 2-9, 2-10, 3-2	3
④簡素化の試みが進んでいるか? ▶ 3-3, 3-4, 3-5	2
⑤効率化の試みが進んでいるか? ▶ 3-6, 3-7, 3-10, 3-11	2
⑥今後の改革意欲は? ▶ 4, 5	2



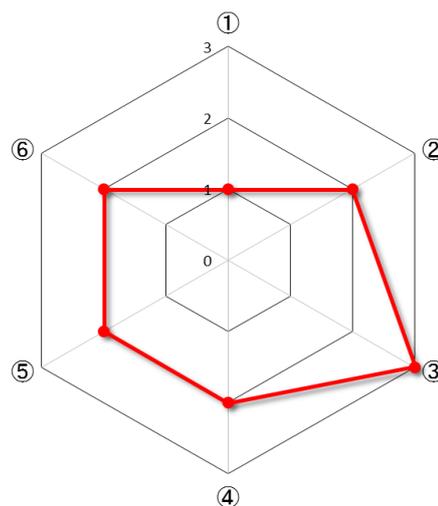
## III. コメント

## I. 自己点検項目及び回答

【1-3】	委員会構成人数	9	【3-1】	トップダウンアプローチの有無	有り
【1-4】	委員会平均開催回数	15.3	【3-2】	情報伝達は適切?	適切
【1-5】	公開の有無	議：公開	【3-3】	委員数、開催回数、時間の削減	現状維持
【1-6】	WGの有無	なし	【3-4】	会議体以外の審議の活用	開催回数減
【2-1】	主たる計画作成者	各委員	【3-5】	日程調整の労力	大
【2-2】	主たる計画審議組織	当該委上位委	【3-6】	ペーパーレス化の実現?	未達
【2-3】	主たる計画決議組織	当該委上位委	【3-7】	会議前の資料配布	未達
【2-4】	主たる計画実行指示組織	当該委	【3-8】	全学・部局委員会の連携	適切
【2-5】	主たる計画実行組織	その他	【3-9】	PDCAサイクルの実現	不適切
【2-6】	計画実行の主たる点検・評価組織	当該委	【3-10】	事務職員の参加	不参加
【2-7】	計画と実行の主たる比較組織	当該委上位委	【3-11】	引き継ぎの実行	適切
【2-8】	計画と実行の乖離改善組織	当該委上位委	【 4 】	簡素化・効率化	資料の事前配布
【2-9】	当該委員会への主たる情報伝達は?	学科等	【 5 】	見直し時の簡素化・効率化	資料の事前配布 メール会議
【2-10】	当該委員会からの主たる情報伝達は?	学科等			

## II. 自己評価結果

尺度	尺度値
①人的コスト（人数×平均開催回数） ▶ 1-3, 1-4	1
②PDCAサイクルが回っているか？ ▶ 2-1,2-2,2-3,2-4,2-5,2-6,2-7,2-8,3-9	2
③情報伝達が適切か？ ▶ 2-9, 2-10, 3-2	3
④簡素化の試みが進んでいるか？ ▶ 3-3, 3-4, 3-5	2
⑤効率化の試みが進んでいるか？ ▶ 3-6, 3-7, 3-10, 3-11	2
⑥今後の改革意欲は？ ▶ 4, 5	2



## III. コメント

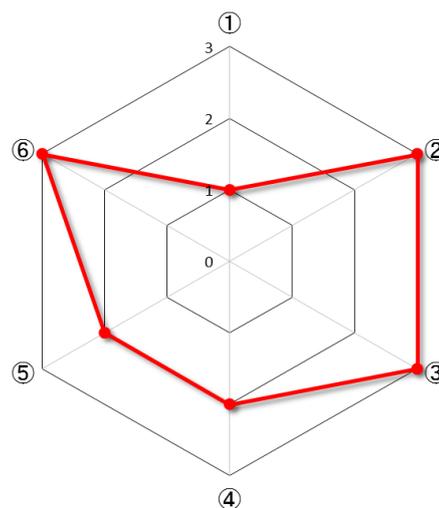
②C,A 欠落

## I. 自己点検項目及び回答

【1-3】	委員会構成人数	9	【3-1】	トップダウンアプローチの有無	有り
【1-4】	委員会平均開催回数	12.3	【3-2】	情報伝達は適切?	適切
【1-5】	公開の有無	議：公開	【3-3】	委員数、開催回数、時間の削減	時間減
【1-6】	WGの有無		【3-4】	会議体以外の審議の活用	メール報告活用
【2-1】	主たる計画作成者	委員長	【3-5】	日程調整の労力	大
【2-2】	主たる計画審議組織	当該委	【3-6】	ペーパーレス化の実現?	未達
【2-3】	主たる計画決議組織	当該委	【3-7】	会議前の資料配布	未達
【2-4】	主たる計画実行指示組織	当該委	【3-8】	全学・部局委員会の連携	適切
【2-5】	主たる計画実行組織	当該委 事務 その他	【3-9】	P D C A サイクルの実現	適切
【2-6】	計画実行の主たる点検・評価組織	当該委	【3-10】	事務職員の参加	不参加
【2-7】	計画と実行の主たる比較組織	当該委	【3-11】	引き継ぎの実行	適切
【2-8】	計画と実行の主たる乖離改善組織	当該委	【 4 】	簡素化・効率化	委員任期の見直し
【2-9】	当該委員会への主たる情報伝達は?	その他	【 5 】	見直し時の簡素化・効率化	メール会議
【2-10】	当該委員会からの主たる情報伝達は?	上位委 学科等			

## II. 自己評価結果

尺度	尺度値
①人的コスト（人数×平均開催回数） ▶ 1-3, 1-4	1
②PDCA サイクルが回っているか? ▶ 2-1,2-2,2-3,2-4,2-5,2-6,2-7,2-8,3-9	3
③情報伝達が適切か? ▶ 2-9, 2-10, 3-2	3
④簡素化の試みが進んでいるか? ▶ 3-3, 3-4, 3-5	2
⑤効率化の試みが進んでいるか? ▶ 3-6, 3-7, 3-10, 3-11	2
⑥今後の改革意欲は? ▶ 4, 5	3



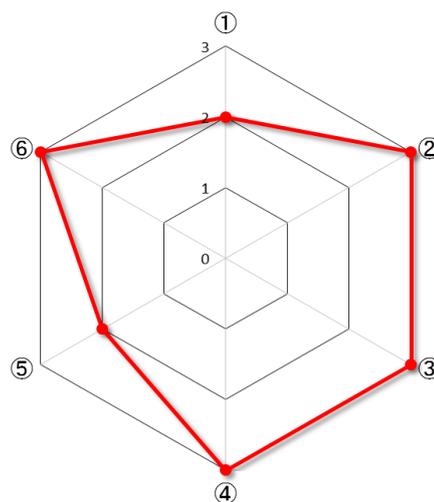
## III. コメント

## I. 自己点検項目及び回答

【1-3】	委員会構成人数	9	【3-1】	トップダウンアプローチの有無	有り
【1-4】	委員会平均開催回数	10.0	【3-2】	情報伝達は適切?	適切
【1-5】	公開の有無	議：公開	【3-3】	委員数、開催回数、時間の削減	現状維持
【1-6】	WGの有無	なし	【3-4】	会議体以外の審議の活用	メール報告活用
【2-1】	主たる計画作成者	委員長事務	【3-5】	日程調整の労力	小
【2-2】	主たる計画審議組織	当該委	【3-6】	ペーパーレス化の実現?	未達
【2-3】	主たる計画決議組織	当該委	【3-7】	会議前の資料配布	未達
【2-4】	主たる計画実行指示組織	当該委	【3-8】	全学・部局委員会の連携	適切
【2-5】	主たる計画実行組織	当該委事務	【3-9】	PDCAサイクルの実現	適切
【2-6】	計画実行の主たる点検・評価組織	当該委上位委	【3-10】	事務職員の参加	不参加
【2-7】	計画と実行の主たる比較組織	当該委	【3-11】	引き継ぎの実行	適切
【2-8】	計画と実行の乖離改善組織	当該委上位委	【 4 】	簡素化・効率化	運営方法改善
【2-9】	当該委員会への主たる情報伝達は?	上位委任命者	【 5 】	見直し時の簡素化・効率化	資料の事前配布 メール会議
【2-10】	当該委員会からの主たる情報伝達は?	上位委学科等			

## II. 自己評価結果

尺度	尺度値
①人的コスト（人数×平均開催回数） ▶ 1-3, 1-4	2
②PDCAサイクルが回っているか？ ▶ 2-1,2-2,2-3,2-4,2-5,2-6,2-7,2-8,3-9	3
③情報伝達が適切か？ ▶ 2-9, 2-10, 3-2	3
④簡素化の試みが進んでいるか？ ▶ 3-3, 3-4, 3-5	3
⑤効率化の試みが進んでいるか？ ▶ 3-6, 3-7, 3-10, 3-11	2
⑥今後の改革意欲は？ ▶ 4, 5	3



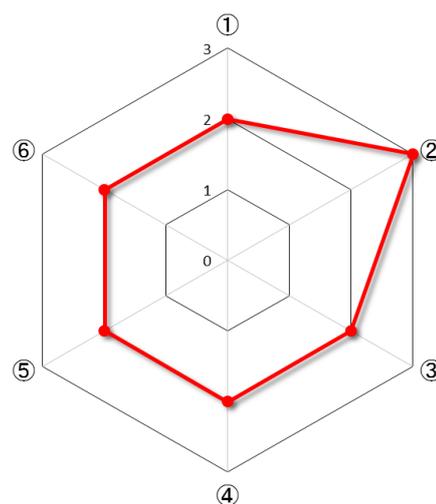
## III. コメント

## I. 自己点検項目及び回答

【1-3】	委員会構成人数	9	【3-1】	トップダウンアプローチの有無	有り
【1-4】	委員会平均開催回数	11.0	【3-2】	情報伝達は適切?	適切
【1-5】	公開の有無	議：公開	【3-3】	委員数、開催回数、時間の削減	現状維持
【1-6】	WGの有無	なし	【3-4】	会議体以外の審議の活用	メール審議活用
【2-1】	主たる計画作成者	委員長	【3-5】	日程調整の労力	小
【2-2】	主たる計画審議組織	当該委上位委	【3-6】	ペーパーレス化の実現?	未達
【2-3】	主たる計画決議組織	当該委上位委	【3-7】	会議前の資料配布	未達
【2-4】	主たる計画実行指示組織	当該委	【3-8】	全学・部局委員会の連携	適切
【2-5】	主たる計画実行組織	当該委	【3-9】	PDCAサイクルの実現	適切
【2-6】	計画実行の主たる点検・評価組織	当該委上位委	【3-10】	事務職員の参加	不参加
【2-7】	計画と実行の主たる比較組織	当該委上位委	【3-11】	引き継ぎの実行	適切
【2-8】	計画と実行の乖離改善組織	当該委上位委	【 4 】	簡素化・効率化	現状維持
【2-9】	当該委員会への主たる情報伝達は?	上位委学科等	【 5 】	見直し時の簡素化・効率化	資料の事前配布 メール会議
【2-10】	当該委員会からの主たる情報伝達は?	上位委学科等			

## II. 自己評価結果

尺度	尺度値
①人的コスト（人数×平均開催回数） ▶ 1-3, 1-4	2
②PDCAサイクルが回っているか？ ▶ 2-1,2-2,2-3,2-4,2-5,2-6,2-7,2-8,3-9	3
③情報伝達が適切か？ ▶ 2-9, 2-10, 3-2	2
④簡素化の試みが進んでいるか？ ▶ 3-3, 3-4, 3-5	2
⑤効率化の試みが進んでいるか？ ▶ 3-6, 3-7, 3-10, 3-11	2
⑥今後の改革意欲は？ ▶ 4, 5	2



## III. コメント

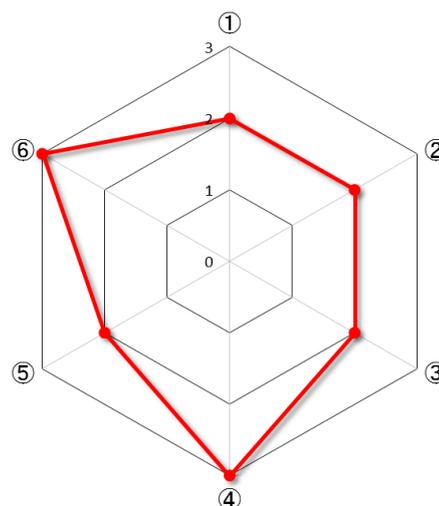
③末端への情報伝達不十分

## I. 自己点検項目及び回答

【1-3】	委員会構成人数	9	【3-1】	トップダウンアプローチの有無	有り
【1-4】	委員会平均開催回数	8.0	【3-2】	情報伝達は適切?	適切
【1-5】	公開の有無	資：公開 議：公開	【3-3】	委員数、開催回数、時間の削減	現状維持
【1-6】	WGの有無	なし	【3-4】	会議体以外の審議の活用	メール審議活用
【2-1】	主たる計画作成者	委員長 各委員 事務	【3-5】	日程調整の労力	大
【2-2】	主たる計画審議組織	当該委 上位委	【3-6】	ペーパーレス化の実現?	実現
【2-3】	主たる計画決議組織	当該委 上位委	【3-7】	会議前の資料配布	未達
【2-4】	主たる計画実行指示組織	当該委 事務	【3-8】	全学・部局委員会の連携	適切
【2-5】	主たる計画実行組織	当該委 事務	【3-9】	P D C A サイクルの実現	適切
【2-6】	計画実行の主たる点検・評価組織	該当なし	【3-10】	事務職員の参加	不参加
【2-7】	計画と実行の主たる比較組織	該当なし	【3-11】	引き継ぎの実行	適切
【2-8】	計画と実行の乖離改善組織	該当なし	【 4 】	簡素化・効率化	意思伝達改善 責任の明確化 他
【2-9】	当該委員会への主たる情報伝達は?	上位委 任命者 学科等	【 5 】	見直し時の簡素化・効率化	ペーパーレス メール会議
【2-10】	当該委員会からの主たる情報伝達は?	上位委 任命者 学科等			

## II. 自己評価結果

尺度	尺度値
①人的コスト（人数×平均開催回数） ▶ 1-3, 1-4	2
②PDCAサイクルが回っているか？ ▶ 2-1,2-2,2-3,2-4,2-5,2-6,2-7,2-8,3-9	2
③情報伝達が適切か？ ▶ 2-9, 2-10, 3-2	2
④簡素化の試みが進んでいるか？ ▶ 3-3, 3-4, 3-5	3
⑤効率化の試みが進んでいるか？ ▶ 3-6, 3-7, 3-10, 3-11	2
⑥今後の改革意欲は？ ▶ 4, 5	3



## III. コメント

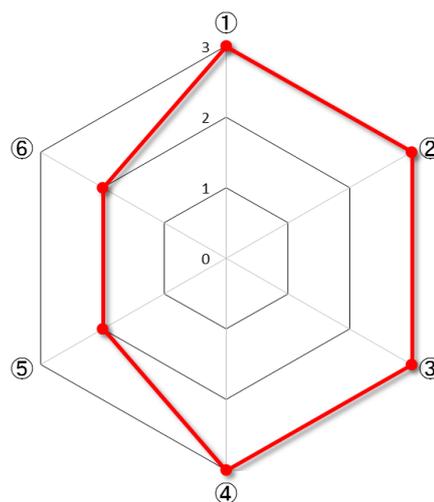
- ②C,A 欠落
- ③末端への情報伝達不十分

## I. 自己点検項目及び回答

【1-3】	委員会構成人数	12	【3-1】	トップダウンアプローチの有無	有り
【1-4】	委員会平均開催回数	0.7	【3-2】	情報伝達は適切?	適切
【1-5】	公開の有無	資：公開 議：公開	【3-3】	委員数、開催回数、時間の削減	現状維持
【1-6】	WGの有無	有り	【3-4】	会議体以外の審議の活用	現状維持
【2-1】	主たる計画作成者	委員長 その他	【3-5】	日程調整の労力	小
【2-2】	主たる計画審議組織	当該委	【3-6】	ペーパーレス化の実現?	未達
【2-3】	主たる計画決議組織	当該委	【3-7】	会議前の資料配布	未達
【2-4】	主たる計画実行指示組織	当該委 その他	【3-8】	全学・部局委員会の連携	該当なし
【2-5】	主たる計画実行組織	その他	【3-9】	PDCAサイクルの実現	適切
【2-6】	計画実行の主たる点検・評価組織	当該委 その他	【3-10】	事務職員の参加	参加
【2-7】	計画と実行の主たる比較組織	当該委 その他	【3-11】	引き継ぎの実行	不適切
【2-8】	計画と実行の主たる乖離改善組織	当該委 その他	【 4 】	簡素化・効率化	現状維持
【2-9】	当該委員会への主たる情報伝達は?	その他	【 5 】	見直し時の簡素化・効率化	
【2-10】	当該委員会からの主たる情報伝達は?	学科等 その他			

## II. 自己評価結果

尺度	尺度値
①人的コスト（人数×平均開催回数） ▶ 1-3, 1-4	3
②PDCAサイクルが回っているか？ ▶ 2-1,2-2,2-3,2-4,2-5,2-6,2-7,2-8,3-9	3
③情報伝達が適切か？ ▶ 2-9, 2-10, 3-2	3
④簡素化の試みが進んでいるか？ ▶ 3-3, 3-4, 3-5	3
⑤効率化の試みが進んでいるか？ ▶ 3-6, 3-7, 3-10, 3-11	2
⑥今後の改革意欲は？ ▶ 4, 5	2



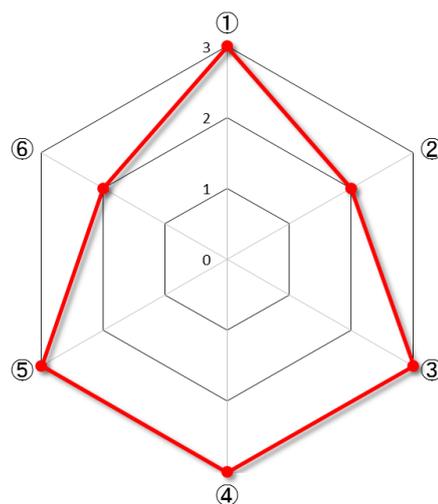
## III. コメント

## I. 自己点検項目及び回答

【1-3】	委員会構成人数	9	【3-1】	トップダウンアプローチの有無	有り
【1-4】	委員会平均開催回数	1.7	【3-2】	情報伝達は適切?	適切
【1-5】	公開の有無	資：公開 議：公開	【3-3】	委員数、開催回数、時間の削減	現状維持
【1-6】	WGの有無	なし	【3-4】	会議体以外の審議の活用	現状維持
【2-1】	主たる計画作成者	事務	【3-5】	日程調整の労力	大
【2-2】	主たる計画審議組織	当該委	【3-6】	ペーパーレス化の実現?	実現
【2-3】	主たる計画決議組織	当該委	【3-7】	会議前の資料配布	未達
【2-4】	主たる計画実行指示組織	当該委 事務	【3-8】	全学・部局委員会の連携	適切
【2-5】	主たる計画実行組織	当該委 事務	【3-9】	PDCAサイクルの実現	適切
【2-6】	計画実行の主たる点検・評価組織	該当なし	【3-10】	事務職員の参加	参加
【2-7】	計画と実行の主たる比較組織	該当なし	【3-11】	引き継ぎの実行	適切
【2-8】	計画と実行の主たる乖離改善組織	該当なし	【 4 】	簡素化・効率化	現状維持
【2-9】	当該委員会への主たる情報伝達は?	任命者	【 5 】	見直し時の簡素化・効率化	ペーパーレス メール会議
【2-10】	当該委員会からの主たる情報伝達は?	任命者 学科等			

## II. 自己評価結果

尺度	尺度値
①人的コスト（人数×平均開催回数） ▶ 1-3, 1-4	3
②PDCAサイクルが回っているか？ ▶ 2-1,2-2,2-3,2-4,2-5,2-6,2-7,2-8,3-9	2
③情報伝達が適切か？ ▶ 2-9, 2-10, 3-2	3
④簡素化の試みが進んでいるか？ ▶ 3-3, 3-4, 3-5	3
⑤効率化の試みが進んでいるか？ ▶ 3-6, 3-7, 3-10, 3-11	3
⑥今後の改革意欲は？ ▶ 4, 5	2



## III. コメント

②C,A 欠落

## I. 自己点検項目及び回答

【1-3】	委員会構成人数	9	【3-1】	トップダウンアプローチの有無	有り
【1-4】	委員会平均開催回数	0.0	【3-2】	情報伝達は適切?	廃止予定
【1-5】	公開の有無	議：公開	【3-3】	委員数、開催回数、時間の削減	廃止予定
【1-6】	WGの有無	なし	【3-4】	会議体以外の審議の活用	廃止予定
【2-1】	主たる計画作成者	委員長 各委員 事務	【3-5】	日程調整の労力	廃止予定
【2-2】	主たる計画審議組織	当該委	【3-6】	ペーパーレス化の実現?	廃止予定
【2-3】	主たる計画決議組織	当該委	【3-7】	会議前の資料配布	廃止予定
【2-4】	主たる計画実行指示組織	当該委	【3-8】	全学・部局委員会の連携	廃止予定
【2-5】	主たる計画実行組織	当該委	【3-9】	PDCAサイクルの実現	廃止予定
【2-6】	計画実行の主たる点検・評価組織	該当なし	【3-10】	事務職員の参加	廃止予定
【2-7】	計画と実行の主たる比較組織	該当なし	【3-11】	引き継ぎの実行	廃止予定
【2-8】	計画と実行の主たる乖離改善組織	該当なし	【 4 】	簡素化・効率化	廃止予定
【2-9】	当該委員会への主たる情報伝達は?	任命者	【 5 】	見直し時の簡素化・効率化	廃止
【2-10】	当該委員会からの主たる情報伝達は?	任命者			

## II. 自己評価結果

尺度	尺度値
①人的コスト（人数×平均開催回数） ▶ 1-3, 1-4	
②PDCAサイクルが回っているか? ▶ 2-1,2-2,2-3,2-4,2-5,2-6,2-7,2-8,3-9	
③情報伝達が適切か? ▶ 2-9, 2-10, 3-2	
④簡素化の試みが進んでいるか? ▶ 3-3, 3-4, 3-5	
⑤効率化の試みが進んでいるか? ▶ 3-6, 3-7, 3-10, 3-11	
⑥今後の改革意欲は? ▶ 4, 5	

## III. コメント

※廃止予定

## I. 自己点検項目及び回答

【1-3】	委員会構成人数	10	【3-1】	トップダウンアプローチの有無	有り
【1-4】	委員会平均開催回数	0.7	【3-2】	情報伝達は適切?	廃止予定
【1-5】	公開の有無	議：公開	【3-3】	委員数、開催回数、時間の削減	廃止予定
【1-6】	WGの有無	なし	【3-4】	会議体以外の審議の活用	廃止予定
【2-1】	主たる計画作成者	その他	【3-5】	日程調整の労力	廃止予定
【2-2】	主たる計画審議組織	当該委	【3-6】	ペーパーレス化の実現?	廃止予定
【2-3】	主たる計画決議組織	当該委	【3-7】	会議前の資料配布	廃止予定
【2-4】	主たる計画実行指示組織	当該委 事務	【3-8】	全学・部局委員会の連携	廃止予定
【2-5】	主たる計画実行組織	当該委 事務 その他	【3-9】	PDCAサイクルの実現	廃止予定
【2-6】	計画実行の主たる点検・評価組織	該当なし	【3-10】	事務職員の参加	廃止予定
【2-7】	計画と実行の主たる比較組織	該当なし	【3-11】	引き継ぎの実行	廃止予定
【2-8】	計画と実行の主たる乖離改善組織	該当なし	【 4 】	簡素化・効率化	廃止予定
【2-9】	当該委員会への主たる情報伝達は?	任命者 その他	【 5 】	見直し時の簡素化・効率化	学術情報委へ統合
【2-10】	当該委員会からの主たる情報伝達は?	任命者 学科等			

## II. 自己評価結果

尺度	尺度値
①人的コスト（人数×平均開催回数） ▶ 1-3, 1-4	3
②PDCAサイクルが回っているか? ▶ 2-1,2-2,2-3,2-4,2-5,2-6,2-7,2-8,3-9	
③情報伝達が適切か? ▶ 2-9, 2-10, 3-2	
④簡素化の試みが進んでいるか? ▶ 3-3, 3-4, 3-5	
⑤効率化の試みが進んでいるか? ▶ 3-6, 3-7, 3-10, 3-11	
⑥今後の改革意欲は? ▶ 4, 5	

## III. コメント

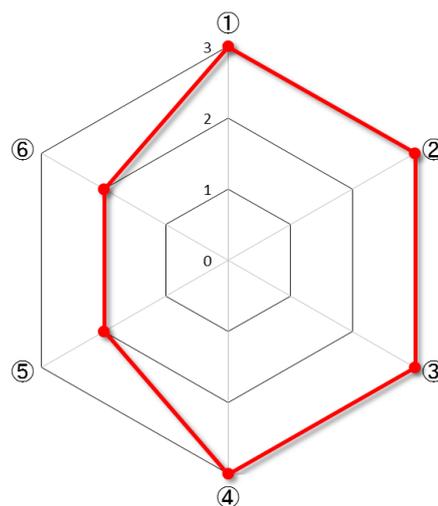
②C,A 欠落

## I. 自己点検項目及び回答

【1-3】	委員会構成人数	8	【3-1】	トップダウンアプローチの有無	有り
【1-4】	委員会平均開催回数	4.7	【3-2】	情報伝達は適切?	適切
【1-5】	公開の有無	議：公開	【3-3】	委員数、開催回数、時間の削減	現状維持
【1-6】	WGの有無	なし	【3-4】	会議体以外の審議の活用	メール報告活用
【2-1】	主たる計画作成者	委員長 その他	【3-5】	日程調整の労力	大
【2-2】	主たる計画審議組織	当該委 上位委	【3-6】	ペーパーレス化の実現?	未達
【2-3】	主たる計画決議組織	当該委 上位委	【3-7】	会議前の資料配布	未達
【2-4】	主たる計画実行指示組織	当該委 その他	【3-8】	全学・部局委員会の連携	適切
【2-5】	主たる計画実行組織	当該委 その他	【3-9】	PDCAサイクルの実現	適切
【2-6】	計画実行の主たる点検・評価組織	当該委	【3-10】	事務職員の参加	不参加
【2-7】	計画と実行の主たる比較組織	当該委	【3-11】	引き継ぎの実行	適切
【2-8】	計画と実行の主たる乖離改善組織	当該委	【 4 】	簡素化・効率化	運営方法改善
【2-9】	当該委員会への主たる情報伝達は?	その他	【 5 】	見直し時の簡素化・効率化	メール会議
【2-10】	当該委員会からの主たる情報伝達は?	上位委 学科等			

## II. 自己評価結果

尺度	尺度値
①人的コスト（人数×平均開催回数） ▶ 1-3, 1-4	3
②PDCAサイクルが回っているか？ ▶ 2-1,2-2,2-3,2-4,2-5,2-6,2-7,2-8,3-9	3
③情報伝達が適切か？ ▶ 2-9, 2-10, 3-2	3
④簡素化の試みが進んでいるか？ ▶ 3-3, 3-4, 3-5	3
⑤効率化の試みが進んでいるか？ ▶ 3-6, 3-7, 3-10, 3-11	2
⑥今後の改革意欲は？ ▶ 4, 5	2



## III. コメント

## I. 自己点検項目及び回答

【1-3】	委員会構成人数	9	【3-1】	トップダウンアプローチの有無	有り
【1-4】	委員会平均開催回数	0.0	【3-2】	情報伝達は適切?	適切
【1-5】	公開の有無	非公開	【3-3】	委員数、開催回数、時間の削減	現状維持
【1-6】	WGの有無	なし	【3-4】	会議体以外の審議の活用	現状維持
【2-1】	主たる計画作成者	該当なし	【3-5】	日程調整の労力	大
【2-2】	主たる計画審議組織	該当なし	【3-6】	ペーパーレス化の実現?	未達
【2-3】	主たる計画決議組織	該当なし	【3-7】	会議前の資料配布	未達
【2-4】	主たる計画実行指示組織	該当なし	【3-8】	全学・部局委員会の連携	該当なし
【2-5】	主たる計画実行組織	該当なし	【3-9】	PDCAサイクルの実現	適切
【2-6】	計画実行の主たる点検・評価組織	該当なし	【3-10】	事務職員の参加	不参加
【2-7】	計画と実行の主たる比較組織	該当なし	【3-11】	引き継ぎの実行	適切
【2-8】	計画と実行の主たる乖離改善組織	該当なし	【 4 】	簡素化・効率化	現状維持
【2-9】	当該委員会への主たる情報伝達は?	該当なし	【 5 】	見直し時の簡素化・効率化	
【2-10】	当該委員会からの主たる情報伝達は?	該当なし			

## II. 自己評価結果

尺度	尺度値
①人的コスト (人数×平均開催回数) ▶ 1-3, 1-4	
②PDCAサイクルが回っているか? ▶ 2-1,2-2,2-3,2-4,2-5,2-6,2-7,2-8,3-9	
③情報伝達が適切か? ▶ 2-9, 2-10, 3-2	
④簡素化の試みが進んでいるか? ▶ 3-3, 3-4, 3-5	
⑤効率化の試みが進んでいるか? ▶ 3-6, 3-7, 3-10, 3-11	
⑥今後の改革意欲は? ▶ 4, 5	

## III. コメント

①開催なし

## I. 自己点検項目及び回答

【1-3】	委員会構成人数	8	【3-1】	トップダウンアプローチの有無	有り
【1-4】	委員会平均開催回数	0 ※新設委	【3-2】	情報伝達は適切?	適切
【1-5】	公開の有無	非公開	【3-3】	委員数、開催回数、時間の削減	現状維持
【1-6】	WGの有無	なし	【3-4】	会議体以外の審議の活用	メール、決裁活用
【2-1】	主たる計画作成者	委員長各委員	【3-5】	日程調整の労力	小
【2-2】	主たる計画審議組織	当該委	【3-6】	ペーパーレス化の実現?	未達
【2-3】	主たる計画決議組織	当該委	【3-7】	会議前の資料配布	未達
【2-4】	主たる計画実行指示組織	当該委	【3-8】	全学・部局委員会の連携	該当なし
【2-5】	主たる計画実行組織	当該委 事務 その他	【3-9】	PDCAサイクルの実現	該当なし
【2-6】	計画実行の主たる点検・評価組織	当該委	【3-10】	事務職員の参加	参加
【2-7】	計画と実行の主たる比較組織	当該委	【3-11】	引き継ぎの実行	適切
【2-8】	計画と実行の主たる乖離改善組織	当該委	【 4 】	簡素化・効率化	現状維持
【2-9】	当該委員会への主たる情報伝達は?	任命者	【 5 】	見直し時の簡素化・効率化	
【2-10】	当該委員会からの主たる情報伝達は?	その他			

## II. 自己評価結果

尺度	尺度値
①人的コスト（人数×平均開催回数） ▶ 1-3, 1-4	
②PDCAサイクルが回っているか? ▶ 2-1,2-2,2-3,2-4,2-5,2-6,2-7,2-8,3-9	
③情報伝達が適切か? ▶ 2-9, 2-10, 3-2	
④簡素化の試みが進んでいるか? ▶ 3-3, 3-4, 3-5	
⑤効率化の試みが進んでいるか? ▶ 3-6, 3-7, 3-10, 3-11	
⑥今後の改革意欲は? ▶ 4, 5	

## III. コメント

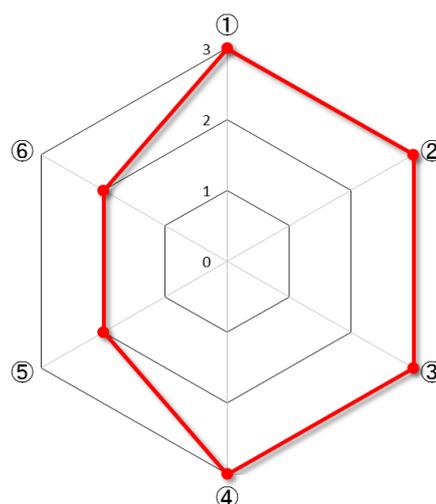
※新設

## I. 自己点検項目及び回答

【1-3】	委員会構成人数	13	【3-1】	トップダウンアプローチの有無	有り
【1-4】	委員会平均開催回数	2.0	【3-2】	情報伝達は適切?	適切
【1-5】	公開の有無	非公開	【3-3】	委員数、開催回数、時間の削減	現状維持
【1-6】	WGの有無	なし	【3-4】	会議体以外の審議の活用	現状維持
【2-1】	主たる計画作成者	委員長 事務 その他	【3-5】	日程調整の労力	大
【2-2】	主たる計画審議組織	当該委	【3-6】	ペーパーレス化の実現?	未達
【2-3】	主たる計画決議組織	当該委	【3-7】	会議前の資料配布	未達
【2-4】	主たる計画実行指示組織	当該委 その他	【3-8】	全学・部局委員会の連携	該当なし
【2-5】	主たる計画実行組織	当該委 その他	【3-9】	P D C A サイクルの実現	適切
【2-6】	計画実行の主たる点検・評価組織	当該委 上位委 その他	【3-10】	事務職員の参加	参加
【2-7】	計画と実行の主たる比較組織	当該委 上位委 その他	【3-11】	引き継ぎの実行	不適切
【2-8】	計画と実行の乖離改善組織	当該委 上位委 その他	【 4 】	簡素化・効率化	現状維持
【2-9】	当該委員会への主たる情報伝達は?	上位委、任命者 学科等、その他	【 5 】	見直し時の簡素化・効率化	
【2-10】	当該委員会からの主たる情報伝達は?	上位委、任命者 学科等、その他			

## II. 自己評価結果

尺度	尺度値
①人的コスト (人数×平均開催回数) ▶ 1-3, 1-4	3
②PDCA サイクルが回っているか? ▶ 2-1,2-2,2-3,2-4,2-5,2-6,2-7,2-8,3-9	3
③情報伝達が適切か? ▶ 2-9, 2-10, 3-2	3
④簡素化の試みが進んでいるか? ▶ 3-3, 3-4, 3-5	3
⑤効率化の試みが進んでいるか? ▶ 3-6, 3-7, 3-10, 3-11	2
⑥今後の改革意欲は? ▶ 4, 5	2



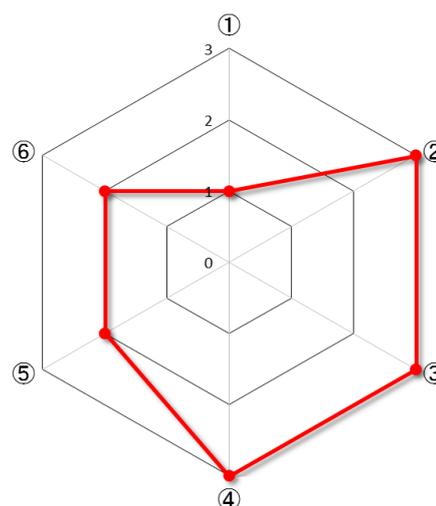
## III. コメント

## I. 自己点検項目及び回答

【1-3】	委員会構成人数	11	【3-1】	トップダウンアプローチの有無	有り
【1-4】	委員会平均開催回数	23.0	【3-2】	情報伝達は適切?	適切
【1-5】	公開の有無	資：公開 議：公開	【3-3】	委員数、開催回数、時間の削減	現状維持
【1-6】	WGの有無	有り	【3-4】	会議体以外の審議の活用	メール審議活用
【2-1】	主たる計画作成者	委員長 各委員 その他	【3-5】	日程調整の労力	小
【2-2】	主たる計画審議組織	当該委	【3-6】	ペーパーレス化の実現?	ほぼ実現
【2-3】	主たる計画決議組織	当該委	【3-7】	会議前の資料配布	実現
【2-4】	主たる計画実行指示組織	当該委	【3-8】	全学・部局委員会の連携	適切
【2-5】	主たる計画実行組織	その他	【3-9】	PDCAサイクルの実現	適切
【2-6】	計画実行の主たる点検・評価組織	当該委	【3-10】	事務職員の参加	不参加
【2-7】	計画と実行の主たる比較組織	当該委	【3-11】	引き継ぎの実行	適切
【2-8】	計画と実行の乖離改善組織	当該委	【 4 】	簡素化・効率化	現状維持
【2-9】	当該委員会への主たる情報伝達は?	その他	【 5 】	見直し時の簡素化・効率化	
【2-10】	当該委員会からの主たる情報伝達は?	その他			

## II. 自己評価結果

尺度	尺度値
①人的コスト（人数×平均開催回数） ▶ 1-3, 1-4	1
②PDCAサイクルが回っているか？ ▶ 2-1,2-2,2-3,2-4,2-5,2-6,2-7,2-8,3-9	3
③情報伝達が適切か？ ▶ 2-9, 2-10, 3-2	3
④簡素化の試みが進んでいるか？ ▶ 3-3, 3-4, 3-5	3
⑤効率化の試みが進んでいるか？ ▶ 3-6, 3-7, 3-10, 3-11	2
⑥今後の改革意欲は？ ▶ 4, 5	2



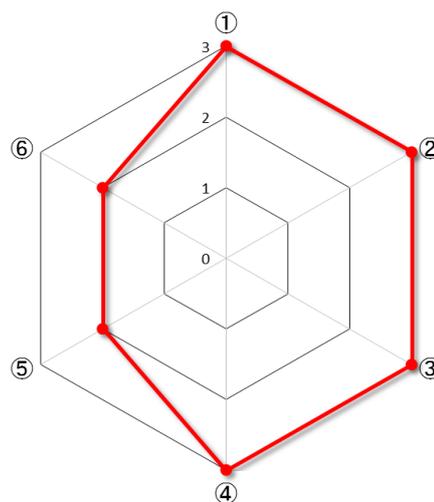
## III. コメント

## I. 自己点検項目及び回答

【1-3】	委員会構成人数	6	【3-1】	トップダウンアプローチの有無	有り
【1-4】	委員会平均開催回数	1.7	【3-2】	情報伝達は適切?	適切
【1-5】	公開の有無	資：公開 議：公開	【3-3】	委員数、開催回数、時間の削減	現状維持
【1-6】	WGの有無	なし	【3-4】	会議体以外の審議の活用	現状維持
【2-1】	主たる計画作成者	委員長 各委員 その他	【3-5】	日程調整の労力	大
【2-2】	主たる計画審議組織	当該委	【3-6】	ペーパーレス化の実現?	未達
【2-3】	主たる計画決議組織	当該委	【3-7】	会議前の資料配布	未達
【2-4】	主たる計画実行指示組織	当該委 事務	【3-8】	全学・部局委員会の連携	該当なし
【2-5】	主たる計画実行組織	当該委 事務	【3-9】	PDCAサイクルの実現	適切
【2-6】	計画実行の主たる点検・評価組織	当該委	【3-10】	事務職員の参加	不参加
【2-7】	計画と実行の主たる比較組織	当該委	【3-11】	引き継ぎの実行	適切
【2-8】	計画と実行の主たる乖離改善組織	当該委	【 4 】	簡素化・効率化	現状維持
【2-9】	当該委員会への主たる情報伝達は?	その他	【 5 】	見直し時の簡素化・効率化	
【2-10】	当該委員会からの主たる情報伝達は?	その他			

## II. 自己評価結果

尺度	尺度値
①人的コスト（人数×平均開催回数） ▶ 1-3, 1-4	3
②PDCAサイクルが回っているか？ ▶ 2-1,2-2,2-3,2-4,2-5,2-6,2-7,2-8,3-9	3
③情報伝達が適切か？ ▶ 2-9, 2-10, 3-2	3
④簡素化の試みが進んでいるか？ ▶ 3-3, 3-4, 3-5	3
⑤効率化の試みが進んでいるか？ ▶ 3-6, 3-7, 3-10, 3-11	2
⑥今後の改革意欲は？ ▶ 4, 5	2



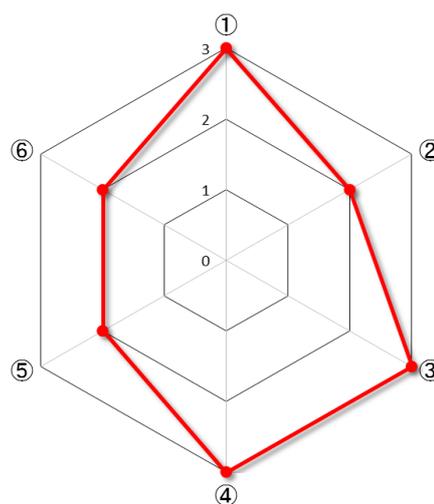
## III. コメント

## I. 自己点検項目及び回答

【1-3】	委員会構成人数	7	【3-1】	トップダウンアプローチの有無	有り
【1-4】	委員会平均開催回数	1.0	【3-2】	情報伝達は適切?	適切
【1-5】	公開の有無	資：公開 議：公開	【3-3】	委員数、開催回数、時間の削減	現状維持
【1-6】	WGの有無	なし	【3-4】	会議体以外の審議の活用	メール審議活用
【2-1】	主たる計画作成者	委員長	【3-5】	日程調整の労力	大
【2-2】	主たる計画審議組織	当該委	【3-6】	ペーパーレス化の実現?	未達
【2-3】	主たる計画決議組織	当該委	【3-7】	会議前の資料配布	未達
【2-4】	主たる計画実行指示組織	当該委	【3-8】	全学・部局委員会の連携	適切
【2-5】	主たる計画実行組織	当該委 その他	【3-9】	PDCAサイクルの実現	適切
【2-6】	計画実行の主たる点検・評価組織	該当なし	【3-10】	事務職員の参加	参加
【2-7】	計画と実行の主たる比較組織	当該委	【3-11】	引き継ぎの実行	適切
【2-8】	計画と実行の乖離改善組織	当該委	【 4 】	簡素化・効率化	現状維持
【2-9】	当該委員会への主たる情報伝達は?	上位委 任命者	【 5 】	見直し時の簡素化・効率化	
【2-10】	当該委員会からの主たる情報伝達は?	その他			

## II. 自己評価結果

尺度	尺度値
①人的コスト（人数×平均開催回数） ▶ 1-3, 1-4	3
②PDCAサイクルが回っているか？ ▶ 2-1,2-2,2-3,2-4,2-5,2-6,2-7,2-8,3-9	2
③情報伝達が適切か？ ▶ 2-9, 2-10, 3-2	3
④簡素化の試みが進んでいるか？ ▶ 3-3, 3-4, 3-5	3
⑤効率化の試みが進んでいるか？ ▶ 3-6, 3-7, 3-10, 3-11	2
⑥今後の改革意欲は？ ▶ 4, 5	2



## III. コメント

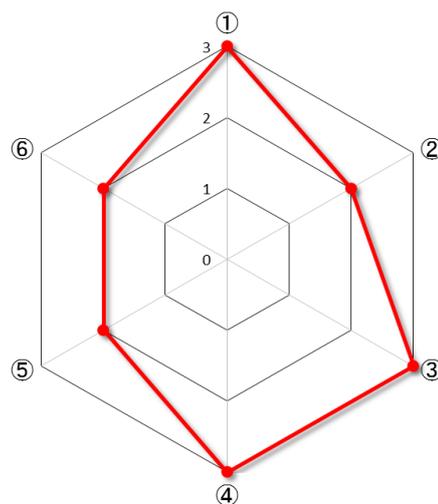
②中期計画の概念なし

## I. 自己点検項目及び回答

【1-3】	委員会構成人数	7	【3-1】	トップダウンアプローチの有無	有り
【1-4】	委員会平均開催回数	3.0	【3-2】	情報伝達は適切?	該当なし
【1-5】	公開の有無	資：公開 議：公開	【3-3】	委員数、開催回数、時間の削減	現状維持
【1-6】	WGの有無	なし	【3-4】	会議体以外の審議の活用	メール活用
【2-1】	主たる計画作成者	委員長 各委員 事務	【3-5】	日程調整の労力	大
【2-2】	主たる計画審議組織	当該委 上位委	【3-6】	ペーパーレス化の実現?	未達
【2-3】	主たる計画決議組織	当該委	【3-7】	会議前の資料配布	未達
【2-4】	主たる計画実行指示組織	当該委 事務	【3-8】	全学・部局委員会の連携	該当なし
【2-5】	主たる計画実行組織	当該委 事務	【3-9】	PDCAサイクルの実現	該当なし
【2-6】	計画実行の主たる点検・評価組織	該当なし	【3-10】	事務職員の参加	不参加
【2-7】	計画と実行の主たる比較組織	該当なし	【3-11】	引き継ぎの実行	該当なし
【2-8】	計画と実行の乖離改善組織	該当なし	【 4 】	簡素化・効率化	現状維持
【2-9】	当該委員会への主たる情報伝達は?	上位委 任命者	【 5 】	見直し時の簡素化・効率化	
【2-10】	当該委員会からの主たる情報伝達は?	上位委 任命者			

## II. 自己評価結果

尺度	尺度値
①人的コスト（人数×平均開催回数） ▶ 1-3, 1-4	3
②PDCAサイクルが回っているか？ ▶ 2-1,2-2,2-3,2-4,2-5,2-6,2-7,2-8,3-9	2
③情報伝達が適切か？ ▶ 2-9, 2-10, 3-2	3
④簡素化の試みが進んでいるか？ ▶ 3-3, 3-4, 3-5	3
⑤効率化の試みが進んでいるか？ ▶ 3-6, 3-7, 3-10, 3-11	2
⑥今後の改革意欲は？ ▶ 4, 5	2



## III. コメント

②中期計画の概念なし

## I. 自己点検項目及び回答

【1-3】	委員会構成人数	9	【3-1】	トップダウンアプローチの有無	有り
【1-4】	委員会平均開催回数	2.7	【3-2】	情報伝達は適切?	適切
【1-5】	公開の有無	資：公開 議：公開	【3-3】	委員数、開催回数、時間の削減	現状維持
【1-6】	WGの有無	なし	【3-4】	会議体以外の審議の活用	メール報告活用
【2-1】	主たる計画作成者	委員長	【3-5】	日程調整の労力	大
【2-2】	主たる計画審議組織	当該委	【3-6】	ペーパーレス化の実現?	未達
【2-3】	主たる計画決議組織	当該委	【3-7】	会議前の資料配布	未達
【2-4】	主たる計画実行指示組織	当該委	【3-8】	全学・部局委員会の連携	該当なし
【2-5】	主たる計画実行組織	その他	【3-9】	PDCAサイクルの実現	適切
【2-6】	計画実行の主たる点検・評価組織	当該委	【3-10】	事務職員の参加	参加
【2-7】	計画と実行の主たる比較組織	当該委	【3-11】	引き継ぎの実行	適切
【2-8】	計画と実行の主たる乖離改善組織	当該委	【 4 】	簡素化・効率化	現状維持
【2-9】	当該委員会への主たる情報伝達は?	学科等	【 5 】	見直し時の簡素化・効率化	
【2-10】	当該委員会からの主たる情報伝達は?	学科等			

## II. 自己評価結果

尺度	尺度値
①人的コスト (人数×平均開催回数) ▶ 1-3, 1-4	3
②PDCAサイクルが回っているか? ▶ 2-1,2-2,2-3,2-4,2-5,2-6,2-7,2-8,3-9	
③情報伝達が適切か? ▶ 2-9, 2-10, 3-2	3
④簡素化の試みが進んでいるか? ▶ 3-3, 3-4, 3-5	3
⑤効率化の試みが進んでいるか? ▶ 3-6, 3-7, 3-10, 3-11	2
⑥今後の改革意欲は? ▶ 4, 5	2

## III. コメント

## I. 自己点検項目及び回答

【1-3】	委員会構成人数	11	【3-1】	トップダウンアプローチの有無	有り
【1-4】	委員会平均開催回数	0 ※新設委	【3-2】	情報伝達は適切?	適切
【1-5】	公開の有無	非公開	【3-3】	委員数、開催回数、時間の削減	現状維持
【1-6】	WGの有無	なし	【3-4】	会議体以外の審議の活用	現状維持
【2-1】	主たる計画作成者	委員長	【3-5】	日程調整の労力	小
【2-2】	主たる計画審議組織	当該委上位委	【3-6】	ペーパーレス化の実現?	未達
【2-3】	主たる計画決議組織	当該委上位委	【3-7】	会議前の資料配布	未達
【2-4】	主たる計画実行指示組織	その他	【3-8】	全学・部局委員会の連携	該当なし
【2-5】	主たる計画実行組織	当該委	【3-9】	PDCAサイクルの実現	適切
【2-6】	計画実行の主たる点検・評価組織	当該委上位委	【3-10】	事務職員の参加	不参加
【2-7】	計画と実行の主たる比較組織	当該委上位委	【3-11】	引き継ぎの実行	適切
【2-8】	計画と実行の乖離改善組織	当該委上位委	【 4 】	簡素化・効率化	現状維持
【2-9】	当該委員会への主たる情報伝達は?	任命者 学科等 その他	【 5 】	見直し時の簡素化・効率化	専攻長会へ移譲
【2-10】	当該委員会からの主たる情報伝達は?	上位委 学科等 その他			

## II. 自己評価結果

尺度	尺度値
①人的コスト (人数×平均開催回数) ▶ 1-3, 1-4	
②PDCAサイクルが回っているか? ▶ 2-1,2-2,2-3,2-4,2-5,2-6,2-7,2-8,3-9	
③情報伝達が適切か? ▶ 2-9, 2-10, 3-2	
④簡素化の試みが進んでいるか? ▶ 3-3, 3-4, 3-5	
⑤効率化の試みが進んでいるか? ▶ 3-6, 3-7, 3-10, 3-11	
⑥今後の改革意欲は? ▶ 4, 5	

## III. コメント

※新設

## I. 自己点検項目及び回答

【1-3】	委員会構成人数	9	【3-1】	トップダウンアプローチの有無	有り
【1-4】	委員会平均開催回数	0 ※新設委	【3-2】	情報伝達は適切?	適切
【1-5】	公開の有無	非公開	【3-3】	委員数、開催回数、時間の削減	現状維持
【1-6】	WGの有無	なし	【3-4】	会議体以外の審議の活用	メール、決裁活用
【2-1】	主たる計画作成者	委員長各委員	【3-5】	日程調整の労力	小
【2-2】	主たる計画審議組織	当該委	【3-6】	ペーパーレス化の実現?	未達
【2-3】	主たる計画決議組織	当該委	【3-7】	会議前の資料配布	未達
【2-4】	主たる計画実行指示組織	当該委	【3-8】	全学・部局委員会の連携	該当なし
【2-5】	主たる計画実行組織	当該委 事務 その他	【3-9】	PDCAサイクルの実現	該当なし
【2-6】	計画実行の主たる点検・評価組織	当該委	【3-10】	事務職員の参加	参加
【2-7】	計画と実行の主たる比較組織	当該委	【3-11】	引き継ぎの実行	適切
【2-8】	計画と実行の主たる乖離改善組織	当該委	【 4 】	簡素化・効率化	現状維持
【2-9】	当該委員会への主たる情報伝達は?	任命者	【 5 】	見直し時の簡素化・効率化	
【2-10】	当該委員会からの主たる情報伝達は?	任命者 その他			

## II. 自己評価結果

尺度	尺度値
①人的コスト (人数×平均開催回数) ▶ 1-3, 1-4	
②PDCAサイクルが回っているか? ▶ 2-1,2-2,2-3,2-4,2-5,2-6,2-7,2-8,3-9	
③情報伝達が適切か? ▶ 2-9, 2-10, 3-2	
④簡素化の試みが進んでいるか? ▶ 3-3, 3-4, 3-5	
⑤効率化の試みが進んでいるか? ▶ 3-6, 3-7, 3-10, 3-11	
⑥今後の改革意欲は? ▶ 4, 5	

## III. コメント

※新設

# 1. 3. 情報工学部・情報工学府・情報工学研究院委員会

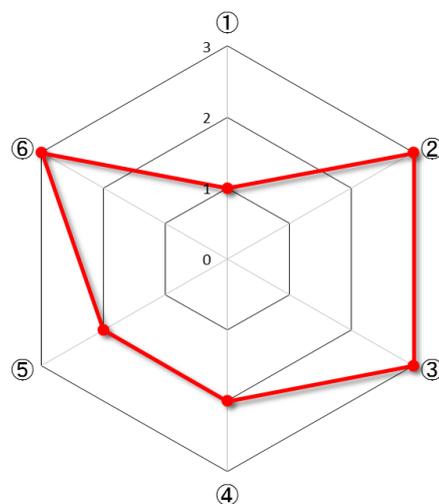
委員会名称：[情] 飯塚地区安全衛生委員会

## I. 自己点検項目及び回答

【1-3】	委員会構成人数	9	【3-1】	トップダウンアプローチの有無	有り
【1-4】	委員会平均開催回数	12.0	【3-2】	情報伝達は適切?	適切
【1-5】	公開の有無	議：公開	【3-3】	委員数、開催回数、時間の削減	現状維持
【1-6】	WGの有無	有り	【3-4】	会議体以外の審議の活用	現状維持
【2-1】	主たる計画作成者	各委員	【3-5】	日程調整の労力	大
【2-2】	主たる計画審議組織	当該委上位委	【3-6】	ペーパーレス化の実現?	未達
【2-3】	主たる計画決議組織	当該委上位委	【3-7】	会議前の資料配布	未達
【2-4】	主たる計画実行指示組織	当該委	【3-8】	全学・部局委員会の連携	適切
【2-5】	主たる計画実行組織	当該委	【3-9】	PDCAサイクルの実現	適切
【2-6】	計画実行の主たる点検・評価組織	当該委上位委	【3-10】	事務職員の参加	参加
【2-7】	計画と実行の主たる比較組織	当該委	【3-11】	引き継ぎの実行	適切
【2-8】	計画と実行の主たる乖離改善組織	当該委	【 4 】	簡素化・効率化	現状維持
【2-9】	当該委員会への主たる情報伝達は?	学科等	【 5 】	見直し時の簡素化・効率化	情報伝達、情報共有の促進 ペーパーレス 資料の事前配布
【2-10】	当該委員会からの主たる情報伝達は?	学科等			

## II. 自己評価結果

尺度	尺度値
①人的コスト（人数×平均開催回数） ▶ 1-3, 1-4	1
②PDCAサイクルが回っているか？ ▶ 2-1,2-2,2-3,2-4,2-5,2-6,2-7,2-8,3-9	3
③情報伝達が適切か？ ▶ 2-9, 2-10, 3-2	3
④簡素化の試みが進んでいるか？ ▶ 3-3, 3-4, 3-5	2
⑤効率化の試みが進んでいるか？ ▶ 3-6, 3-7, 3-10, 3-11	2
⑥今後の改革意欲は？ ▶ 4, 5	3



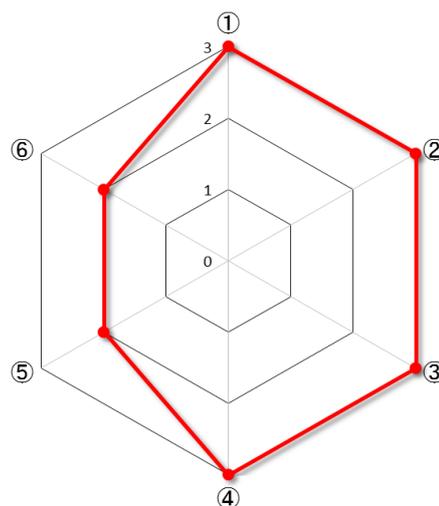
## III. コメント

## I. 自己点検項目及び回答

【1-3】	委員会構成人数	7	【3-1】	トップダウンアプローチの有無	有り
【1-4】	委員会平均開催回数	0(不定期)	【3-2】	情報伝達は適切?	適切
【1-5】	公開の有無	非公開	【3-3】	委員数、開催回数、時間の削減	現状維持
【1-6】	WGの有無	なし	【3-4】	会議体以外の審議の活用	メール報告検討
【2-1】	主たる計画作成者	委員長	【3-5】	日程調整の労力	小
【2-2】	主たる計画審議組織	委員長	【3-6】	ペーパーレス化の実現?	未達
【2-3】	主たる計画決議組織	当該委 上位委	【3-7】	会議前の資料配布	未達
【2-4】	主たる計画実行指示組織	当該委 その他	【3-8】	全学・部局委員会の連携	適切
【2-5】	主たる計画実行組織	当該委 その他	【3-9】	P D C A サイクルの実現	適切
【2-6】	計画実行の主たる点検・評価組織	当該委 上位委	【3-10】	事務職員の参加	参加
【2-7】	計画と実行の主たる比較組織	当該委 上位委	【3-11】	引き継ぎの実行	不適切
【2-8】	計画と実行の主たる乖離改善組織	当該委 上位委	【 4 】	簡素化・効率化	現状維持
【2-9】	当該委員会への主たる情報伝達は?	上位委 学科等 その他	【 5 】	見直し時の簡素化・効率化	定例開催 引き継ぎの改善
【2-10】	当該委員会からの主たる情報伝達は?	上位委 学科等 その他			

## II. 自己評価結果

尺度	尺度値
①人的コスト (人数×平均開催回数) ▶ 1-3, 1-4	3
②PDCA サイクルが回っているか? ▶ 2-1,2-2,2-3,2-4,2-5,2-6,2-7,2-8,3-9	3
③情報伝達が適切か? ▶ 2-9, 2-10, 3-2	3
④簡素化の試みが進んでいるか? ▶ 3-3, 3-4, 3-5	3
⑤効率化の試みが進んでいるか? ▶ 3-6, 3-7, 3-10, 3-11	2
⑥今後の改革意欲は? ▶ 4, 5	2



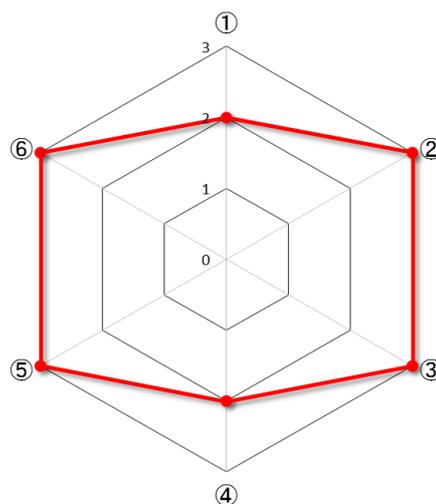
## III. コメント

## I. 自己点検項目及び回答

【1-3】	委員会構成人数	7	【3-1】	トップダウンアプローチの有無	有り
【1-4】	委員会平均開催回数	11.0	【3-2】	情報伝達は適切?	適切
【1-5】	公開の有無	資：公開 議：公開	【3-3】	委員数、開催回数、時間の削減	現状維持
【1-6】	WGの有無	有り	【3-4】	会議体以外の審議の活用	メール報告活用
【2-1】	主たる計画作成者	委員長 その他	【3-5】	日程調整の労力	大
【2-2】	主たる計画審議組織	当該委 上位委	【3-6】	ペーパーレス化の実現?	実現
【2-3】	主たる計画決議組織	当該委 上位委	【3-7】	会議前の資料配布	実現
【2-4】	主たる計画実行指示組織	当該委	【3-8】	全学・部局委員会の連携	適切
【2-5】	主たる計画実行組織	当該委 事務 その他	【3-9】	PDCAサイクルの実現	適切
【2-6】	計画実行の主たる点検・評価組織	当該委 上位委	【3-10】	事務職員の参加	不参加
【2-7】	計画と実行の主たる比較組織	当該委 上位委	【3-11】	引き継ぎの実行	適切
【2-8】	計画と実行の乖離改善組織	当該委 上位委	【 4 】	簡素化・効率化	全学委の改革
【2-9】	当該委員会への主たる情報伝達は?	上位委 学科等	【 5 】	見直し時の簡素化・効率化	メール会議 定例開催 PDCAサイクルの改善 事務職員の委員化
【2-10】	当該委員会からの主たる情報伝達は?	上位委 学科等			

## II. 自己評価結果

尺度	尺度値
①人的コスト（人数×平均開催回数） ▶ 1-3, 1-4	2
②PDCAサイクルが回っているか? ▶ 2-1,2-2,2-3,2-4,2-5,2-6,2-7,2-8,3-9	3
③情報伝達が適切か? ▶ 2-9, 2-10, 3-2	3
④簡素化の試みが進んでいるか? ▶ 3-3, 3-4, 3-5	2
⑤効率化の試みが進んでいるか? ▶ 3-6, 3-7, 3-10, 3-11	3
⑥今後の改革意欲は? ▶ 4, 5	3



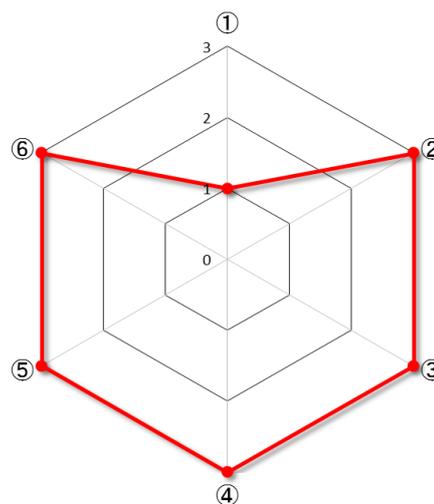
## III. コメント

## I. 自己点検項目及び回答

【1-3】	委員会構成人数	9	【3-1】	トップダウンアプローチの有無	有り
【1-4】	委員会平均開催回数	22.3	【3-2】	情報伝達は適切?	適切
【1-5】	公開の有無	議：公開	【3-3】	委員数、開催回数、時間の削減	現状維持
【1-6】	WGの有無	有り	【3-4】	会議体以外の審議の活用	メール審議活用
【2-1】	主たる計画作成者	委員長 事務	【3-5】	日程調整の労力	小
【2-2】	主たる計画審議組織	当該委 上位委	【3-6】	ペーパーレス化の実現?	実現
【2-3】	主たる計画決議組織	当該委 上位委	【3-7】	会議前の資料配布	未達
【2-4】	主たる計画実行指示組織	当該委	【3-8】	全学・部局委員会の連携	適切
【2-5】	主たる計画実行組織	当該委 事務 その他	【3-9】	PDCAサイクルの実現	適切
【2-6】	計画実行の主たる点検・評価組織	当該委 上位委	【3-10】	事務職員の参加	不参加
【2-7】	計画と実行の主たる比較組織	当該委 上位委	【3-11】	引き継ぎの実行	適切
【2-8】	計画と実行の乖離改善組織	当該委 上位委	【 4 】	簡素化・効率化	他委員会に一部移管済み
【2-9】	当該委員会への主たる情報伝達は?	上位委 学科等	【 5 】	見直し時の簡素化・効率化	資料の事前配布 事務職員の委員化
【2-10】	当該委員会からの主たる情報伝達は?	上位委 学科等			

## II. 自己評価結果

尺度	尺度値
①人的コスト（人数×平均開催回数） ▶ 1-3, 1-4	1
②PDCAサイクルが回っているか？ ▶ 2-1,2-2,2-3,2-4,2-5,2-6,2-7,2-8,3-9	3
③情報伝達が適切か？ ▶ 2-9, 2-10, 3-2	3
④簡素化の試みが進んでいるか？ ▶ 3-3, 3-4, 3-5	3
⑤効率化の試みが進んでいるか？ ▶ 3-6, 3-7, 3-10, 3-11	3
⑥今後の改革意欲は？ ▶ 4, 5	3



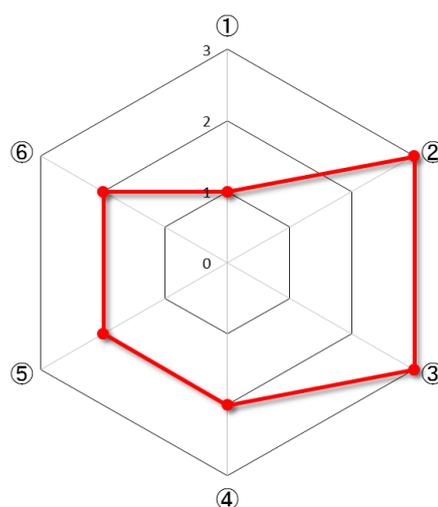
## III. コメント

## I. 自己点検項目及び回答

【1-3】	委員会構成人数	8	【3-1】	トップダウンアプローチの有無	有り
【1-4】	委員会平均開催回数	15.0	【3-2】	情報伝達は適切?	適切
【1-5】	公開の有無	議：公開	【3-3】	委員数、開催回数、時間の削減	現状維持
【1-6】	WGの有無	有り	【3-4】	会議体以外の審議の活用	現状維持
【2-1】	主たる計画作成者	その他	【3-5】	日程調整の労力	小
【2-2】	主たる計画審議組織	当該委上位委	【3-6】	ペーパーレス化の実現?	未達
【2-3】	主たる計画決議組織	当該委上位委	【3-7】	会議前の資料配布	ほぼ実現
【2-4】	主たる計画実行指示組織	その他	【3-8】	全学・部局委員会の連携	適切
【2-5】	主たる計画実行組織	その他	【3-9】	PDCAサイクルの実現	適切
【2-6】	計画実行の主たる点検・評価組織	当該委上位委	【3-10】	事務職員の参加	不参加
【2-7】	計画と実行の主たる比較組織	当該委上位委	【3-11】	引き継ぎの実行	適切
【2-8】	計画と実行の乖離改善組織	当該委上位委	【 4 】	簡素化・効率化	入試制度の現状数維持
【2-9】	当該委員会への主たる情報伝達は?	上位委学科等	【 5 】	見直し時の簡素化・効率化	執行部との関係強化 委員構成・委員数の見直し メール会議 ペーパーレス 資料の事前配布 全学委との連携強化 事務職員の委員化
【2-10】	当該委員会からの主たる情報伝達は?	上位委学科等			

## II. 自己評価結果

尺度	尺度値
①人的コスト（人数×平均開催回数） ▶ 1-3, 1-4	1
②PDCAサイクルが回っているか? ▶ 2-1,2-2,2-3,2-4,2-5,2-6,2-7,2-8,3-9	3
③情報伝達が適切か? ▶ 2-9, 2-10, 3-2	3
④簡素化の試みが進んでいるか? ▶ 3-3, 3-4, 3-5	2
⑤効率化の試みが進んでいるか? ▶ 3-6, 3-7, 3-10, 3-11	2
⑥今後の改革意欲は? ▶ 4, 5	2



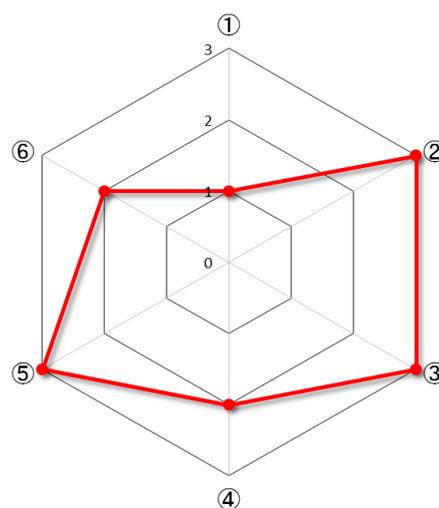
## III. コメント

## I. 自己点検項目及び回答

【1-3】	委員会構成人数	8	【3-1】	トップダウンアプローチの有無	なし
【1-4】	委員会平均開催回数	16.3	【3-2】	情報伝達は適切?	適切
【1-5】	公開の有無	資：公開 議：公開	【3-3】	委員数、開催回数、時間の削減	委員増検討
【1-6】	WGの有無	なし	【3-4】	会議体以外の審議の活用	現状維持
【2-1】	主たる計画作成者	委員長	【3-5】	日程調整の労力	小
【2-2】	主たる計画審議組織	当該委	【3-6】	ペーパーレス化の実現?	実現
【2-3】	主たる計画決議組織	当該委	【3-7】	会議前の資料配布	実現
【2-4】	主たる計画実行指示組織	当該委	【3-8】	全学・部局委員会の連携	適切
【2-5】	主たる計画実行組織	当該委	【3-9】	PDCAサイクルの実現	適切
【2-6】	計画実行の主たる点検・評価組織	当該委	【3-10】	事務職員の参加	不参加
【2-7】	計画と実行の主たる比較組織	当該委	【3-11】	引き継ぎの実行	適切
【2-8】	計画と実行の乖離改善組織	当該委	【 4 】	簡素化・効率化	
【2-9】	当該委員会への主たる情報伝達は?	上位委	【 5 】	見直し時の簡素化・効率化	執行部との関係強化 メール会議 定例開催 事務職員の委員化
【2-10】	当該委員会からの主たる情報伝達は?	上位委			

## II. 自己評価結果

尺度	尺度値
①人的コスト (人数×平均開催回数) ▶ 1-3, 1-4	1
②PDCAサイクルが回っているか? ▶ 2-1,2-2,2-3,2-4,2-5,2-6,2-7,2-8,3-9	3
③情報伝達が適切か? ▶ 2-9, 2-10, 3-2	3
④簡素化の試みが進んでいるか? ▶ 3-3, 3-4, 3-5	2
⑤効率化の試みが進んでいるか? ▶ 3-6, 3-7, 3-10, 3-11	3
⑥今後の改革意欲は? ▶ 4, 5	2



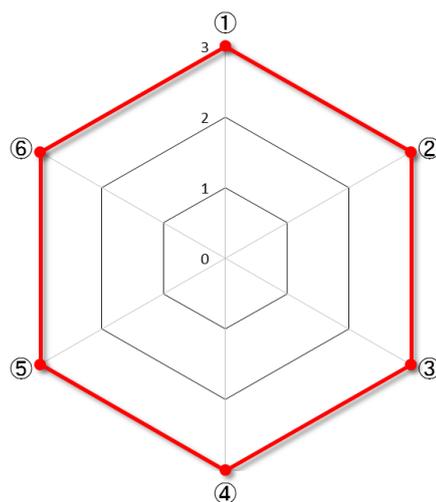
## III. コメント

## I. 自己点検項目及び回答

【1-3】	委員会構成人数	8	【3-1】	トップダウンアプローチの有無	有り
【1-4】	委員会平均開催回数	5.0	【3-2】	情報伝達は適切?	適切
【1-5】	公開の有無	議：公開	【3-3】	委員数、開催回数、時間の削減	現状維持
【1-6】	WGの有無	有り	【3-4】	会議体以外の審議の活用	現状維持
【2-1】	主たる計画作成者	委員長事務	【3-5】	日程調整の労力	大
【2-2】	主たる計画審議組織	当該委上位委	【3-6】	ペーパーレス化の実現?	実現
【2-3】	主たる計画決議組織	当該委上位委	【3-7】	会議前の資料配布	未達
【2-4】	主たる計画実行指示組織	当該委	【3-8】	全学・部局委員会の連携	適切
【2-5】	主たる計画実行組織	当該委	【3-9】	PDCAサイクルの実現	適切
【2-6】	計画実行の主たる点検・評価組織	当該委上位委	【3-10】	事務職員の参加	不参加
【2-7】	計画と実行の主たる比較組織	当該委上位委	【3-11】	引き継ぎの実行	適切
【2-8】	計画と実行の主たる乖離改善組織	当該委上位委	【4】	簡素化・効率化	検討中
【2-9】	当該委員会への主たる情報伝達は?	上位委	【5】	見直し時の簡素化・効率化	資料の事前配布
【2-10】	当該委員会からの主たる情報伝達は?	学科等			

## II. 自己評価結果

尺度	尺度値
①人的コスト（人数×平均開催回数） ▶ 1-3, 1-4	3
②PDCAサイクルが回っているか？ ▶ 2-1,2-2,2-3,2-4,2-5,2-6,2-7,2-8,3-9	3
③情報伝達が適切か？ ▶ 2-9, 2-10, 3-2	3
④簡素化の試みが進んでいるか？ ▶ 3-3, 3-4, 3-5	3
⑤効率化の試みが進んでいるか？ ▶ 3-6, 3-7, 3-10, 3-11	3
⑥今後の改革意欲は？ ▶ 4, 5	3



## III. コメント

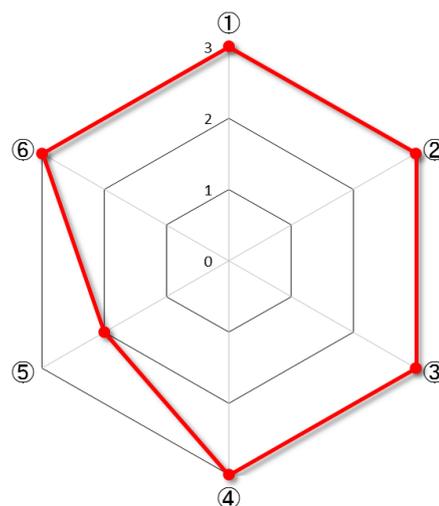
委員会名称：[情] 委員長会

## I. 自己点検項目及び回答

【1-3】	委員会構成人数	11	【3-1】	トップダウンアプローチの有無	有り
【1-4】	委員会平均開催回数	2.3	【3-2】	情報伝達は適切?	適切
【1-5】	公開の有無	議：公開	【3-3】	委員数、開催回数、時間の削減	現状維持
【1-6】	WGの有無	なし	【3-4】	会議体以外の審議の活用	現状維持
【2-1】	主たる計画作成者	委員長	【3-5】	日程調整の労力	小
【2-2】	主たる計画審議組織	当該委	【3-6】	ペーパーレス化の実現?	未達
【2-3】	主たる計画決議組織	当該委	【3-7】	会議前の資料配布	未達
【2-4】	主たる計画実行指示組織	当該委	【3-8】	全学・部局委員会の連携	該当なし
【2-5】	主たる計画実行組織	当該委	【3-9】	PDCAサイクルの実現	適切
【2-6】	計画実行の主たる点検・評価組織	当該委	【3-10】	事務職員の参加	不参加
【2-7】	計画と実行の主たる比較組織	当該委	【3-11】	引き継ぎの実行	適切
【2-8】	計画と実行の乖離改善組織	当該委	【 4 】	簡素化・効率化	検討中
【2-9】	当該委員会への主たる情報伝達は?	任命者	【 5 】	見直し時の簡素化・効率化	情報伝達、情報共有の促進 ペーパーレス
【2-10】	当該委員会からの主たる情報伝達は?	その他			

## II. 自己評価結果

尺度	尺度値
①人的コスト（人数×平均開催回数） ▶ 1-3, 1-4	3
②PDCAサイクルが回っているか？ ▶ 2-1,2-2,2-3,2-4,2-5,2-6,2-7,2-8,3-9	3
③情報伝達が適切か？ ▶ 2-9, 2-10, 3-2	3
④簡素化の試みが進んでいるか？ ▶ 3-3, 3-4, 3-5	3
⑤効率化の試みが進んでいるか？ ▶ 3-6, 3-7, 3-10, 3-11	2
⑥今後の改革意欲は？ ▶ 4, 5	3



## III. コメント

## I. 自己点検項目及び回答

【1-3】	委員会構成人数	6	【3-1】	トップダウンアプローチの有無	有り
【1-4】	委員会平均開催回数	6.0	【3-2】	情報伝達は適切?	適切
【1-5】	公開の有無	非公開	【3-3】	委員数、開催回数、時間の削減	現状維持
【1-6】	WGの有無	なし	【3-4】	会議体以外の審議の活用	現状維持
【2-1】	主たる計画作成者	該当なし	【3-5】	日程調整の労力	小
【2-2】	主たる計画審議組織	該当なし	【3-6】	ペーパーレス化の実現?	未達
【2-3】	主たる計画決議組織	該当なし	【3-7】	会議前の資料配布	未達
【2-4】	主たる計画実行指示組織	該当なし	【3-8】	全学・部局委員会の連携	該当なし
【2-5】	主たる計画実行組織	該当なし	【3-9】	PDCAサイクルの実現	該当なし
【2-6】	計画実行の主たる点検・評価組織	該当なし	【3-10】	事務職員の参加	不参加
【2-7】	計画と実行の主たる比較組織	該当なし	【3-11】	引き継ぎの実行	適切
【2-8】	計画と実行の乖離改善組織	該当なし	【 4 】	簡素化・効率化	
【2-9】	当該委員会への主たる情報伝達は?	該当なし	【 5 】	見直し時の簡素化・効率化	ペーパーレス
【2-10】	当該委員会からの主たる情報伝達は?	該当なし			

## II. 自己評価結果

尺度	尺度値
①人的コスト (人数×平均開催回数) ▶ 1-3, 1-4	3
②PDCAサイクルが回っているか? ▶ 2-1,2-2,2-3,2-4,2-5,2-6,2-7,2-8,3-9	
③情報伝達が適切か? ▶ 2-9, 2-10, 3-2	3
④簡素化の試みが進んでいるか? ▶ 3-3, 3-4, 3-5	3
⑤効率化の試みが進んでいるか? ▶ 3-6, 3-7, 3-10, 3-11	2
⑥今後の改革意欲は? ▶ 4, 5	2

## III. コメント

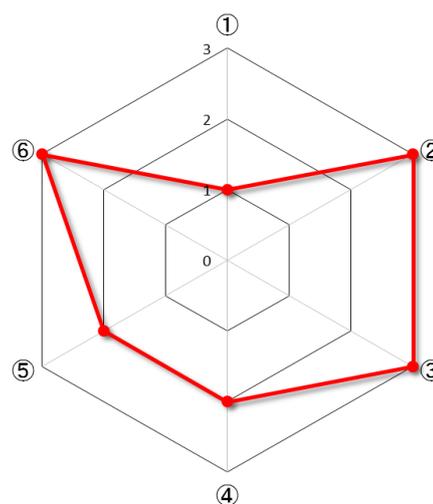
②該当せず

## I. 自己点検項目及び回答

【1-3】	委員会構成人数	10	【3-1】	トップダウンアプローチの有無	有り
【1-4】	委員会平均開催回数	11.3	【3-2】	情報伝達は適切?	適切
【1-5】	公開の有無	議：公開	【3-3】	委員数、開催回数、時間の削減	現状維持
【1-6】	WGの有無	なし	【3-4】	会議体以外の審議の活用	現状維持
【2-1】	主たる計画作成者	委員長	【3-5】	日程調整の労力	大
【2-2】	主たる計画審議組織	当該委上位委	【3-6】	ペーパーレス化の実現?	未達
【2-3】	主たる計画決議組織	当該委上位委	【3-7】	会議前の資料配布	未達
【2-4】	主たる計画実行指示組織	当該委	【3-8】	全学・部局委員会の連携	該当なし
【2-5】	主たる計画実行組織	当該委	【3-9】	PDCAサイクルの実現	適切
【2-6】	計画実行の主たる点検・評価組織	当該委上位委	【3-10】	事務職員の参加	不参加
【2-7】	計画と実行の主たる比較組織	当該委	【3-11】	引き継ぎの実行	適切
【2-8】	計画と実行の主たる乖離改善組織	当該委上位委	【 4 】	簡素化・効率化	検討中
【2-9】	当該委員会への主たる情報伝達は?	学科等	【 5 】	見直し時の簡素化・効率化	
【2-10】	当該委員会からの主たる情報伝達は?	学科等			

## II. 自己評価結果

尺度	尺度値
①人的コスト (人数×平均開催回数) ▶ 1-3, 1-4	1
②PDCAサイクルが回っているか? ▶ 2-1,2-2,2-3,2-4,2-5,2-6,2-7,2-8,3-9	3
③情報伝達が適切か? ▶ 2-9, 2-10, 3-2	3
④簡素化の試みが進んでいるか? ▶ 3-3, 3-4, 3-5	2
⑤効率化の試みが進んでいるか? ▶ 3-6, 3-7, 3-10, 3-11	2
⑥今後の改革意欲は? ▶ 4, 5	3



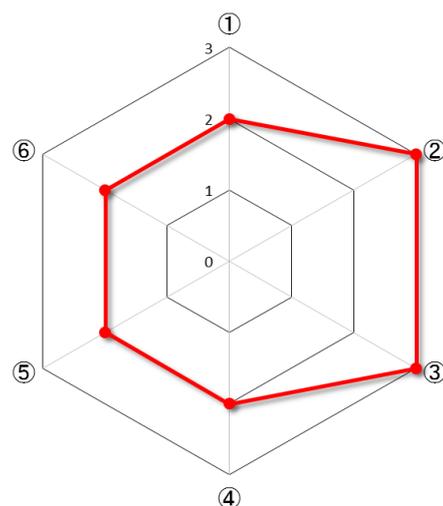
## III. コメント

## I. 自己点検項目及び回答

【1-3】	委員会構成人数	6	【3-1】	トップダウンアプローチの有無	有り
【1-4】	委員会平均開催回数	11.0	【3-2】	情報伝達は適切?	適切
【1-5】	公開の有無	議：公開	【3-3】	委員数、開催回数、時間の削減	現状維持
【1-6】	WGの有無	なし	【3-4】	会議体以外の審議の活用	現状維持
【2-1】	主たる計画作成者	委員長	【3-5】	日程調整の労力	大
【2-2】	主たる計画審議組織	その他	【3-6】	ペーパーレス化の実現?	未達
【2-3】	主たる計画決議組織	その他	【3-7】	会議前の資料配布	一部実現
【2-4】	主たる計画実行指示組織	その他	【3-8】	全学・部局委員会の連携	適切
【2-5】	主たる計画実行組織	その他	【3-9】	PDCAサイクルの実現	適切
【2-6】	計画実行の主たる点検・評価組織	その他	【3-10】	事務職員の参加	不参加
【2-7】	計画と実行の主たる比較組織	その他	【3-11】	引き継ぎの実行	適切
【2-8】	計画と実行の主たる乖離改善組織	その他	【 4 】	簡素化・効率化	広報スタッフの充実
【2-9】	当該委員会への主たる情報伝達は?	その他	【 5 】	見直し時の簡素化・効率化	定例開催 ペーパーレス 資料の事前配布
【2-10】	当該委員会からの主たる情報伝達は?	その他			

## II. 自己評価結果

尺度	尺度値
①人的コスト（人数×平均開催回数） ▶ 1-3, 1-4	2
②PDCAサイクルが回っているか？ ▶ 2-1,2-2,2-3,2-4,2-5,2-6,2-7,2-8,3-9	3
③情報伝達が適切か？ ▶ 2-9, 2-10, 3-2	3
④簡素化の試みが進んでいるか？ ▶ 3-3, 3-4, 3-5	2
⑤効率化の試みが進んでいるか？ ▶ 3-6, 3-7, 3-10, 3-11	2
⑥今後の改革意欲は？ ▶ 4, 5	2



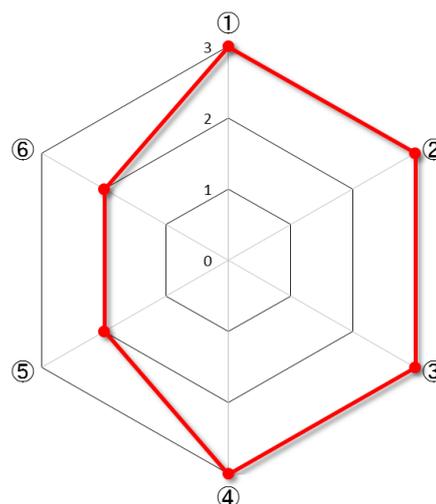
## III. コメント

## I. 自己点検項目及び回答

【1-3】	委員会構成人数	6	【3-1】	トップダウンアプローチの有無	有り
【1-4】	委員会平均開催回数	0.7	【3-2】	情報伝達は適切?	適切
【1-5】	公開の有無	非公開	【3-3】	委員数、開催回数、時間の削減	現状維持
【1-6】	WGの有無	有り	【3-4】	会議体以外の審議の活用	現状維持
【2-1】	主たる計画作成者	委員長	【3-5】	日程調整の労力	小
【2-2】	主たる計画審議組織	当該委上位委	【3-6】	ペーパーレス化の実現?	未達
【2-3】	主たる計画決議組織	当該委上位委	【3-7】	会議前の資料配布	未達
【2-4】	主たる計画実行指示組織	当該委	【3-8】	全学・部局委員会の連携	適切
【2-5】	主たる計画実行組織	当該委	【3-9】	PDCAサイクルの実現	適切
【2-6】	計画実行の主たる点検・評価組織	当該委上位委	【3-10】	事務職員の参加	参加
【2-7】	計画と実行の主たる比較組織	当該委上位委	【3-11】	引き継ぎの実行	該当なし
【2-8】	計画と実行の乖離改善組織	当該委上位委	【 4 】	簡素化・効率化	委員会廃止予定
【2-9】	当該委員会への主たる情報伝達は?	上位委	【 5 】	見直し時の簡素化・効率化	資料の事前配布
【2-10】	当該委員会からの主たる情報伝達は?	その他			

## II. 自己評価結果

尺度	尺度値
①人的コスト (人数×平均開催回数) ▶ 1-3, 1-4	3
②PDCAサイクルが回っているか? ▶ 2-1,2-2,2-3,2-4,2-5,2-6,2-7,2-8,3-9	3
③情報伝達が適切か? ▶ 2-9, 2-10, 3-2	3
④簡素化の試みが進んでいるか? ▶ 3-3, 3-4, 3-5	3
⑤効率化の試みが進んでいるか? ▶ 3-6, 3-7, 3-10, 3-11	2
⑥今後の改革意欲は? ▶ 4, 5	2



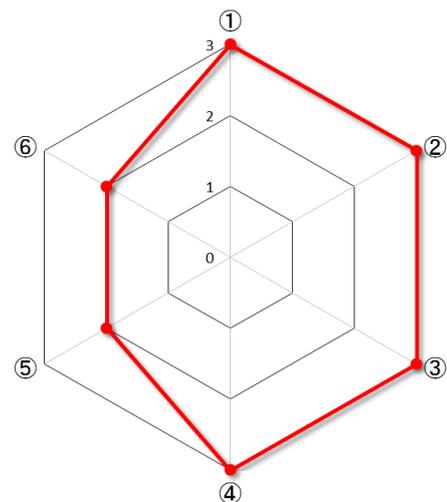
## III. コメント

### I. 自己点検項目及び回答

【1-3】	委員会構成人数	3	【3-1】	トップダウンアプローチの有無	有り
【1-4】	委員会平均開催回数	6.0	【3-2】	情報伝達は適切?	適切
【1-5】	公開の有無	非公開	【3-3】	委員数、開催回数、時間の削減	現状維持
【1-6】	WGの有無	なし	【3-4】	会議体以外の審議の活用	メール審議活用
【2-1】	主たる計画作成者	委員長	【3-5】	日程調整の労力	小
【2-2】	主たる計画審議組織	当該委	【3-6】	ペーパーレス化の実現?	実現
【2-3】	主たる計画決議組織	当該委	【3-7】	会議前の資料配布	実現
【2-4】	主たる計画実行指示組織	当該委	【3-8】	全学・部局委員会の連携	適切
【2-5】	主たる計画実行組織	当該委	【3-9】	PDCAサイクルの実現	適切
【2-6】	計画実行の主たる点検・評価組織	当該委	【3-10】	事務職員の参加	不参加
【2-7】	計画と実行の主たる比較組織	当該委	【3-11】	引き継ぎの実行	適切
【2-8】	計画と実行の乖離改善組織	当該委	【 4 】	簡素化・効率化	
【2-9】	当該委員会への主たる情報伝達は?	上位委	【 5 】	見直し時の簡素化・効率化	
【2-10】	当該委員会からの主たる情報伝達は?	上位委			

### II. 自己評価結果

尺度	尺度値
①人的コスト (人数×平均開催回数) ▶ 1-3, 1-4	3
②PDCAサイクルが回っているか? ▶ 2-1,2-2,2-3,2-4,2-5,2-6,2-7,2-8,3-9	3
③情報伝達が適切か? ▶ 2-9, 2-10, 3-2	3
④簡素化の試みが進んでいるか? ▶ 3-3, 3-4, 3-5	3
⑤効率化の試みが進んでいるか? ▶ 3-6, 3-7, 3-10, 3-11	2
⑥今後の改革意欲は? ▶ 4, 5	2



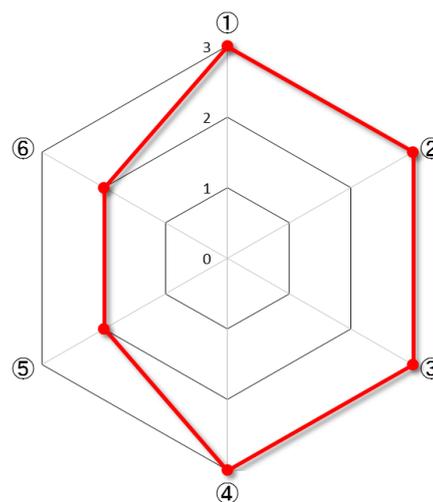
### III. コメント

## I. 自己点検項目及び回答

【1-3】	委員会構成人数	6	【3-1】	トップダウンアプローチの有無	有り
【1-4】	委員会平均開催回数	2.7	【3-2】	情報伝達は適切?	適切
【1-5】	公開の有無	非公開	【3-3】	委員数、開催回数、時間の削減	現状維持
【1-6】	WGの有無	なし	【3-4】	会議体以外の審議の活用	現状維持
【2-1】	主たる計画作成者	委員長事務	【3-5】	日程調整の労力	小
【2-2】	主たる計画審議組織	当該委上位委	【3-6】	ペーパーレス化の実現?	未達
【2-3】	主たる計画決議組織	当該委上位委	【3-7】	会議前の資料配布	未達
【2-4】	主たる計画実行指示組織	当該委	【3-8】	全学・部局委員会の連携	適切
【2-5】	主たる計画実行組織	当該委	【3-9】	PDCAサイクルの実現	適切
【2-6】	計画実行の主たる点検・評価組織	当該委上位委	【3-10】	事務職員の参加	参加
【2-7】	計画と実行の主たる比較組織	当該委上位委	【3-11】	引き継ぎの実行	該当なし
【2-8】	計画と実行の主たる乖離改善組織	当該委上位委	【 4 】	簡素化・効率化	現状維持
【2-9】	当該委員会への主たる情報伝達は?	上位委	【 5 】	見直し時の簡素化・効率化	資料の事前配布
【2-10】	当該委員会からの主たる情報伝達は?	上位委			

## II. 自己評価結果

尺度	尺度値
①人的コスト（人数×平均開催回数） ▶ 1-3, 1-4	3
②PDCAサイクルが回っているか？ ▶ 2-1,2-2,2-3,2-4,2-5,2-6,2-7,2-8,3-9	3
③情報伝達が適切か？ ▶ 2-9, 2-10, 3-2	3
④簡素化の試みが進んでいるか？ ▶ 3-3, 3-4, 3-5	3
⑤効率化の試みが進んでいるか？ ▶ 3-6, 3-7, 3-10, 3-11	2
⑥今後の改革意欲は？ ▶ 4, 5	2



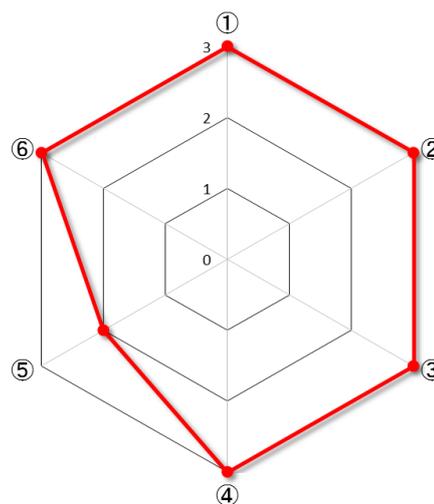
## III. コメント

## I. 自己点検項目及び回答

【1-3】	委員会構成人数	8	【3-1】	トップダウンアプローチの有無	有り
【1-4】	委員会平均開催回数	4.0	【3-2】	情報伝達は適切?	適切
【1-5】	公開の有無	議：公開	【3-3】	委員数、開催回数、時間の削減	現状維持
【1-6】	WGの有無	有り	【3-4】	会議体以外の審議の活用	メール審議活用
【2-1】	主たる計画作成者	委員長 各委員 事務	【3-5】	日程調整の労力	大
【2-2】	主たる計画審議組織	当該委 上位委	【3-6】	ペーパーレス化の実現?	未達
【2-3】	主たる計画決議組織	当該委 上位委	【3-7】	会議前の資料配布	未達
【2-4】	主たる計画実行指示組織	当該委 その他	【3-8】	全学・部局委員会の連携	該当なし
【2-5】	主たる計画実行組織	当該委 その他	【3-9】	PDCAサイクルの実現	適切
【2-6】	計画実行の主たる点検・評価組織	当該委 上位委	【3-10】	事務職員の参加	参加
【2-7】	計画と実行の主たる比較組織	当該委 その他	【3-11】	引き継ぎの実行	適切
【2-8】	計画と実行の乖離改善組織	当該委 その他	【 4 】	簡素化・効率化	メール審議拡大など
【2-9】	当該委員会への主たる情報伝達は?	上位委 学科等	【 5 】	見直し時の簡素化・効率化	メール会議
【2-10】	当該委員会からの主たる情報伝達は?	上位委 学科等 その他			

## II. 自己評価結果

尺度	尺度値
①人的コスト（人数×平均開催回数） ▶ 1-3, 1-4	3
②PDCAサイクルが回っているか？ ▶ 2-1,2-2,2-3,2-4,2-5,2-6,2-7,2-8,3-9	3
③情報伝達が適切か？ ▶ 2-9, 2-10, 3-2	3
④簡素化の試みが進んでいるか？ ▶ 3-3, 3-4, 3-5	3
⑤効率化の試みが進んでいるか？ ▶ 3-6, 3-7, 3-10, 3-11	2
⑥今後の改革意欲は？ ▶ 4, 5	3



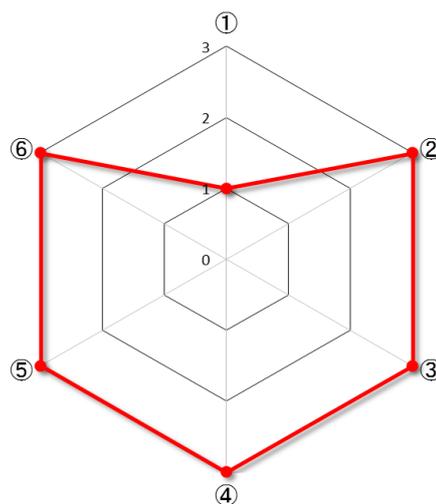
## III. コメント

## I. 自己点検項目及び回答

【1-3】	委員会構成人数	6	【3-1】	トップダウンアプローチの有無	有り
【1-4】	委員会平均開催回数	1.7	【3-2】	情報伝達は適切?	適切
【1-5】	公開の有無	非公開	【3-3】	委員数、開催回数、時間の削減	現状維持
【1-6】	WGの有無	なし	【3-4】	会議体以外の審議の活用	メール審議活用
【2-1】	主たる計画作成者	その他	【3-5】	日程調整の労力	小
【2-2】	主たる計画審議組織	その他	【3-6】	ペーパーレス化の実現?	実現
【2-3】	主たる計画決議組織	その他	【3-7】	会議前の資料配布	実現
【2-4】	主たる計画実行指示組織	その他	【3-8】	全学・部局委員会の連携	適切
【2-5】	主たる計画実行組織	その他	【3-9】	PDCAサイクルの実現	適切
【2-6】	計画実行の主たる点検・評価組織	その他	【3-10】	事務職員の参加	不参加
【2-7】	計画と実行の主たる比較組織	その他	【3-11】	引き継ぎの実行	適切
【2-8】	計画と実行の主たる乖離改善組織	その他	【 4 】	簡素化・効率化	外部有識者の活用
【2-9】	当該委員会への主たる情報伝達は?	その他	【 5 】	見直し時の簡素化・効率化	
【2-10】	当該委員会からの主たる情報伝達は?	その他			

## II. 自己評価結果

尺度	尺度値
①人的コスト (人数×平均開催回数) ▶ 1-3, 1-4	1
②PDCAサイクルが回っているか? ▶ 2-1,2-2,2-3,2-4,2-5,2-6,2-7,2-8,3-9	3
③情報伝達が適切か? ▶ 2-9, 2-10, 3-2	3
④簡素化の試みが進んでいるか? ▶ 3-3, 3-4, 3-5	3
⑤効率化の試みが進んでいるか? ▶ 3-6, 3-7, 3-10, 3-11	3
⑥今後の改革意欲は? ▶ 4, 5	3



## III. コメント

## I. 自己点検項目及び回答

【1-3】	委員会構成人数	5	【3-1】	トップダウンアプローチの有無	有り
【1-4】	委員会平均開催回数	0 ※新設委	【3-2】	情報伝達は適切?	適切
【1-5】	公開の有無	非公開	【3-3】	委員数、開催回数、時間の削減	現状維持
【1-6】	WGの有無	なし	【3-4】	会議体以外の審議の活用	現状維持
【2-1】	主たる計画作成者	該当なし	【3-5】	日程調整の労力	小
【2-2】	主たる計画審議組織	該当なし	【3-6】	ペーパーレス化の実現?	未達
【2-3】	主たる計画決議組織	該当なし	【3-7】	会議前の資料配布	未達
【2-4】	主たる計画実行指示組織	該当なし	【3-8】	全学・部局委員会の連携	該当なし
【2-5】	主たる計画実行組織	該当なし	【3-9】	PDCAサイクルの実現	該当なし
【2-6】	計画実行の主たる点検・評価組織	該当なし	【3-10】	事務職員の参加	参加
【2-7】	計画と実行の主たる比較組織	該当なし	【3-11】	引き継ぎの実行	適切
【2-8】	計画と実行の乖離改善組織	該当なし	【 4 】	簡素化・効率化	
【2-9】	当該委員会への主たる情報伝達は?	該当なし	【 5 】	見直し時の簡素化・効率化	ペーパーレス資料の事前配布
【2-10】	当該委員会からの主たる情報伝達は?	該当なし			

## II. 自己評価結果

尺度	尺度値
①人的コスト (人数×平均開催回数) ▶ 1-3, 1-4	
②PDCAサイクルが回っているか? ▶ 2-1,2-2,2-3,2-4,2-5,2-6,2-7,2-8,3-9	
③情報伝達が適切か? ▶ 2-9, 2-10, 3-2	
④簡素化の試みが進んでいるか? ▶ 3-3, 3-4, 3-5	
⑤効率化の試みが進んでいるか? ▶ 3-6, 3-7, 3-10, 3-11	
⑥今後の改革意欲は? ▶ 4, 5	

## III. コメント

※新設

②該当せず

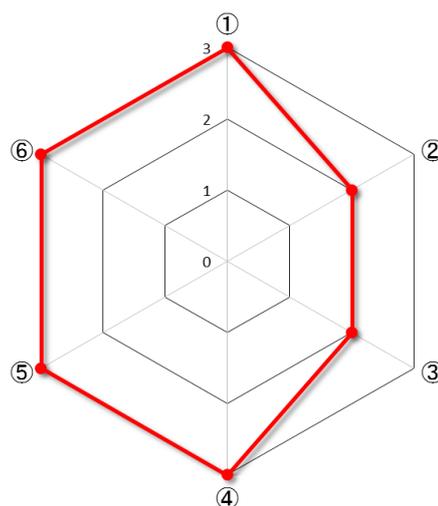
③～⑥開催なし

## I. 自己点検項目及び回答

【1-3】	委員会構成人数	7	【3-1】	トップダウンアプローチの有無	ほぼ有り
【1-4】	委員会平均開催回数	3.0	【3-2】	情報伝達は適切?	不適切
【1-5】	公開の有無	資：公開	【3-3】	委員数、開催回数、時間の削減	現状維持
【1-6】	WGの有無	なし	【3-4】	会議体以外の審議の活用	メール審議活用
【2-1】	主たる計画作成者	委員長各委員	【3-5】	日程調整の労力	大
【2-2】	主たる計画審議組織	当該委	【3-6】	ペーパーレス化の実現?	実現
【2-3】	主たる計画決議組織	当該委	【3-7】	会議前の資料配布	実現
【2-4】	主たる計画実行指示組織	当該委	【3-8】	全学・部局委員会の連携	該当なし
【2-5】	主たる計画実行組織	当該委事務	【3-9】	P D C A サイクルの実現	適切
【2-6】	計画実行の主たる点検・評価組織	当該委	【3-10】	事務職員の参加	不参加
【2-7】	計画と実行の主たる比較組織	当該委	【3-11】	引き継ぎの実行	適切
【2-8】	計画と実行の主たる乖離改善組織	当該委	【 4 】	簡素化・効率化	意思決定、情報伝達等の改善
【2-9】	当該委員会への主たる情報伝達は?	学科等	【 5 】	見直し時の簡素化・効率化	情報伝達、情報共有の促進
【2-10】	当該委員会からの主たる情報伝達は?	学科等			

## II. 自己評価結果

尺度	尺度値
①人的コスト (人数×平均開催回数) ▶ 1-3, 1-4	3
②PDCA サイクルが回っているか? ▶ 2-1,2-2,2-3,2-4,2-5,2-6,2-7,2-8,3-9	2
③情報伝達が適切か? ▶ 2-9, 2-10, 3-2	2
④簡素化の試みが進んでいるか? ▶ 3-3, 3-4, 3-5	3
⑤効率化の試みが進んでいるか? ▶ 3-6, 3-7, 3-10, 3-11	3
⑥今後の改革意欲は? ▶ 4, 5	3



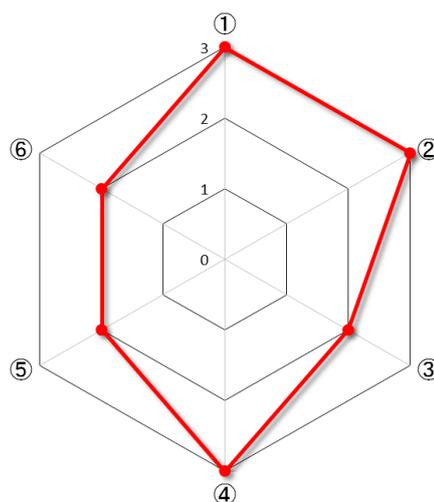
## III. コメント

## I. 自己点検項目及び回答

【1-3】	委員会構成人数	6	【3-1】	トップダウンアプローチの有無	有り
【1-4】	委員会平均開催回数	5.3	【3-2】	情報伝達は適切?	不適切
【1-5】	公開の有無	議：公開	【3-3】	委員数、開催回数、時間の削減	現状維持
【1-6】	WGの有無	有り	【3-4】	会議体以外の審議の活用	メール審議活用
【2-1】	主たる計画作成者	委員長 その他	【3-5】	日程調整の労力	大
【2-2】	主たる計画審議組織	当該委 その他	【3-6】	ペーパーレス化の実現?	未達
【2-3】	主たる計画決議組織	当該委 その他	【3-7】	会議前の資料配布	未達
【2-4】	主たる計画実行指示組織	当該委 その他	【3-8】	全学・部局委員会の連携	該当なし
【2-5】	主たる計画実行組織	その他	【3-9】	P D C A サイクルの実現	ほぼ適切
【2-6】	計画実行の主たる点検・評価組織	当該委 その他	【3-10】	事務職員の参加	不参加
【2-7】	計画と実行の主たる比較組織	当該委 その他	【3-11】	引き継ぎの実行	適切
【2-8】	計画と実行の主たる乖離改善組織	当該委 その他	【 4 】	簡素化・効率化	
【2-9】	当該委員会への主たる情報伝達は?	上位委 学科等	【 5 】	見直し時の簡素化・効率化	情報伝達、情報共有の促進 ペーパーレス 資料の事前配布
【2-10】	当該委員会からの主たる情報伝達は?	上位委 学科等			

## II. 自己評価結果

尺度	尺度値
①人的コスト (人数×平均開催回数) ▶ 1-3, 1-4	3
②PDCA サイクルが回っているか? ▶ 2-1,2-2,2-3,2-4,2-5,2-6,2-7,2-8,3-9	3
③情報伝達が適切か? ▶ 2-9, 2-10, 3-2	2
④簡素化の試みが進んでいるか? ▶ 3-3, 3-4, 3-5	3
⑤効率化の試みが進んでいるか? ▶ 3-6, 3-7, 3-10, 3-11	2
⑥今後の改革意欲は? ▶ 4, 5	2



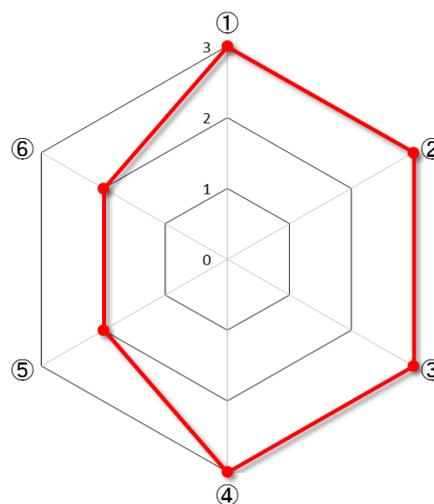
## III. コメント

## I. 自己点検項目及び回答

【1-3】	委員会構成人数	6	【3-1】	トップダウンアプローチの有無	有り
【1-4】	委員会平均開催回数	3.0	【3-2】	情報伝達は適切?	適切
【1-5】	公開の有無	非公開	【3-3】	委員数、開催回数、時間の削減	現状維持
【1-6】	WGの有無	なし	【3-4】	会議体以外の審議の活用	現状維持
【2-1】	主たる計画作成者	委員長事務	【3-5】	日程調整の労力	小
【2-2】	主たる計画審議組織	当該委	【3-6】	ペーパーレス化の実現?	未達
【2-3】	主たる計画決議組織	当該委	【3-7】	会議前の資料配布	実現
【2-4】	主たる計画実行指示組織	当該委	【3-8】	全学・部局委員会の連携	該当なし
【2-5】	主たる計画実行組織	当該委	【3-9】	PDCAサイクルの実現	適切
【2-6】	計画実行の主たる点検・評価組織	当該委	【3-10】	事務職員の参加	不参加
【2-7】	計画と実行の主たる比較組織	当該委	【3-11】	引き継ぎの実行	適切
【2-8】	計画と実行の乖離改善組織	当該委	【 4 】	簡素化・効率化	
【2-9】	当該委員会への主たる情報伝達は?	学科等	【 5 】	見直し時の簡素化・効率化	
【2-10】	当該委員会からの主たる情報伝達は?	学科等			

## II. 自己評価結果

尺度	尺度値
①人的コスト（人数×平均開催回数） ▶ 1-3, 1-4	3
②PDCAサイクルが回っているか？ ▶ 2-1,2-2,2-3,2-4,2-5,2-6,2-7,2-8,3-9	3
③情報伝達が適切か？ ▶ 2-9, 2-10, 3-2	3
④簡素化の試みが進んでいるか？ ▶ 3-3, 3-4, 3-5	3
⑤効率化の試みが進んでいるか？ ▶ 3-6, 3-7, 3-10, 3-11	2
⑥今後の改革意欲は？ ▶ 4, 5	2



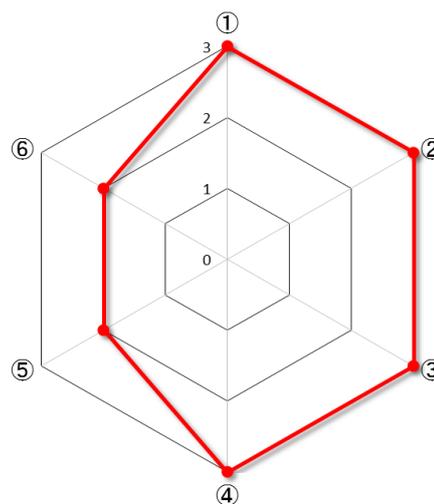
## III. コメント

## I. 自己点検項目及び回答

【1-3】	委員会構成人数	8	【3-1】	トップダウンアプローチの有無	該当なし
【1-4】	委員会平均開催回数	1.7	【3-2】	情報伝達は適切?	適切
【1-5】	公開の有無	議：公開	【3-3】	委員数、開催回数、時間の削減	現状維持
【1-6】	WGの有無	なし	【3-4】	会議体以外の審議の活用	メール審議活用
【2-1】	主たる計画作成者	委員長	【3-5】	日程調整の労力	大
【2-2】	主たる計画審議組織	当該委 上位委	【3-6】	ペーパーレス化の実現?	未達
【2-3】	主たる計画決議組織	当該委 上位委	【3-7】	会議前の資料配布	未達
【2-4】	主たる計画実行指示組織	当該委	【3-8】	全学・部局委員会の連携	該当なし
【2-5】	主たる計画実行組織	当該委 事務 その他	【3-9】	PDCAサイクルの実現	適切
【2-6】	計画実行の主たる点検・評価組織	当該委 上位委	【3-10】	事務職員の参加	不参加
【2-7】	計画と実行の主たる比較組織	当該委 上位委	【3-11】	引き継ぎの実行	適切
【2-8】	計画と実行の主たる乖離改善組織	当該委 上位委	【 4 】	簡素化・効率化	
【2-9】	当該委員会への主たる情報伝達は?	上位委 学科等	【 5 】	見直し時の簡素化・効率化	情報伝達、情報共有の促進 ペーパーレス 資料の事前配布 引き継ぎの改善 組織体制の見直し
【2-10】	当該委員会からの主たる情報伝達は?	学科等			

## II. 自己評価結果

尺度	尺度値
①人的コスト (人数×平均開催回数) ▶ 1-3, 1-4	3
②PDCAサイクルが回っているか? ▶ 2-1,2-2,2-3,2-4,2-5,2-6,2-7,2-8,3-9	3
③情報伝達が適切か? ▶ 2-9, 2-10, 3-2	3
④簡素化の試みが進んでいるか? ▶ 3-3, 3-4, 3-5	3
⑤効率化の試みが進んでいるか? ▶ 3-6, 3-7, 3-10, 3-11	2
⑥今後の改革意欲は? ▶ 4, 5	2



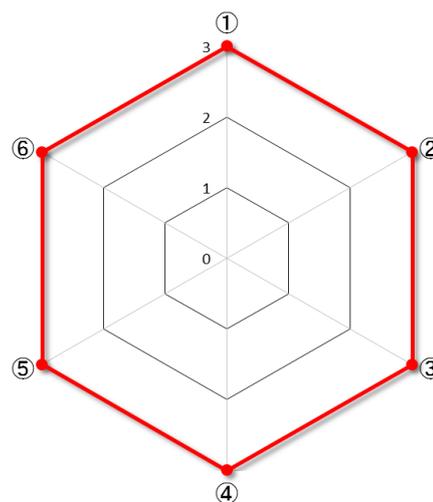
## III. コメント

## I. 自己点検項目及び回答

【1-3】	委員会構成人数	8	【3-1】	トップダウンアプローチの有無	有り
【1-4】	委員会平均開催回数	5.7	【3-2】	情報伝達は適切?	適切
【1-5】	公開の有無	資：公開	【3-3】	委員数、開催回数、時間の削減	現状維持
【1-6】	WGの有無	なし	【3-4】	会議体以外の審議の活用	メール審議活用
【2-1】	主たる計画作成者	委員長	【3-5】	日程調整の労力	大
【2-2】	主たる計画審議組織	当該委上位委	【3-6】	ペーパーレス化の実現?	実現
【2-3】	主たる計画決議組織	当該委上位委	【3-7】	会議前の資料配布	実現
【2-4】	主たる計画実行指示組織	当該委事務	【3-8】	全学・部局委員会の連携	該当なし
【2-5】	主たる計画実行組織	当該委事務 その他	【3-9】	P D C A サイクルの実現	適切
【2-6】	計画実行の主たる点検・評価組織	当該委上位委	【3-10】	事務職員の参加	不参加
【2-7】	計画と実行の主たる比較組織	当該委上位委	【3-11】	引き継ぎの実行	適切
【2-8】	計画と実行の乖離改善組織	当該委上位委	【 4 】	簡素化・効率化	意思決定、情報伝達等の改善
【2-9】	当該委員会への主たる情報伝達は?	上位委 学科等	【 5 】	見直し時の簡素化・効率化	
【2-10】	当該委員会からの主たる情報伝達は?	学科等			

## II. 自己評価結果

尺度	尺度値
①人的コスト (人数×平均開催回数) ▶ 1-3, 1-4	3
②PDCA サイクルが回っているか? ▶ 2-1,2-2,2-3,2-4,2-5,2-6,2-7,2-8,3-9	3
③情報伝達が適切か? ▶ 2-9, 2-10, 3-2	3
④簡素化の試みが進んでいるか? ▶ 3-3, 3-4, 3-5	3
⑤効率化の試みが進んでいるか? ▶ 3-6, 3-7, 3-10, 3-11	3
⑥今後の改革意欲は? ▶ 4, 5	3



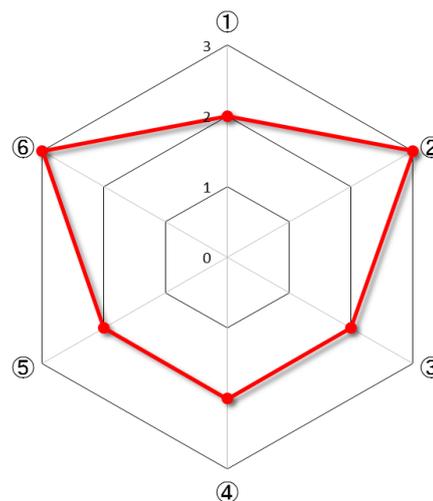
## III. コメント

## I. 自己点検項目及び回答

【1-3】	委員会構成人数	8	【3-1】	トップダウンアプローチの有無	有り
【1-4】	委員会平均開催回数	12.0	【3-2】	情報伝達は適切?	適切
【1-5】	公開の有無	非公開	【3-3】	委員数、開催回数、時間の削減	現状維持
【1-6】	WGの有無	なし	【3-4】	会議体以外の審議の活用	現状維持
【2-1】	主たる計画作成者	委員長	【3-5】	日程調整の労力	小
【2-2】	主たる計画審議組織	当該委 上位委	【3-6】	ペーパーレス化の実現?	未達
【2-3】	主たる計画決議組織	当該委	【3-7】	会議前の資料配布	未達
【2-4】	主たる計画実行指示組織	当該委	【3-8】	全学・部局委員会の連携	該当なし
【2-5】	主たる計画実行組織	当該委	【3-9】	PDCAサイクルの実現	適切
【2-6】	計画実行の主たる点検・評価組織	当該委 上位委	【3-10】	事務職員の参加	参加
【2-7】	計画と実行の主たる比較組織	当該委 上位委	【3-11】	引き継ぎの実行	適切
【2-8】	計画と実行の主たる乖離改善組織	当該委 上位委	【 4 】	簡素化・効率化	情報端末の普及
【2-9】	当該委員会への主たる情報伝達は?	上位委	【 5 】	見直し時の簡素化・効率化	資料の事前配布
【2-10】	当該委員会からの主たる情報伝達は?	上位委			

## II. 自己評価結果

尺度	尺度値
①人的コスト（人数×平均開催回数） ▶ 1-3, 1-4	2
②PDCAサイクルが回っているか？ ▶ 2-1,2-2,2-3,2-4,2-5,2-6,2-7,2-8,3-9	3
③情報伝達が適切か？ ▶ 2-9, 2-10, 3-2	2
④簡素化の試みが進んでいるか？ ▶ 3-3, 3-4, 3-5	2
⑤効率化の試みが進んでいるか？ ▶ 3-6, 3-7, 3-10, 3-11	2
⑥今後の改革意欲は？ ▶ 4, 5	3



## III. コメント

## 1. 4. 生命体工学研究科委員会

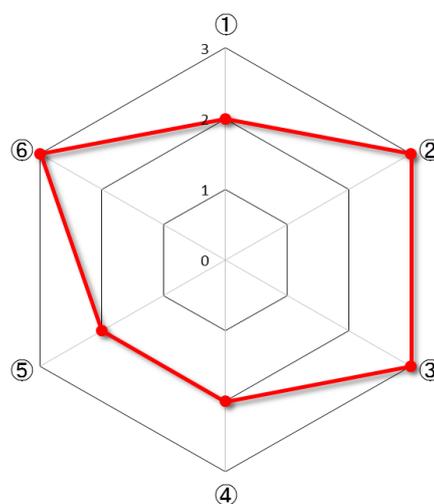
委員会名称：[生] 若松地区安全衛生委員会

### I. 自己点検項目及び回答

【1-3】	委員会構成人数	8	【3-1】	トップダウンアプローチの有無	有り
【1-4】	委員会平均開催回数	12.0	【3-2】	情報伝達は適切?	適切
【1-5】	公開の有無	議：公開	【3-3】	委員数、開催回数、時間の削減	現状維持
【1-6】	WGの有無	なし	【3-4】	会議体以外の審議の活用	現状維持
【2-1】	主たる計画作成者	委員長	【3-5】	日程調整の労力	小
【2-2】	主たる計画審議組織	当該委	【3-6】	ペーパーレス化の実現?	未達
【2-3】	主たる計画決議組織	当該委	【3-7】	会議前の資料配布	未達
【2-4】	主たる計画実行指示組織	当該委	【3-8】	全学・部局委員会の連携	適切
【2-5】	主たる計画実行組織	当該委事務	【3-9】	P D C A サイクルの実現	適切
【2-6】	計画実行の主たる点検・評価組織	当該委	【3-10】	事務職員の参加	不参加
【2-7】	計画と実行の主たる比較組織	当該委	【3-11】	引き継ぎの実行	適切
【2-8】	計画と実行の主たる乖離改善組織	当該委	【 4 】	簡素化・効率化	検討中
【2-9】	当該委員会への主たる情報伝達は?	学科等その他	【 5 】	見直し時の簡素化・効率化	会議資料の事前配布 ペーパーレス 事務職員の委員化
【2-10】	当該委員会からの主たる情報伝達は?	学科等			

### II. 自己評価結果

尺度	尺度値
①人的コスト（人数×平均開催回数） ▶ 1-3, 1-4	2
②PDCA サイクルが回っているか？ ▶ 2-1,2-2,2-3,2-4,2-5,2-6,2-7,2-8,3-9	3
③情報伝達が適切か？ ▶ 2-9, 2-10, 3-2	3
④簡素化の試みが進んでいるか？ ▶ 3-3, 3-4, 3-5	2
⑤効率化の試みが進んでいるか？ ▶ 3-6, 3-7, 3-10, 3-11	2
⑥今後の改革意欲は？ ▶ 4, 5	3



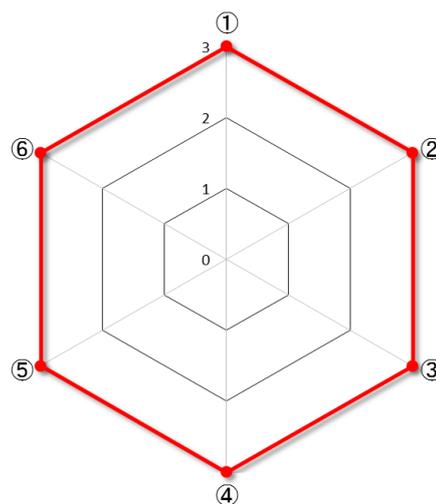
### III. コメント

## I. 自己点検項目及び回答

【1-3】	委員会構成人数	6	【3-1】	トップダウンアプローチの有無	有り
【1-4】	委員会平均開催回数	2.3	【3-2】	情報伝達は適切?	適切
【1-5】	公開の有無	資：公開 議：公開	【3-3】	委員数、開催回数、時間の削減	現状維持
【1-6】	WGの有無	なし	【3-4】	会議体以外の審議の活用	現状維持
【2-1】	主たる計画作成者	委員長	【3-5】	日程調整の労力	小
【2-2】	主たる計画審議組織	当該委	【3-6】	ペーパーレス化の実現?	未達
【2-3】	主たる計画決議組織	当該委	【3-7】	会議前の資料配布	未達
【2-4】	主たる計画実行指示組織	当該委	【3-8】	全学・部局委員会の連携	適切
【2-5】	主たる計画実行組織	当該委 事務 その他	【3-9】	PDCAサイクルの実現	該当なし
【2-6】	計画実行の主たる点検・評価組織	当該委	【3-10】	事務職員の参加	参加
【2-7】	計画と実行の主たる比較組織	当該委	【3-11】	引き継ぎの実行	適切
【2-8】	計画と実行の主たる乖離改善組織	当該委	【 4 】	簡素化・効率化	検討中
【2-9】	当該委員会への主たる情報伝達は?	学科等	【 5 】	見直し時の簡素化・効率化	会議資料の事前配布 ペーパーレス メール会議 定例開催
【2-10】	当該委員会からの主たる情報伝達は?	学科等 その他			

## II. 自己評価結果

尺度	尺度値
①人的コスト（人数×平均開催回数） ▶ 1-3, 1-4	3
②PDCAサイクルが回っているか? ▶ 2-1,2-2,2-3,2-4,2-5,2-6,2-7,2-8,3-9	3
③情報伝達が適切か? ▶ 2-9, 2-10, 3-2	3
④簡素化の試みが進んでいるか? ▶ 3-3, 3-4, 3-5	3
⑤効率化の試みが進んでいるか? ▶ 3-6, 3-7, 3-10, 3-11	3
⑥今後の改革意欲は? ▶ 4, 5	3



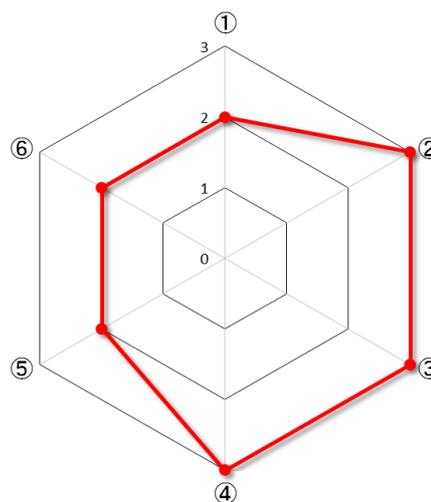
## III. コメント

## I. 自己点検項目及び回答

【1-3】	委員会構成人数	5	【3-1】	トップダウンアプローチの有無	有り
【1-4】	委員会平均開催回数	15.3	【3-2】	情報伝達は適切?	該当なし
【1-5】	公開の有無	議：公開	【3-3】	委員数、開催回数、時間の削減	現状維持
【1-6】	WGの有無	なし	【3-4】	会議体以外の審議の活用	メール審議活用
【2-1】	主たる計画作成者	委員長	【3-5】	日程調整の労力	小
【2-2】	主たる計画審議組織	当該委	【3-6】	ペーパーレス化の実現?	未達
【2-3】	主たる計画決議組織	当該委	【3-7】	会議前の資料配布	未達
【2-4】	主たる計画実行指示組織	当該委	【3-8】	全学・部局委員会の連携	適切
【2-5】	主たる計画実行組織	当該委	【3-9】	PDCAサイクルの実現	該当なし
【2-6】	計画実行の主たる点検・評価組織	当該委	【3-10】	事務職員の参加	不参加
【2-7】	計画と実行の主たる比較組織	当該委	【3-11】	引き継ぎの実行	適切
【2-8】	計画と実行の乖離改善組織	当該委	【 4 】	簡素化・効率化	
【2-9】	当該委員会への主たる情報伝達は?	上位委	【 5 】	見直し時の簡素化・効率化	会議資料の事前配布 ペーパーレス 事務職員の委員化
【2-10】	当該委員会からの主たる情報伝達は?	上位委			

## II. 自己評価結果

尺度	尺度値
①人的コスト（人数×平均開催回数） ▶ 1-3, 1-4	2
②PDCAサイクルが回っているか? ▶ 2-1,2-2,2-3,2-4,2-5,2-6,2-7,2-8,3-9	3
③情報伝達が適切か? ▶ 2-9, 2-10, 3-2	3
④簡素化の試みが進んでいるか? ▶ 3-3, 3-4, 3-5	3
⑤効率化の試みが進んでいるか? ▶ 3-6, 3-7, 3-10, 3-11	2
⑥今後の改革意欲は? ▶ 4, 5	2



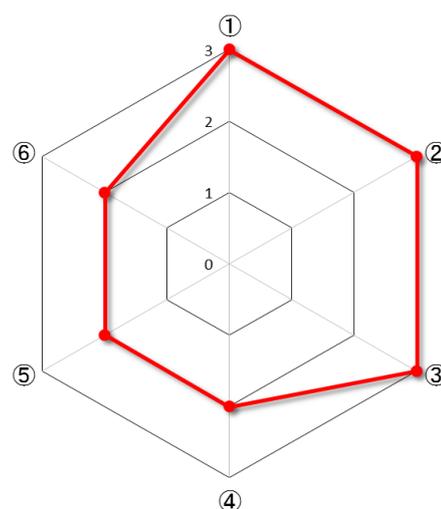
## III. コメント

## I. 自己点検項目及び回答

【1-3】	委員会構成人数	3	【3-1】	トップダウンアプローチの有無	有り
【1-4】	委員会平均開催回数	9.0	【3-2】	情報伝達は適切?	該当なし
【1-5】	公開の有無	非公開	【3-3】	委員数、開催回数、時間の削減	現状維持
【1-6】	WGの有無	なし	【3-4】	会議体以外の審議の活用	現状維持
【2-1】	主たる計画作成者	委員長	【3-5】	日程調整の労力	小
【2-2】	主たる計画審議組織	当該委	【3-6】	ペーパーレス化の実現?	未達
【2-3】	主たる計画決議組織	当該委	【3-7】	会議前の資料配布	未達
【2-4】	主たる計画実行指示組織	当該委	【3-8】	全学・部局委員会の連携	適切
【2-5】	主たる計画実行組織	当該委	【3-9】	PDCAサイクルの実現	該当なし
【2-6】	計画実行の主たる点検・評価組織	当該委	【3-10】	事務職員の参加	不参加
【2-7】	計画と実行の主たる比較組織	当該委	【3-11】	引き継ぎの実行	適切
【2-8】	計画と実行の乖離改善組織	当該委	【 4 】	簡素化・効率化	
【2-9】	当該委員会への主たる情報伝達は?	上位委	【 5 】	見直し時の簡素化・効率化	会議資料の事前配布 ペーパーレス 事務職員の委員化
【2-10】	当該委員会からの主たる情報伝達は?	上位委			

## II. 自己評価結果

尺度	尺度値
①人的コスト (人数×平均開催回数) ▶ 1-3, 1-4	3
②PDCAサイクルが回っているか? ▶ 2-1,2-2,2-3,2-4,2-5,2-6,2-7,2-8,3-9	3
③情報伝達が適切か? ▶ 2-9, 2-10, 3-2	3
④簡素化の試みが進んでいるか? ▶ 3-3, 3-4, 3-5	2
⑤効率化の試みが進んでいるか? ▶ 3-6, 3-7, 3-10, 3-11	2
⑥今後の改革意欲は? ▶ 4, 5	2



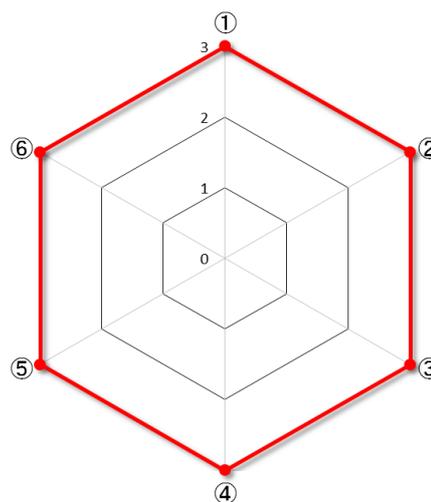
## III. コメント

## I. 自己点検項目及び回答

【1-3】	委員会構成人数	6	【3-1】	トップダウンアプローチの有無	有り
【1-4】	委員会平均開催回数	3.0	【3-2】	情報伝達は適切?	適切
【1-5】	公開の有無	資：公開 議：公開	【3-3】	委員数、開催回数、時間の削減	現状維持
【1-6】	WGの有無	なし	【3-4】	会議体以外の審議の活用	メール報告検討
【2-1】	主たる計画作成者	委員長	【3-5】	日程調整の労力	小
【2-2】	主たる計画審議組織	当該委 上位委	【3-6】	ペーパーレス化の実現?	実現
【2-3】	主たる計画決議組織	当該委 上位委	【3-7】	会議前の資料配布	実現
【2-4】	主たる計画実行指示組織	当該委	【3-8】	全学・部局委員会の連携	適切
【2-5】	主たる計画実行組織	当該委 事務 その他	【3-9】	PDCAサイクルの実現	適切
【2-6】	計画実行の主たる点検・評価組織	当該委 上位委	【3-10】	事務職員の参加	不参加
【2-7】	計画と実行の主たる比較組織	当該委	【3-11】	引き継ぎの実行	適切
【2-8】	計画と実行の主たる乖離改善組織	当該委	【 4 】	簡素化・効率化	メール審議検討
【2-9】	当該委員会への主たる情報伝達は?	上位委 学科等	【 5 】	見直し時の簡素化・効率化	
【2-10】	当該委員会からの主たる情報伝達は?	上位委 学科等			

## II. 自己評価結果

尺度	尺度値
①人的コスト（人数×平均開催回数） ▶ 1-3, 1-4	3
②PDCAサイクルが回っているか？ ▶ 2-1,2-2,2-3,2-4,2-5,2-6,2-7,2-8,3-9	3
③情報伝達が適切か？ ▶ 2-9, 2-10, 3-2	3
④簡素化の試みが進んでいるか？ ▶ 3-3, 3-4, 3-5	3
⑤効率化の試みが進んでいるか？ ▶ 3-6, 3-7, 3-10, 3-11	3
⑥今後の改革意欲は？ ▶ 4, 5	3



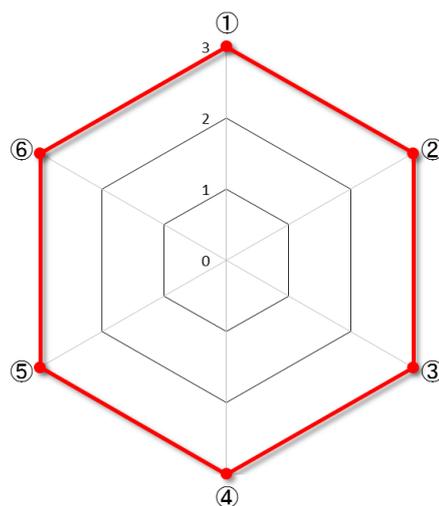
## III. コメント

## I. 自己点検項目及び回答

【1-3】	委員会構成人数	6	【3-1】	トップダウンアプローチの有無	有り
【1-4】	委員会平均開催回数	0.3	【3-2】	情報伝達は適切?	適切
【1-5】	公開の有無	資：公開 議：公開	【3-3】	委員数、開催回数、時間の削減	現状維持
【1-6】	WGの有無	なし	【3-4】	会議体以外の審議の活用	メール審議活用
【2-1】	主たる計画作成者	委員長	【3-5】	日程調整の労力	大
【2-2】	主たる計画審議組織	当該委 上位委	【3-6】	ペーパーレス化の実現?	未達
【2-3】	主たる計画決議組織	当該委 上位委	【3-7】	会議前の資料配布	未達
【2-4】	主たる計画実行指示組織	当該委	【3-8】	全学・部局委員会の連携	適切
【2-5】	主たる計画実行組織	当該委 事務	【3-9】	P D C A サイクルの実現	適切
【2-6】	計画実行の主たる点検・評価組織	当該委 上位委	【3-10】	事務職員の参加	不参加
【2-7】	計画と実行の主たる比較組織	当該委	【3-11】	引き継ぎの実行	該当なし
【2-8】	計画と実行の主たる乖離改善組織	当該委	【 4 】	簡素化・効率化	検討中
【2-9】	当該委員会への主たる情報伝達は?	上位委 任命者 学科等	【 5 】	見直し時の簡素化・効率化	定例開催
【2-10】	当該委員会からの主たる情報伝達は?	上位委 任命者 学科等			

## II. 自己評価結果

尺度	尺度値
①人的コスト（人数×平均開催回数） ▶ 1-3, 1-4	3
②PDCA サイクルが回っているか？ ▶ 2-1,2-2,2-3,2-4,2-5,2-6,2-7,2-8,3-9	3
③情報伝達が適切か？ ▶ 2-9, 2-10, 3-2	3
④簡素化の試みが進んでいるか？ ▶ 3-3, 3-4, 3-5	3
⑤効率化の試みが進んでいるか？ ▶ 3-6, 3-7, 3-10, 3-11	3
⑥今後の改革意欲は？ ▶ 4, 5	3



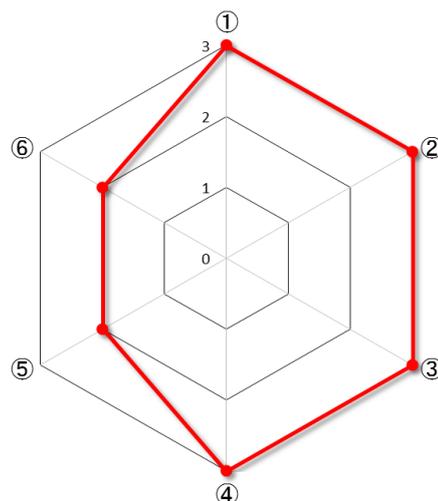
## III. コメント

## I. 自己点検項目及び回答

【1-3】	委員会構成人数	5	【3-1】	トップダウンアプローチの有無	有り
【1-4】	委員会平均開催回数	7.0	【3-2】	情報伝達は適切?	該当なし
【1-5】	公開の有無	議：公開	【3-3】	委員数、開催回数、時間の削減	現状維持
【1-6】	WGの有無	なし	【3-4】	会議体以外の審議の活用	現状維持
【2-1】	主たる計画作成者	委員長	【3-5】	日程調整の労力	小
【2-2】	主たる計画審議組織	当該委	【3-6】	ペーパーレス化の実現?	未達
【2-3】	主たる計画決議組織	当該委	【3-7】	会議前の資料配布	未達
【2-4】	主たる計画実行指示組織	当該委	【3-8】	全学・部局委員会の連携	適切
【2-5】	主たる計画実行組織	当該委	【3-9】	PDCAサイクルの実現	該当なし
【2-6】	計画実行の主たる点検・評価組織	当該委	【3-10】	事務職員の参加	不参加
【2-7】	計画と実行の主たる比較組織	当該委	【3-11】	引き継ぎの実行	適切
【2-8】	計画と実行の乖離改善組織	当該委	【 4 】	簡素化・効率化	
【2-9】	当該委員会への主たる情報伝達は?	上位委	【 5 】	見直し時の簡素化・効率化	会議資料の事前配布 ペーパーレス メール会議 定例開催 事務職員の委員化
【2-10】	当該委員会からの主たる情報伝達は?	上位委			

## II. 自己評価結果

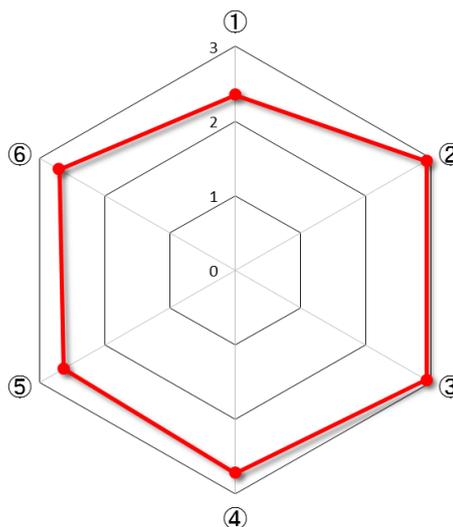
尺度	尺度値
①人的コスト（人数×平均開催回数） ▶ 1-3, 1-4	3
②PDCAサイクルが回っているか？ ▶ 2-1,2-2,2-3,2-4,2-5,2-6,2-7,2-8,3-9	3
③情報伝達が適切か？ ▶ 2-9, 2-10, 3-2	3
④簡素化の試みが進んでいるか？ ▶ 3-3, 3-4, 3-5	3
⑤効率化の試みが進んでいるか？ ▶ 3-6, 3-7, 3-10, 3-11	2
⑥今後の改革意欲は？ ▶ 4, 5	2



## III. コメント

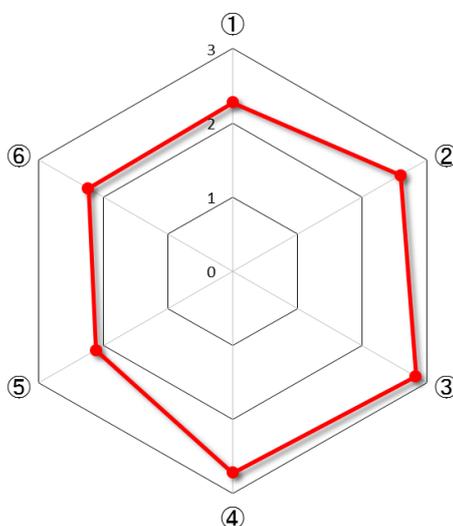
### ①全学委員会平均値

尺度	尺度値
①人的コスト（人数×平均開催回数） ▶ 1-3, 1-4	2.36
②PDCA サイクルが回っているか？ ▶ 2-1,2-2,2-3,2-4,2-5,2-6,2-7,2-8,3-9	2.93
③情報伝達が適切か？ ▶ 2-9, 2-10, 3-2	2.93
④簡素化の試みが進んでいるか？ ▶ 3-3, 3-4, 3-5	2.71
⑤効率化の試みが進んでいるか？ ▶ 3-6, 3-7, 3-10, 3-11	2.64
⑥今後の改革意欲は？ ▶ 4, 5	2.71



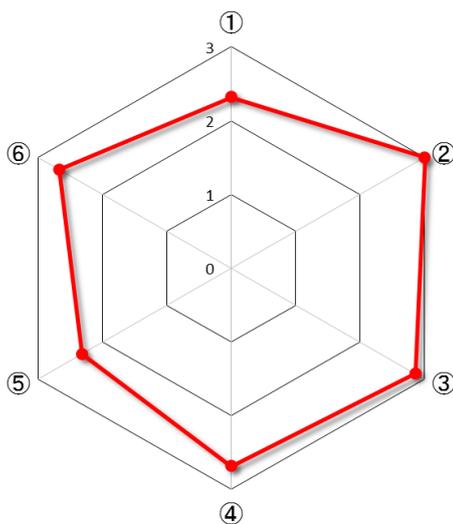
### ②工学部、工学府、工学研究院平均値

尺度	尺度値
①人的コスト（人数×平均開催回数） ▶ 1-3, 1-4	2.28
②PDCA サイクルが回っているか？ ▶ 2-1,2-2,2-3,2-4,2-5,2-6,2-7,2-8,3-9	2.59
③情報伝達が適切か？ ▶ 2-9, 2-10, 3-2	2.82
④簡素化の試みが進んでいるか？ ▶ 3-3, 3-4, 3-5	2.71
⑤効率化の試みが進んでいるか？ ▶ 3-6, 3-7, 3-10, 3-11	2.12
⑥今後の改革意欲は？ ▶ 4, 5	2.24



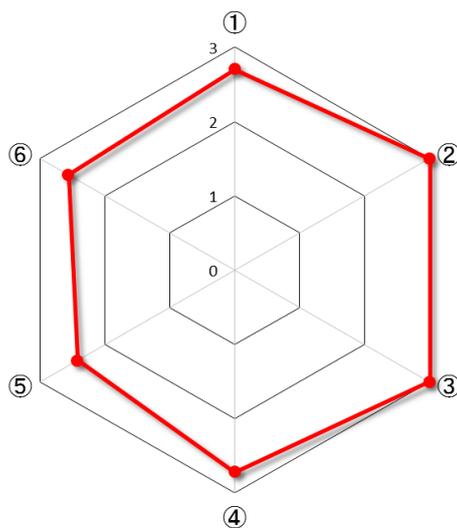
### ③情報工学部、情報工学府、情報工学研究院平均値

尺度	尺度値
①人的コスト（人数×平均開催回数） ▶ 1-3, 1-4	2.32
②PDCA サイクルが回っているか？ ▶ 2-1,2-2,2-3,2-4,2-5,2-6,2-7,2-8,3-9	3.00
③情報伝達が適切か？ ▶ 2-9, 2-10, 3-2	2.86
④簡素化の試みが進んでいるか？ ▶ 3-3, 3-4, 3-5	2.68
⑤効率化の試みが進んでいるか？ ▶ 3-6, 3-7, 3-10, 3-11	2.32
⑥今後の改革意欲は？ ▶ 4, 5	2.68



④生命体工学研究科平均

尺度	尺度値
①人的コスト (人数×平均開催回数) ▶ 1-3, 1-4	2.71
②PDCA サイクルが回っているか? ▶ 2-1,2-2,2-3,2-4,2-5,2-6,2-7,2-8,3-9	3.00
③情報伝達が適切か? ▶ 2-9, 2-10, 3-2	3.00
④簡素化の試みが進んでいるか? ▶ 3-3, 3-4, 3-5	2.71
⑤効率化の試みが進んでいるか? ▶ 3-6, 3-7, 3-10, 3-11	2.43
⑥今後の改革意欲は? ▶ 4, 5	2.57



## II. 3. アンケート等からの知見

### ① 人的コスト

\* 全学委員会及び工学部委員会では、開催回数が多い委員会と少ない委員会に2極化している。開催回数が少ない委員会のなかには、委員会を設置してあること自体に意味がある委員会もあれば、実務的なことは他の委員会がやっていて決定のために少ない頻度で開催する委員会もあり、また他の委員会と統合可能なものもあると考えられる。統合の可能性を模索することにより簡素化が進展するものと期待される。

### ② PDCA サイクル

\* 単に審査をするだけで元々PDCAとは関連のない委員会もある。ただし、この場合も委員会運営に関するPDCAという、メタレベルでのPDCAはあり得ると考えられる。

\* PDCAサイクルが適切に回っていると回答しながら、別の箇所でこれと矛盾する記述がある委員会もある。PDCAサイクルを正しく理解していないケースがあるのではないかと考えられる。

\* C, Aが欠落している委員会が見られた。

\* 中期目標、中期計画との関連が希薄な委員会がある。中期目標、中期計画として直接的な記載がなくても、多くの場合は間接的に関連があると考えられる。

### ③ 情報伝達

\* 「全学委員会と部局委員会の関係があいまいであり、全学委員会の審議内容が部局長に伝わらない場合があるので、部局長等を構成員に加えたほうが良いと思われる。」との意見がある。情報伝達が適切でないことにより起こりうる大学あるいは部局運営のさまざまな支障を、委員数の増加で解消しようとする考え方は、誤った判断と言わざるを得ない。

\* 情報伝達の必要性のために委員数が多いなどのケースが見られる。全体最適化の観点からは、情報伝達の人的コストが多少増えても、総合的な人的コストが減るのであれば、これを追求することも有効ではないかと考えられる。

### ④ 簡素化の進展

\* 「各教室等の意見を集約する必要がある案件もあるため、現在の委員数を減らすことは不可能かと思われる。」とあるが、情報伝達のために必要な人員と審議のために必要な人員は別と割り切り、委員会構成員としては審議のために必要な人員とし、情報伝達を工夫するのが簡素化につながるのではないかと考えられる。

\* 「ミスが許されないので会議で確実に確認する必要がある」という意見があるが、この中のある部分は事務職員が確実に確認するということで対処できるのではないかと考えられる。

- \* 「ルーチン化が可能なものは、事務官を信頼し責任をもって事務的に処理をして頂き、教員に係るべき事項を極力減らす。」という意見があるが、その通りと考える。
- \* 「ルーチンワークの再確認や、委員長原案に単純に 可/非 のみで回答できる議案等はメール審議で充分」という意見があるが、その通りと考える。
- \* 「会議体でも、予め十分に検討された原案が準備されていれば、コストは余り掛からない。」という意見があるが、その通りと考える。
- \* 「半期毎に委員会の開催曜日（第何週）と時間帯を定めている」委員会もあり、日程調整の簡素化につながる良い試みと考える。
- \* 「日程調整は事務担当がメールにより行うが、返信が遅い・返信しない委員がいるため少々労力を要している。」という意見があり、返信の遅れにより事務職員の仕事を増やしていることに留意すべきと考える。
- \* 地区安全衛生委員会のように、会議体での委員会開催や月 1 回の開催が法令により指示されている委員会もある。

#### ⑤ 効率化の進展

- \* いくつかの全学委員会において、「各部局の委員に関しては、必ずしも十分に引き継ぎがなされていないように見受けられる。」との意見があり、引き継ぎを適切に行うことが望まれる。
- \* 「事務職員が委員として参加することについては、委員会での検討が必要であると考え。」「委員としては参加していない。今後、必要が生じれば検討する。」「事務職員は委員としては参加していないが、陪席して必要に応じて適宜発言を行っており、委員としての参加する必要性は特に感じない。」等の意見があるが、多くの全学委員会では事務職員が委員として参加している。何のために事務職員を委員として参加させた方が良いのかについての共通認識が必要と考える。
- \* 「会議に必要な情報や資料等はメールで配布しているが、携帯可能なノートパソコン等の保有者が少ないため一部に留まっている。」「実施してない。問題点は、委員および担当事務にペーパーレス化を実現するための機器機材が大学から支給されているわけではないので各自の予算で調達する必要がある、特に事務には調達予算がないので無理だということである。」「委員会の資料は紙で配布しております。ペーパーレス化を行う事に関して、委員全員への携帯型端末(ノート型 PC、タブレット型端末等)の普及が必要である。」等の意見がある。これに関しては、iPad 等のタブレット型端末を各部局に配布しているので、その活用が望まれる。
- \* 「ペーパーレス化は行っていない。ペーパーレス化の実現は、担当の事務職員の IT スキルに依存する。」との意見があるが、ペーパーレス化には高度な IT スキルは必要としないので、IT スキルの不足がペーパーレス化の阻害要因にはならないと考える。また、IT スキルに限らず業務に必要なスキルを向上させることは事務のプロである事務職員の責務と考えられる。
- \* 「進んでいない。教員及び事務担当も多忙なため、資料が開催時間間近でないと揃わ

ないことも多い。」という意見があるが、事前配布を行っている委員会も多く、教員及び事務職員ともにスケジュールリングの効率化を図るべきと考える。

⑥ 今後の改革意欲

- \* 「多くの大学も同じであろうが、大学の委員会で行われている事柄の大半は、教員の行うべき業務とは思われない。事務職員の短期配置換えなどを減らし業務に習熟したエキスパート化をし、彼らを信頼して任務に当たって頂くようにして、教員でなければならないものだけに限って教員が関与すべきである。」という意見があるが、その通りと考える。多くのことを教員の合議により決めるというのは世界の大学の常識ではない。
- \* 「部局の委員会ですが、毎年委員長が交代しては、何の改善もできないのが実情。PDCA サイクルは回ることは考えられない。部局の執行部と同じスタイルで、部局の入試委員会の委員長と副委員長を、学部長が任命するべきで、そうすれば2～4年の長期で、業務に従事でき、PDCA サイクルもまわせるし、基本方針とそれに従う、年計をたてることも可能になる。」という意見がある。部局委員会の委員長、副委員長に関しては、学科持回りではなく、学部長の任命により、数年間その任につくのが適切と考える。
- \* 「入試に関する審議を行うため、判断及び実施のミスが許されない。簡素化・効率化を議論するよりも、十分に審議を尽くす環境を作る方が重要である。」という意見があり、ある部分はその通りと考えるが、ミスをなくすために事務職員が果たす役割に大いに期待したい。
- \* 「委員会が所掌する内容に応じて、審議・決定・点検（PCA）を担う委員会機能と企画・実行・改善（PDA）を担う実働機能に分けて、組織体制と運営の役割の明確化を図ることが、簡素化・効率化につながるのではないかと考える。」との意見は秀逸な提案と考える。
- \* 「本委員会で定例的に審議されるのは中期目標・中期計画に関することで、毎年少し変化はするが基本的に実行することは大きく変わらないので、メール審議での伝達などで簡素化ができるものと思われ」という意見があるが、その通りと考える。
- \* 「委員会は、事案の立上げ期、経過期、定常期をよく見極めていけばよいと考えます。特に、定常期（毎年行われる案件等）の事案に関しては、メール審議等で、あるいは、実施組織一任という形式をとれば、大きく簡素化、効率化が望めるのではないかと思います。」との意見があるが、その通りと考える。

### Ⅲ 提言

今回の委員会組織の自己点検・評価の目的は、「教育研究に割ける時間を増やし、これにより大学の機能強化を図ることを目的とし、全学及び部局の委員会の簡素化・効率化に関する自己点検・評価を実施する。」というものです。

たとえば、研究・社会貢献に関する外部評価の事前準備として作成した「研究・社会貢献に関する自己点検・評価書」にも記載したように、工業系の5大学と研究業績を比較した結果、本学は論文数に関して殆ど最下位、論文の被引用数は最下位であり、論文数はここ数年減少しつつあります。しかも教員数は5大学中2番目に多く、教員一人当たりで比較すると、本学はさらに劣悪となります。

これらのデータを見る限り、教育研究により多くの時間を注ぐことが今強く求められていると考えます。委員会の簡素化・効率化はこのための一つ的手段と考えられます。そこで、冒頭に記載したアンケート等からの知見に基づき、以下の提言を致します。

- ① 委員会運営の現状に対し、常に改善の余地はないかという問題意識を持つことが必要と考える。
- ② 多くのことを委員会において決定するというのは必ずしも世界の大学での常識ではない。委員会で決定するのが良いのか、学科長、研究系（専攻）長、研究院長（科長）が決定するのが良いのか、あるいは事務組織が実施するのが良いのかについて、これまでの常識にとらわれず、教育研究が主たる業務である大学の原点に遡って検討することが必要と考えられる。
- ③ “委員数×開催回数”が小さい委員会は、たとえば学科長会などに統合することにより、全体として委員会組織の簡素化・効率化につながることを期待できる。
- ④ “委員数×開催回数”が大きな委員会は、発想を転換して簡素化することにより、教員の負担軽減の効果が大きい。
- ⑤ PDCA サイクルが回っていると回答している委員会が、他の箇所を見ると、PDCA サイクルが回っていないことを示唆する記載がみられることがある。PDCA サイクルを回すという意味を正しく理解することが必要と考える。
- ⑥ 現行の情報伝達を前提に多くの委員が関わる、あるいは、情報伝達が不十分と言う理由で新たな委員を増やすという傾向があるように見える。しかし、情報伝達と審議は切り離して考える方が良いのではないかと考える。情報伝達の仕組みをきちんと確立すれば、より少ない委員による効果的な審議が可能と考えられる。
- ⑦ 委員会に関連する企画立案に対して事務職員が果たす役割に期待したい。事務職員が事務処理をミスなく処理するだけでなく、企画立案にもより深く関与できるようレベルアップを図るためにも、事務職員を委員会に参加させることが望ましいと考えられる。実際、多くの全学委員会では事務職員が委員として参加してい

る。

- ⑧ 委員会審議事項を精査し、簡素化、効率化の観点から、真に会議体での審議が必要なもの、メール審議で済むもの、部局長等の決裁で済むもの、事務組織が決定できるものに適切に類別することが必要と考える。
- ⑨ 印刷コスト、事務職員の労力、資料用スペース、資料整理のための教職員の労力等を考慮すると、委員会の簡素化・効率化にとってペーパーレス化は欠かせないものと考えられる。ペーパーレス化のための機器がないので出来ないという意見があったが、そのために iPad 等のタブレット型端末を工学部には7台、情報工学部には8台、生命体には2台配布しているので、その活用が望まれる。また、「ペーパーレス化の実現は、担当の事務職員の IT スキルに依存する。」という意見もあったが、IT スキルに限らず業務に必要なスキルを向上させることは担当者の責務と考える。
- ⑩ 部局委員会においては、委員長、副委員長を部局長が指名し、単年度でなく数年間その任に就くことが部局の効果的運営にとって有効であると考ええる。